

**伊奈町の総合振興計画後期基本計画
策定に関するアンケート調査
報告書**

平成31年3月

伊奈町

目次

I	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査仕様	1
3.	回収結果	1
4.	本報告書の見方	2
II	町民アンケートの結果	3
1.	あなたご自身のことについておたずねします	3
2.	あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします	20
3.	伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします	31
4.	まちづくりへの参加と協力についておたずねします	49
III	転入者・転出者アンケートの結果	62
1.	あなた自身のことについておうかがいします	62
2.	転入（転出）についておうかがいします	71
IV	総評	84
1.	町民	84
2.	転入者・転出者	88
V	資料編	89
1.	町民アンケート調査票	89
2.	転入者アンケート調査票	101
3.	転出者アンケート調査票	105

I 調査の概要

1. 目的

伊奈町総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、町民の皆様より、生活環境や町の様々な取り組みに対する評価と、今後のまちづくりに対する意向を把握するとともに、転入者・転出者の動向及び意向を把握するため、実施しました。

2. 調査仕様

町民

対象	16歳以上の町民の中から無作為抽出した1,500人
方法	調査票を郵送配布・郵送回収
期間	平成31年1月7日(月)～2月17日(日)回収分まで
内容	1. あなたご自身のことについて 2. あなたの暮らしを取り巻く環境について 3. 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについて 4. まちづくりへの参加と協力について 5. 自由回答

転入者・転出者

対象	伊奈町に転入、または転出のため、窓口で手続きされた方
方法	調査票を窓口にて直接配布・直接または郵送回収
期間	平成30年12月20日(木)～平成31年2月28日(木)回収分まで
内容	1. あなた自身のことについて 2. 転入(転出)について 3. 自由回答 ※転入・転出で概ね設問項目は共通

3. 回収結果

報告書区分	アンケート種別	配布数	有効回収数	有効回収率
町民	①町民	1,500件	724件	48.3%
転入・転出	②転入者	—	107件	—
	③転出者	—	103件	—

4. 本報告書の見方

- 集計は、回答者本人の記載の結果に基づいています。
- 設問文中の（○は1つ）とは、選択肢の中から1つのみ選ぶ方式です。また、設問文中の（あてはまるものすべてに○）とは、複数の選択肢からあてはまる回答すべてを選ぶ方式、設問文中の（○は3つ）とは、複数の選択肢からあてはまる回答3つまでを選ぶ方式です。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 図表中において、クロス集計（例：年代別）の選択肢ごとのnを合計しても、全体のnとは一致しないことがあります。また、回答割合は小数点第2位を四捨五入しているため、回答割合を合計しても100.0%にならないことがあります。
- 見やすさを考慮して、実際の調査票の選択肢から表現を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計表は、横に見て「無回答」を除いて1番目に多い項目に濃い網掛け、2番目に多い項目に薄い網掛けをつけています。

: 1位回答 : 2位回答

- クロス集計表の中で、前回（平成25年実施調査）と比較可能な場合は、上の段に「今回」、下の段に「前回」と結果を記載しています。
- 見やすさを考慮して、一部の設問では、選択肢の順番を、降順（結果の%が大きい順）に並び替えています。

参考

本調査の有効性について

調査結果の有効性を考えるにあたり、はじめに、今回の調査は、町民アンケートと転入者・転出者アンケートでは、実施方法が異なることを念頭に置く必要があります。

まず、町民アンケートは、対象年齢である16歳以上の町民全員の中から、無作為に町で抽出した1,500人の方を対象に、郵送にて調査票をお配りしています。調査結果の有効性について考えるため、仮に16歳以上の町民全員に配った場合を仮定するとします。そうすると、本調査の結果は、16歳以上の町民全員に聞いた場合の結果とは若干異なる結果となると考えられ、両結果の間には、統計学上の誤差があると考えます。統計学上、この誤差が、3～5%未満に収まっていれば、本調査の結果は町民意見を代表している、つまり「十分に有効である」といえます。本調査の誤差は、調査票の中で誤差が最大になる設問でも**±3.6%**となり※、調査結果の有効性は確保されているといえます。

一方、転入者・転出者アンケートは、窓口で手続きされた方全員に調査票をお配りし、全員から回答を頂いています。そうすると、調査期間中に窓口で手続きをした転入者・転出者という、対象層全員の結果が得られたことになり、町民アンケートのような誤差は発生しないと考えます。本調査では、有効な回収数が、転入者、転出者それぞれ100件を超えており、傾向を見るために十分な数が集まったと考えられます。

※平成30年12月1日現在 16歳以上人口 37,394人（住民基本台帳人口）に基づいて算出。

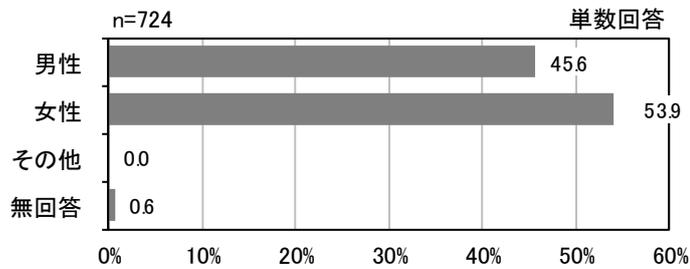
II 町民アンケートの結果

1. あなたご自身のことについておたずねします

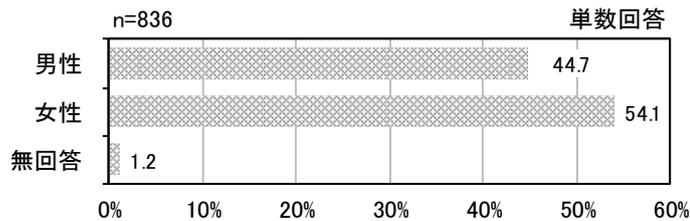
問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別については、「女性」が53.9%、「男性」が45.6%となっています。

前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、概ね同様の傾向でした。



■参考：前回（平成25年実施調査）結果

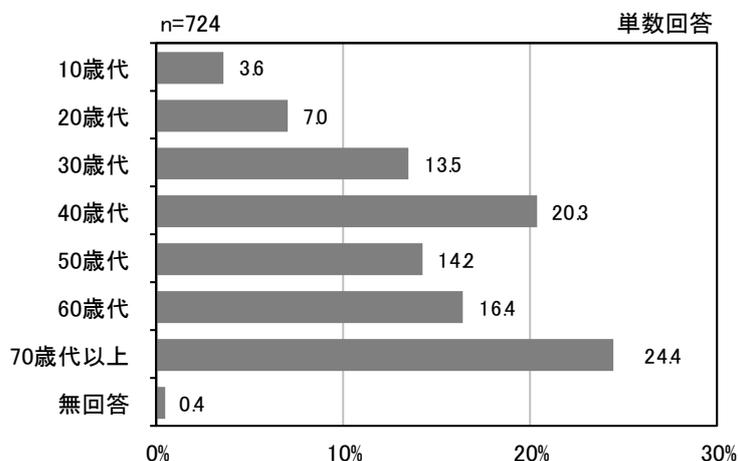


※前回は、「その他」の選択肢はなし

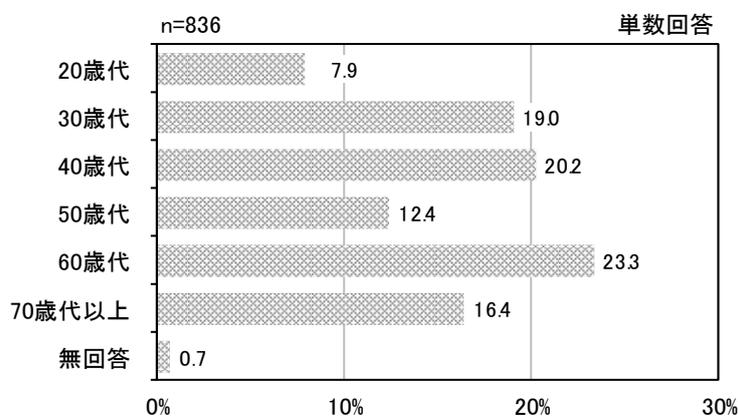
問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(〇は1つ)

年齢については、「70歳代以上」が24.4%と最も多く、次いで「40歳代」が20.3%、「60歳代」が16.4%となっています。10歳代と20歳代の合計は10.6%、30歳代と40歳代の合計は33.8%、50歳代以上は55.0%となっています。

前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、前回と比べて30歳代と40歳代の合計がやや減少し、50歳代以上がやや増加しました。



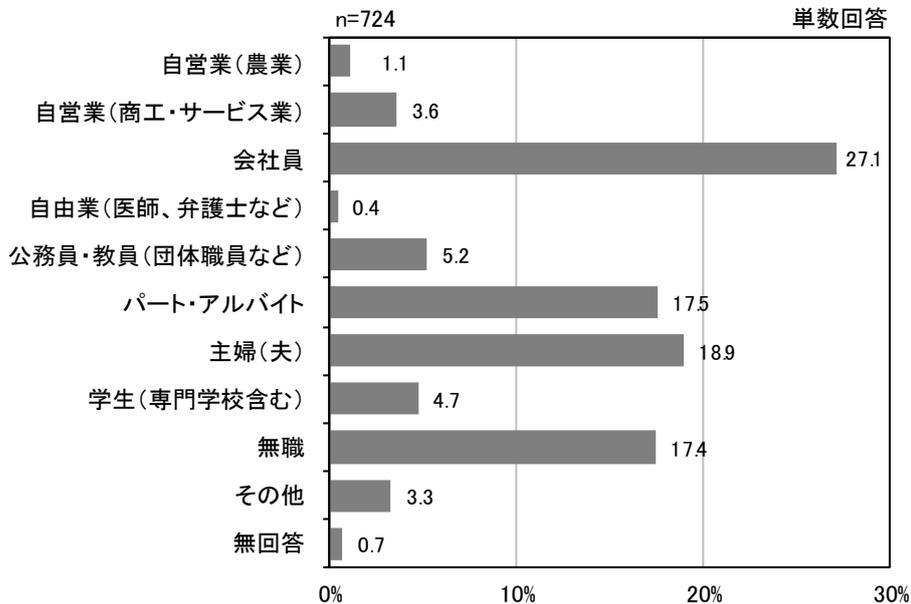
■参考：前回（平成25年実施調査）結果



※前回は、20歳以上を対象としていたため「10歳代」の回答者はなし

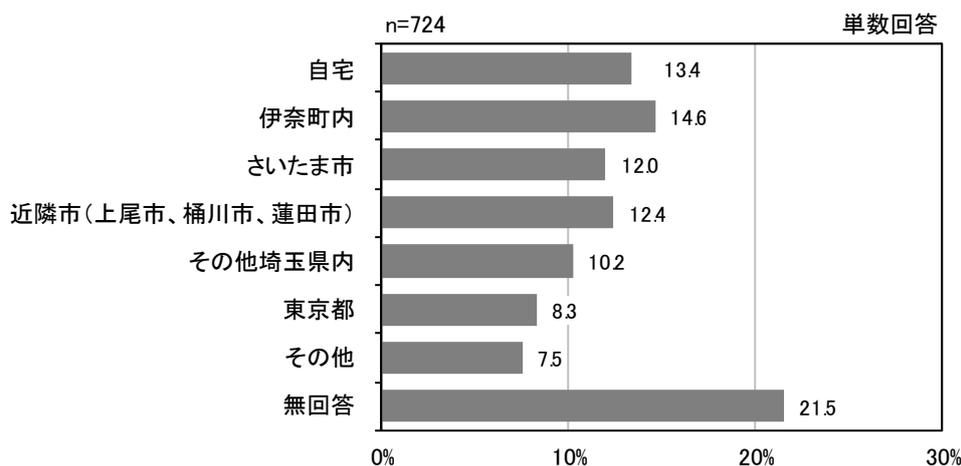
問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。(〇は1つ)

職業については、「会社員」が27.1%と最も多く、次いで「主婦(夫)」が18.9%、「パート・アルバイト」が17.5%となっています。



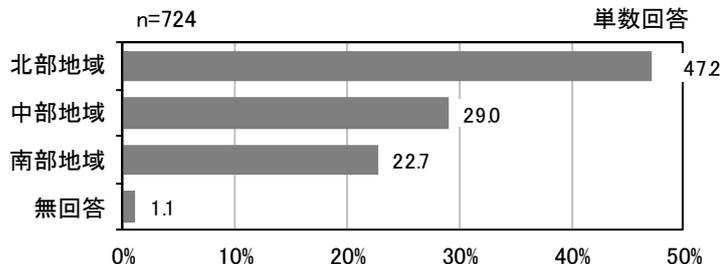
問4 あなたの通勤先または通学先はどこですか。(〇は1つ)

通勤先または通学先については、「伊奈町内」が14.6%と最も多く、次いで「自宅」が13.4%、「近隣市(上尾市、桶川市、蓮田市)」が12.4%となっています。



問5 あなたの住んでいる地域はどこですか。(〇は1つ)

居住地については、「北部地域」が47.2%と最も多く、次いで「中部地域」が29.0%、「南部地域」が22.7%となっています。



■居住地について

本アンケートにおいては、以下のように表記します。

北部地域：〔大針、羽貫、小針新宿、小針内宿、細田山、光ヶ丘区、学園中央〕

中部地域：〔小貝戸、志久、本（北・南）、柴中萩、若榎、中央区〕

南部地域：〔栄（北・中央・南）、丸山、下郷、綾瀬（東・南・北）区〕

■問5×年代別／前回との比較

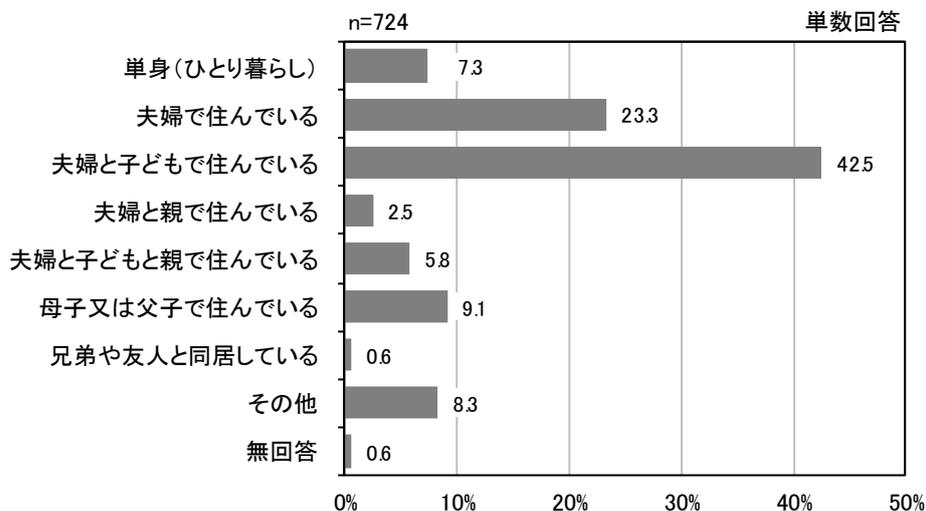
年代別で見ると、10歳代から60歳代では「北部地域」の割合が最も高くなっていますが、70歳代以上では「南部地域」の割合が最も高くなっています。

前回と比較すると、60歳代で「南部地域」の割合が減少した一方、70歳代以上で「南部地域」の割合が増加しました。

単位：%		北部地域	中部地域	南部地域	無回答	
全体	今回(n=724)	47.2	29.0	22.7	1.1	
	前回(n=836)	44.3	26.3	28.3	1.1	
年代別	10歳代	今回(n=26)	69.2	26.9	3.8	0.0
		前回(n=66)	47.0	24.2	28.8	0.0
	20歳代	今回(n=98)	50.0	26.5	21.4	2.0
		前回(n=159)	55.3	22.0	22.6	0.0
	30歳代	今回(n=147)	59.2	25.9	13.6	1.4
		前回(n=169)	50.3	25.4	24.3	0.0
	40歳代	今回(n=103)	52.4	29.1	17.5	1.0
		前回(n=104)	49.0	25.0	25.0	1.0
	50歳代	今回(n=119)	40.3	34.5	24.4	0.8
		前回(n=195)	31.8	28.2	38.5	1.5
	60歳代	今回(n=177)	34.5	27.7	37.3	0.6
		前回(n=137)	37.2	32.8	29.2	0.7

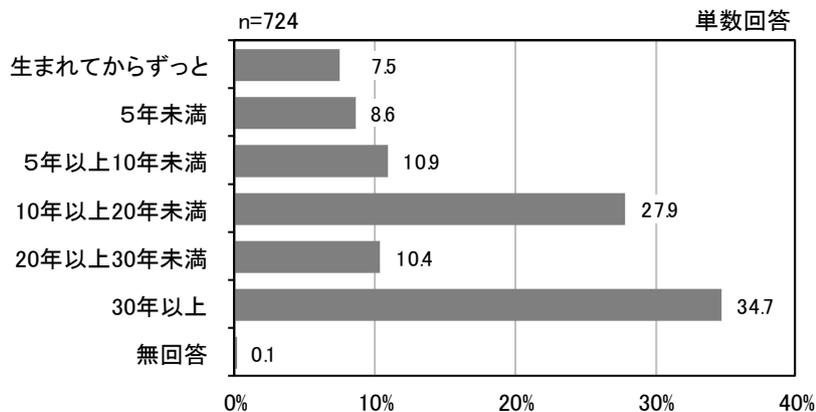
問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

家族構成については、「夫婦と子どもで住んでいる」が42.5%と最も多く、次いで「夫婦で住んでいる」が23.3%、「母子又は父子で住んでいる」が9.1%となっています。



問7 あなたは伊奈町に何年住んでいますか。(○は1つ)

町内での居住件数については、「30年以上」が34.7%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が27.9%、「5年以上10年未満」が10.9%となっています。



■問7×年代別、地域別／前回との比較

年代別でみると、10歳代から20歳代では「生まれてからずっと」が3割前後、60歳代以上では「30年以上」の割合が5割を超えて特に高くなっています。

年代別に前回と比較すると、20歳代から40歳代に占める「5年未満」の割合がそれぞれ約10ポイント減少しました。また、40歳代における「10年以上20年未満」の割合が22.0ポイント増加しました。

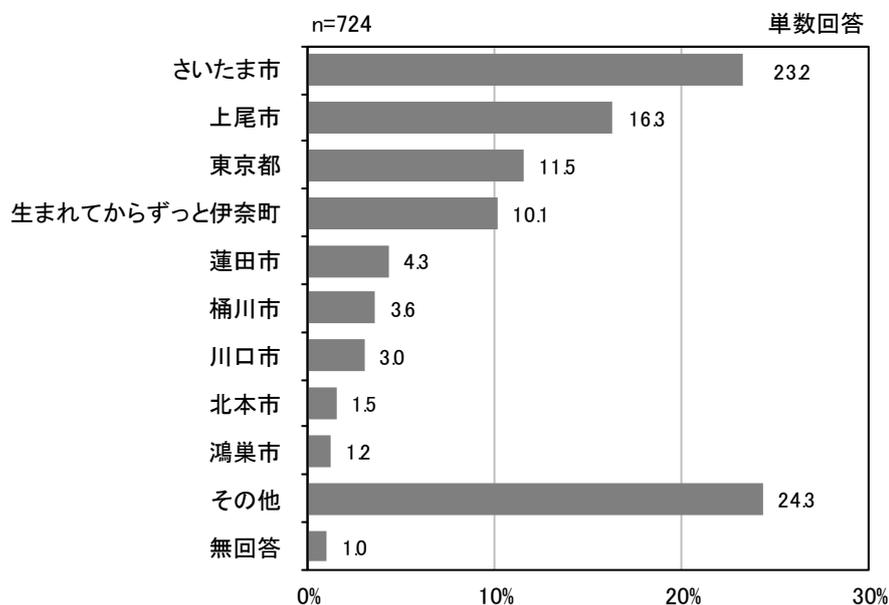
地域別でみると、北部地区で「10年以上20年未満」の割合が、中部地区と南部地区で「30年以上」の割合が、他の地域に比べ高くなっています。

単位：%		生まれてからずっと	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体	今回(n=724)	7.5	8.6	10.9	27.9	10.4	34.7	0.1
	前回(n=836)	7.3	15.4	13.4	18.9	14.4	29.4	1.2
年代別	10歳代	今回(n=26)	34.6	0.0	0.0	65.4	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	29.4	21.6	17.6	23.5	7.8	0.0
		前回(n=66)	16.7	31.8	13.6	24.2	13.6	0.0
	30歳代	今回(n=98)	8.2	24.5	22.4	25.5	9.2	10.2
		前回(n=159)	8.8	37.1	23.3	14.5	6.9	8.8
	40歳代	今回(n=147)	3.4	6.8	19.0	51.0	7.5	12.2
		前回(n=169)	4.7	14.2	25.4	29.0	11.2	14.2
	50歳代	今回(n=103)	4.9	5.8	5.8	34.0	19.4	30.1
		前回(n=104)	5.8	4.8	5.8	27.9	31.7	24.0
	60歳代	今回(n=119)	5.0	3.4	6.7	16.8	13.4	54.6
		前回(n=195)	6.2	5.6	6.2	12.3	18.5	50.8
	70歳代以上	今回(n=177)	3.4	3.4	2.8	10.2	8.5	71.8
		前回(n=137)	7.3	5.1	3.6	12.4	8.8	61.3
	地域別	北部地区	今回(n=342)	7.9	7.9	12.6	38.3	6.7
前回(n=370)			7.6	21.6	18.6	22.4	11.4	17.6
中部地区		今回(n=210)	8.1	8.6	9.5	21.0	17.1	35.7
		前回(n=220)	9.1	10.9	13.2	19.1	15.5	30.9
南部地区		今回(n=164)	6.1	9.1	7.9	15.9	9.1	51.8
		前回(n=237)	5.5	10.1	5.5	13.9	18.1	46.8

問8 現在の場所に住まれる前はどちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

以前住んでいた場所については、「その他」を除くと、「さいたま市」が23.2%と最も多く、次いで「上尾市」が16.3%、「東京都」が11.5%となっています。

「生まれてからずっと伊奈町」は10.1%となっています。



問8 「その他」の回答（上位項目）

「その他」の回答について件数ごとに見ると、埼玉県内が76件、埼玉県外が76件の合計152件の回答がありました。埼玉県内について、自治体別に見た上位回答は以下の通りです。

順位	自治体名	件数（件）
1	久喜市	11
2	春日部市	7
3	川越市	6
	戸田市	6
	熊谷市	6
4	さいたま市	5
	蕨市	5
5	加須市	4
6	朝霞市	3
	深谷市	3

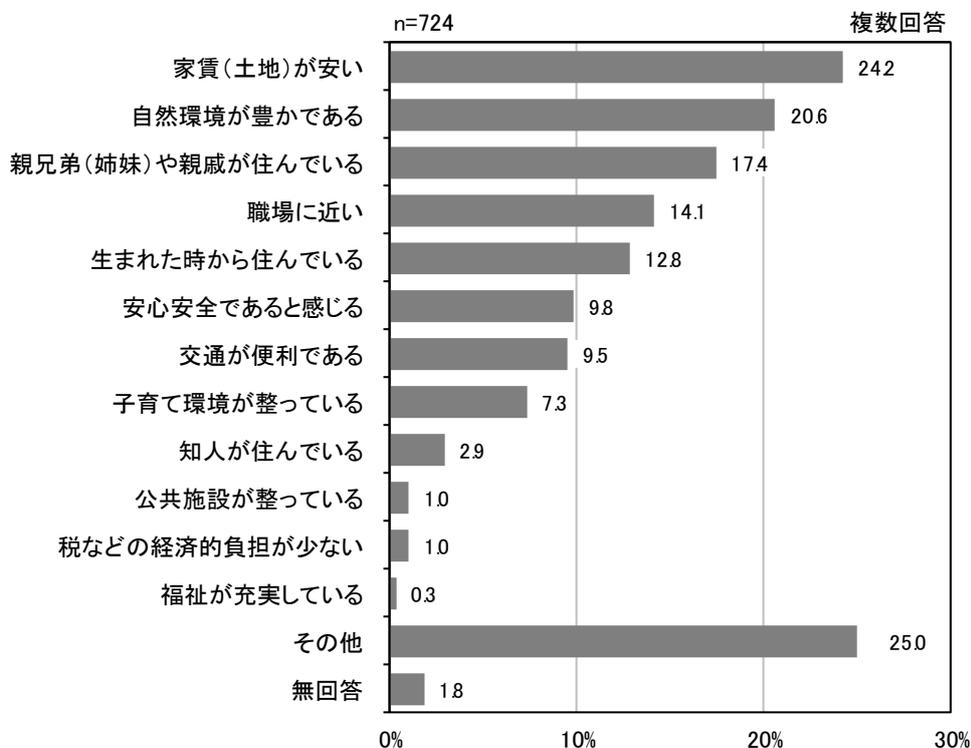
※3件以上の回答を掲載

※合併前の旧市町村を記入した方については、平成30年3月現在の自治体に該当するとしてカウント

問9 なぜ、伊奈町に住もうと思いましたか。(〇は3つまで)

伊奈町に住もうと思った理由については、「その他」を除くと、「家賃(土地)が安い」が24.2%と最も多く、次いで「自然環境が豊かである」が20.6%、「親兄弟(姉妹)や親戚が住んでいる」が17.4%となっています。

「生まれた時から住んでいる」は12.8%となっています。



■問9×年代別／前回との比較

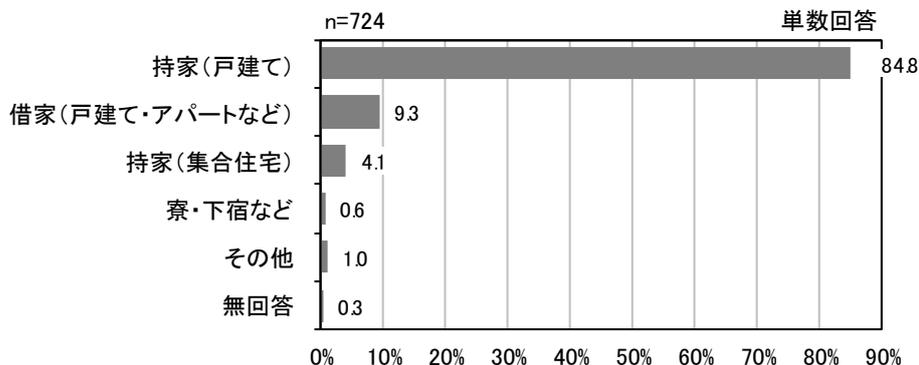
年代別でみると、10歳代と20歳代では「生まれたときから住んでいる」が、40歳代では「家賃（土地）が安い」、60歳代では「自然環境が豊かである」、30歳代、50歳代、70歳代以上では「その他」が最も高くなっています。

前回と比較すると、50歳代で「自然環境が豊かである」が減少した一方、「家賃（土地）が安い」が増加しました。また、40歳代では「子育て環境が整っている」が約10ポイント増加しています。

単位：%		家賃（土地）が安い	自然環境が豊かである	住親兄弟（姉妹）や親戚が 住んでいる	職場に近い	生まれた時から住んでいる	安心安全であると 感じる	交通が便利である	子育て環境が整っている	知人が住んでいる	公共施設が整っている	経済的負担が少ない	福祉が充実している	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	24.2	20.6	17.4	14.1	12.8	9.8	9.5	7.3	2.9	1.0	1.0	0.3	25.0	1.8	
	前回(n=836)	24.5	26.2	17.7	12.9	12.4	7.8	10.6	4.1	5.0	0.7	4.4	0.8	22.7	2.3	
年代別	10歳代	今回(n=26)	7.7	0.0	30.8	7.7	42.3	11.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
		前回(n=66)	13.7	7.8	17.6	15.7	37.3	2.0	3.9	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	25.5	0.0
	20歳代	今回(n=51)	13.7	7.8	17.6	15.7	37.3	2.0	3.9	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	25.5	0.0
		前回(n=66)	18.2	7.6	22.7	12.1	24.2	4.5	4.5	3.0	4.5	1.5	4.5	0.0	21.2	1.5
	30歳代	今回(n=98)	23.5	10.2	19.4	17.3	17.3	7.1	10.2	8.2	3.1	3.1	0.0	1.0	25.5	2.0
		前回(n=159)	32.7	27.7	18.2	22.0	16.4	12.6	6.9	8.8	2.5	0.0	5.0	0.0	19.5	1.9
	40歳代	今回(n=147)	33.3	25.2	20.4	20.4	7.5	12.2	8.2	13.6	3.4	0.0	2.0	0.0	17.0	1.4
		前回(n=169)	27.8	26.0	21.3	13.0	10.7	4.7	11.8	4.7	5.3	1.2	3.0	0.6	25.4	0.0
	50歳代	今回(n=103)	30.1	17.5	21.4	12.6	5.8	7.8	11.7	5.8	3.9	0.0	1.0	0.0	34.0	1.9
		前回(n=104)	21.2	27.9	20.2	13.5	9.6	1.9	15.4	1.9	1.9	0.0	1.0	1.0	24.0	1.0
	60歳代	今回(n=119)	23.5	29.4	16.8	10.1	12.6	10.9	7.6	7.6	1.7	0.0	0.8	0.8	25.2	0.8
		前回(n=195)	19.5	31.8	16.9	10.3	9.2	7.2	10.8	2.6	6.7	0.0	5.1	0.5	22.6	4.1
	70歳代以上	今回(n=177)	19.2	25.4	10.2	10.7	7.9	11.9	11.3	4.5	4.0	1.7	1.1	0.0	28.8	2.8
		前回(n=137)	23.4	25.5	10.2	5.8	11.7	13.1	13.1	2.2	7.3	2.2	7.3	2.9	24.1	1.5

問 10 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

現在お住まいの住宅の種類については、「持家（戸建て）」が 84.8%と最も多く、次いで「借家（戸建て・アパートなど）」が 9.3%、「持家（集合住宅）」が 4.1%となっています。



問 10×年代別／前回との比較

年代別で見ると、20 歳代から 60 歳代においては、概ね年代が上がるにつれて「持家（戸建て）」の割合が高くなっています。

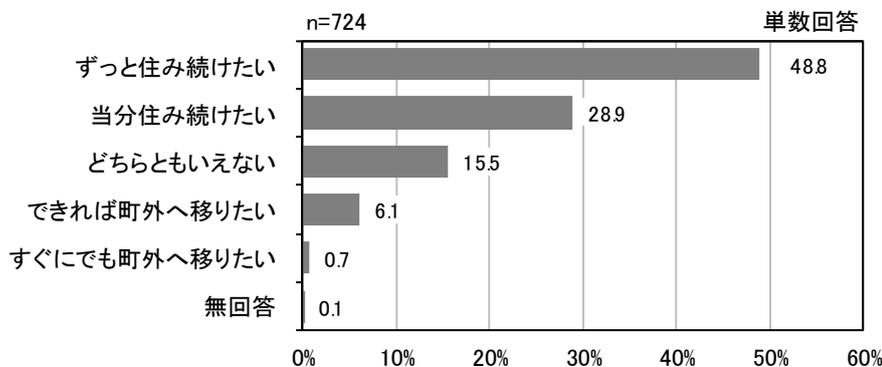
前回と比較すると、ほぼ同様の傾向ですが、20 歳代の「借家（戸建て・アパートなど）」の割合が特に減少しました。

単位: %		持家（戸建て）	借家（戸建て・アパートなど）	持家（集合住宅）	寮・下宿など	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	84.8	9.3	4.1	0.6	1.0	0.3	
	前回(n=836)	82.9	10.3	5.0	0.5	0.8	0.5	
年代別	10歳代	今回(n=26)	96.2	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0
		前回(n=66)	60.6	34.8	3.0	1.5	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	68.6	19.6	3.9	3.9	2.0	2.0
		前回(n=66)	60.6	34.8	3.0	1.5	0.0	0.0
	30歳代	今回(n=98)	74.5	22.4	2.0	0.0	1.0	0.0
		前回(n=159)	77.4	18.9	1.9	0.0	1.9	0.0
	40歳代	今回(n=147)	87.8	8.8	2.7	0.7	0.0	0.0
		前回(n=169)	84.6	8.3	5.3	1.2	0.6	0.0
	50歳代	今回(n=103)	80.6	10.7	6.8	0.0	1.9	0.0
		前回(n=104)	87.5	7.7	4.8	0.0	0.0	0.0
	60歳代	今回(n=119)	92.4	3.4	2.5	0.8	0.8	0.0
		前回(n=195)	87.2	3.6	8.2	0.5	0.5	0.0
	70歳代以上	今回(n=177)	89.3	3.4	6.2	0.0	1.1	0.0
		前回(n=137)	92.0	1.5	5.1	0.0	1.5	0.0

問 11 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(〇は1つ)

今後も伊奈町に住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」が48.8%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が28.9%、「どちらともいえない」が15.5%となっています。

「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合計すると、77.7%となっています。



問 11×年代別／前回との比較

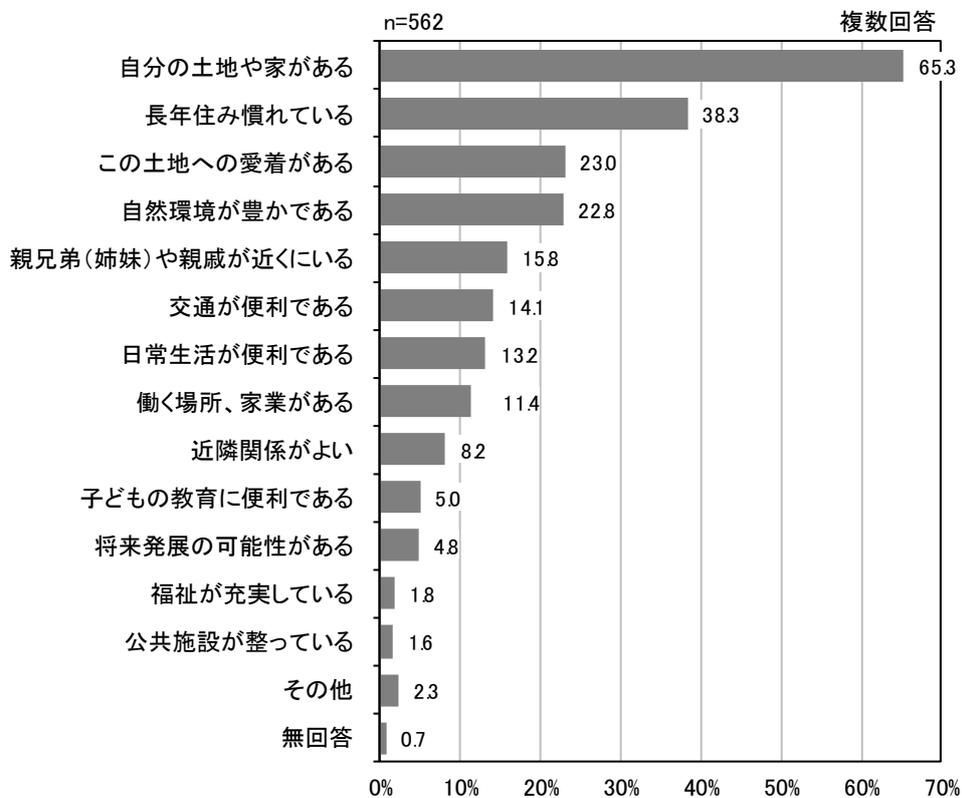
年代別でみると、70歳代以上では「ずっと住み続けたい」が7割を超えた一方、10歳代では「できれば町外へ移りたい」が19.2%と他の年代に比べて高くなっています。

前回と比較すると、ほぼ同様の傾向ですが、20歳代の「ずっと住み続けたい」の割合が増加しました。

単位: %		ずっと住み続けたい	当分住み続けたい	どちらともいえない	できれば町外へ移りたい	すぐにでも町外へ移りたい	無回答	
全体	今回(n=724)	48.8	28.9	15.5	6.1	0.7	0.1	
	前回(n=836)	49.4	28.1	15.1	6.1	0.7	0.6	
年代別	10歳代	今回(n=26)	26.9	30.8	23.1	19.2	0.0	0.0
		前回(n=66)	16.7	31.8	25.8	21.2	4.5	0.0
	20歳代	今回(n=98)	31.6	40.8	16.3	10.2	1.0	0.0
		前回(n=159)	39.0	35.2	15.7	8.2	0.6	1.3
	30歳代	今回(n=147)	44.2	31.3	17.7	6.1	0.7	0.0
		前回(n=169)	37.9	35.5	17.2	8.3	1.2	0.0
	40歳代	今回(n=103)	41.7	33.0	19.4	4.9	1.0	0.0
		前回(n=104)	47.1	32.7	18.3	1.9	0.0	0.0
	50歳代	今回(n=119)	58.0	26.9	10.9	2.5	1.7	0.0
		前回(n=195)	63.6	22.1	11.3	2.1	0.0	1.0
	60歳代	今回(n=177)	70.1	15.3	11.3	3.4	0.0	0.0
		前回(n=137)	74.5	15.3	8.0	2.2	0.0	0.0

**問 11 で「ずっと住み続けたい」または「当分住み続けたい」を選択された方
問 12 住み続けたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)**

住み続けたいと思う理由については、「自分の土地や家がある」が65.3%と最も多く、次いで「長年住み慣れている」が38.3%、「この土地への愛着がある」が23.0%となっています。



■問 12×年代別／前回との比較

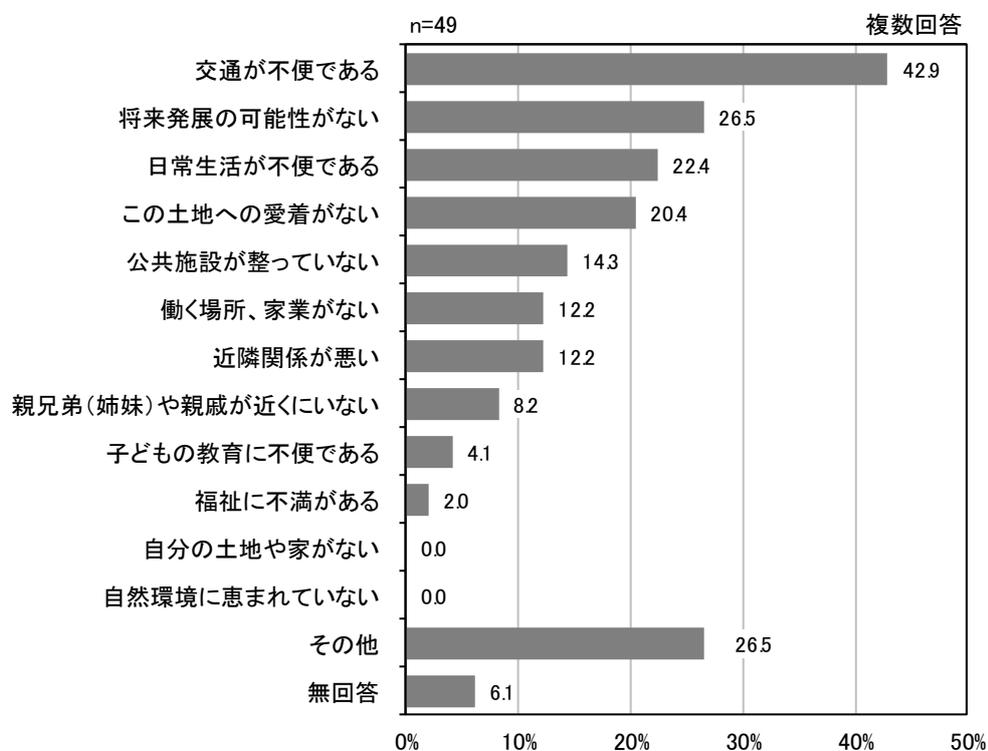
年代別でみると、10歳代では「親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいる」が、20歳代では「長年住み慣れている」が、30歳代以上では「自分の土地や家がある」が最も高くなっています。

前回と比較すると、「自分の土地や家がある」が特に40歳代から60歳代、「自然環境が豊かである」が特に20歳代から50歳代を中心に減少しましたが、「長年住み慣れている」がすべての年代で増加しました。

単位：%		自分の土地や家がある	長年住み慣れている	この土地への愛着がある	自然環境が豊かである	親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいる	交通が便利である	日常生活が便利である	働く場所、家業がある	近隣関係がよい	子どもの教育に便利である	将来発展の可能性がある	福祉が充実している	公共施設が整っている	その他	無回答	
全体	今回(n=562)	65.3	38.3	23.0	22.8	15.8	14.1	13.2	11.4	8.2	5.0	4.8	1.8	1.6	2.3	0.7	
	前回(n=648)	71.6	31.3	19.1	28.1	14.2	13.9	11.3	9.6	11.1	4.3	8.2	2.0	1.2	0.9	0.6	
年代別	10歳代	今回(n=15)	26.7	46.7	46.7	6.7	53.3	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
		前回(n=34)	35.3	50.0	26.5	2.9	20.6	8.8	26.5	23.5	2.9	2.9	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=32)	28.1	43.8	37.5	15.6	9.4	9.4	21.9	12.5	15.6	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
		前回(n=118)	63.4	16.9	21.1	19.7	19.7	12.7	19.7	16.9	11.3	9.9	4.2	1.4	4.2	4.2	2.8
	30歳代	今回(n=71)	63.6	14.4	17.8	33.9	16.9	7.6	9.3	16.1	12.7	14.4	14.4	0.0	0.8	1.7	0.8
		前回(n=111)	69.4	27.9	20.7	22.5	18.0	8.1	12.6	12.6	9.0	11.7	7.2	0.9	0.0	1.8	0.0
	40歳代	今回(n=124)	83.1	22.6	15.3	29.8	18.5	16.1	14.5	11.3	8.1	7.3	12.9	0.0	0.0	0.8	0.0
		前回(n=83)	70.1	35.1	19.5	24.7	15.6	18.2	10.4	13.0	5.2	3.9	5.2	0.0	1.3	6.5	0.0
	50歳代	今回(n=101)	78.3	31.3	15.7	31.3	16.9	15.7	13.3	3.6	7.2	0.0	4.8	0.0	3.6	0.0	0.0
		前回(n=167)	69.3	48.5	19.8	31.7	12.9	15.8	12.9	11.9	8.9	1.0	2.0	3.0	1.0	2.0	0.0
	60歳代	今回(n=167)	76.6	40.1	18.0	28.1	11.4	13.2	10.2	6.0	13.8	0.0	4.2	3.0	1.2	1.8	0.6
		前回(n=151)	69.5	47.7	25.8	23.8	9.9	16.6	9.9	4.0	9.3	0.7	4.6	3.3	2.0	0.0	1.3
	70歳代以上	今回(n=123)	67.5	40.7	22.8	22.0	10.6	18.7	7.3	9.8	10.6	0.0	2.4	6.5	1.6	0.0	1.6
		前回(n=123)	67.5	40.7	22.8	22.0	10.6	18.7	7.3	9.8	10.6	0.0	2.4	6.5	1.6	0.0	1.6

**問 11 で「できれば町外へ移りたい」または「すぐにでも町外へ移りたい」を選択された方
問 13 町外へ移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)**

町外へ移りたいと思う理由については、「交通が不便である」が42.9%と最も多く、次いで「将来発展の可能性がない」が26.5%、「日常生活が不便である」が22.4%となっています。



■問 13×年代別、地域別／前回との比較

年代別でみると、20歳代から40歳代では「交通が不便である」が他の年代に比べて高くなっています。

地域別でみると、北部地区では「将来発展の可能性がない」が、中部地区と南部地区では「この土地への愛着がない」が他の地域に比べて高くなっています。

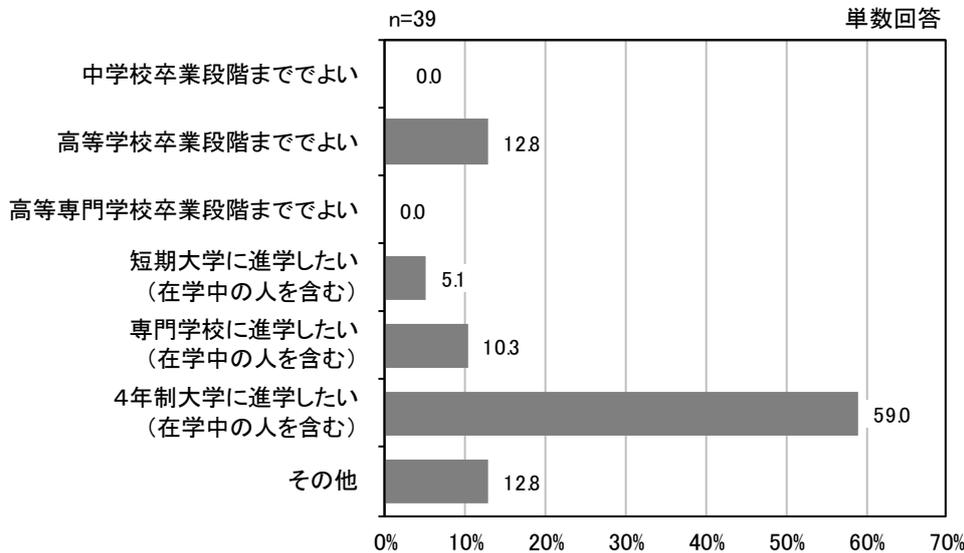
地域別に前回と比較すると、中部地区と南部地区では「日常生活が不便である」、すべての地区で「交通が不便である」の割合に減少が見られます。

単位：%		交通が不便である	将来発展の可能性がない	日常生活が不便である	この土地への愛着がない	公共施設が整っていない	働く場所、家業がない	近隣関係が悪い	親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいない	子どもの教育に不便である	福祉に不満がある	自分の土地や家がない	自然環境に恵まれていない	その他	無回答	
全体	今回(n=49)	42.9	26.5	22.4	20.4	14.3	12.2	12.2	8.2	4.1	2.0	0.0	0.0	26.5	6.1	
	前回(n=57)	57.9	31.6	31.6	22.8	14.0	7.0	8.8	1.8	10.5	15.8	1.8	3.5	21.1	1.8	
年代別	10歳代	今回(n=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
		前回(n=6)	83.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	20歳代	今回(n=17)	64.7	23.5	29.4	17.6	11.8	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5	0.0
		前回(n=11)	63.6	9.1	27.3	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
	30歳代	今回(n=14)	57.1	42.9	35.7	28.6	7.1	0.0	14.3	0.0	21.4	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
		前回(n=10)	50.0	50.0	40.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	40歳代	今回(n=16)	56.3	25.0	31.3	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	12.5	18.8	0.0	6.3	31.3	0.0
		前回(n=6)	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
	50歳代	今回(n=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		前回(n=5)	20.0	60.0	40.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	60歳代	今回(n=4)	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
		前回(n=6)	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	70歳代以上	今回(n=3)	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
		前回(n=17)	47.1	35.3	23.5	11.8	17.6	5.9	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	41.2	5.9
地域別	北部地区	今回(n=27)	55.6	33.3	22.2	11.1	18.5	3.7	11.1	0.0	18.5	29.6	0.0	3.7	29.6	0.0
		前回(n=19)	42.1	21.1	21.1	26.3	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5
	中部地区	今回(n=14)	64.3	50.0	28.6	21.4	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
		前回(n=12)	41.7	25.0	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0
南部地区	今回(n=15)	60.0	13.3	53.3	46.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	26.7	0.0	

22歳以下の方のみお答えください。

問 14 あなたは、今後どの段階まで進学したいですか。(〇は1つ)

今後どの段階まで進学したいかについては、「4年制大学に進学したい(在学中の人を含む)」が59.0%と最も多く、次いで「高等学校卒業段階まででよい」と「その他」が12.8%、「専門学校に進学したい(在学中の人を含む)」が10.3%となっています。

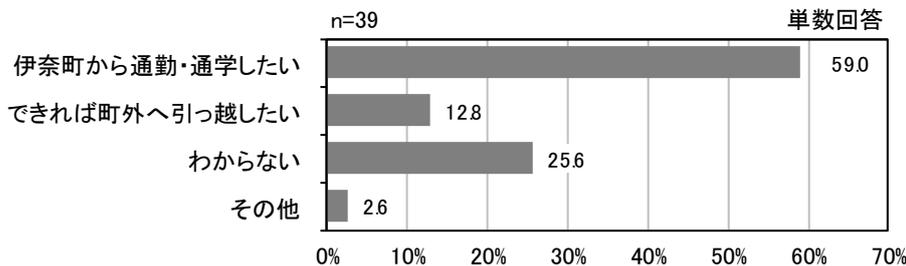


※無回答を除いて集計

22歳以下の方のみお答えください。

問 15 あなたは、今後進学・就職した際の通勤・通学についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

今後進学・就職した際の通勤・通学についての考えについては、「伊奈町から通勤・通学したい」が59.0%と最も多く、次いで「わからない」が25.6%、「できれば町外へ引っ越したい」が12.8%となっています。



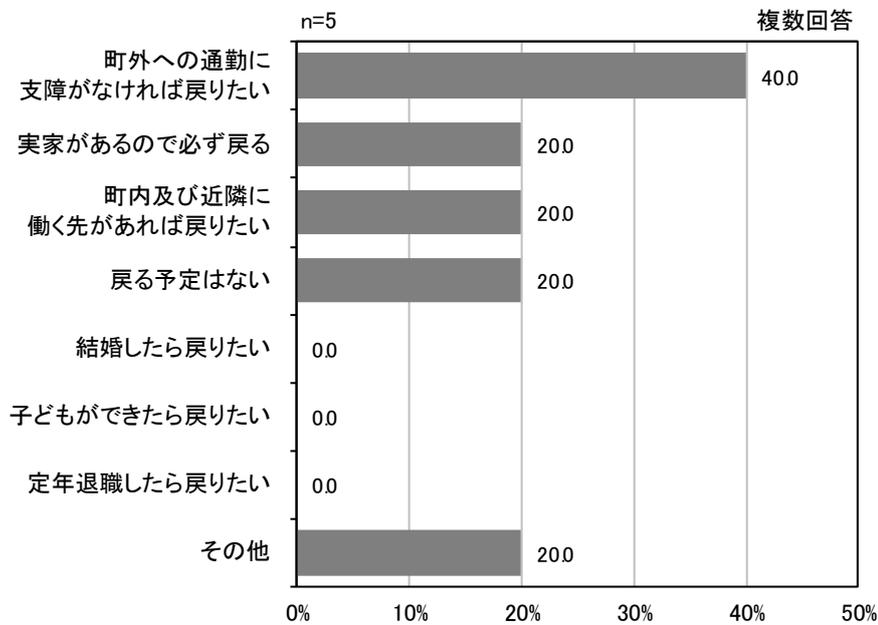
※無回答を除いて集計

問 15 で「できれば町外へ引っ越したい」を選択された方

問 16 一度町外へ引っ越した後に、再び伊奈町に戻って住むことは考えられますか。

(あてはまるものすべてに○)

一度町外へ引っ越した後に、再び伊奈町に戻って住む意向については、「町外への通勤に支障がなければ戻りたい」が40.0%と最も多く、次いで「実家があるので必ず戻る」「町内及び近隣に働く先があれば戻りたい」「戻る予定はない」「その他」が20.0%となっています。



※無回答を除いて集計

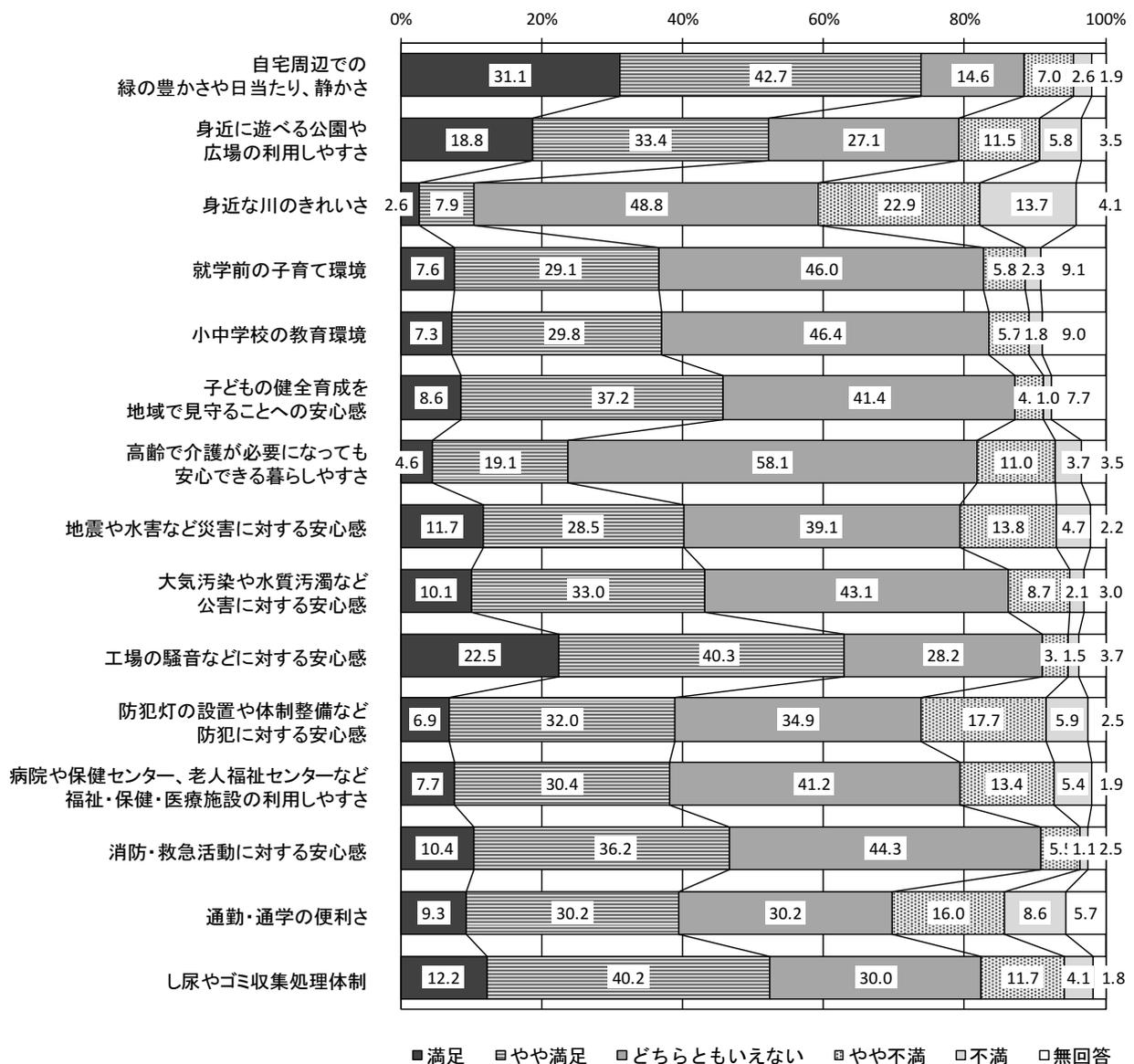
2. あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします

問 17 日常生活を送る上で、あなたは次の項目について日ごろどのように感じていますか。（それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ）

問 17 1. 住みやすさ

住みやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が73.8%と最も高く、次いで「工場の騒音などに対する安心感」が62.8%、「し尿やゴミ収集処理体制」の52.4%となっています。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「身近な川のきれいさ」が36.6%と高くなっています。



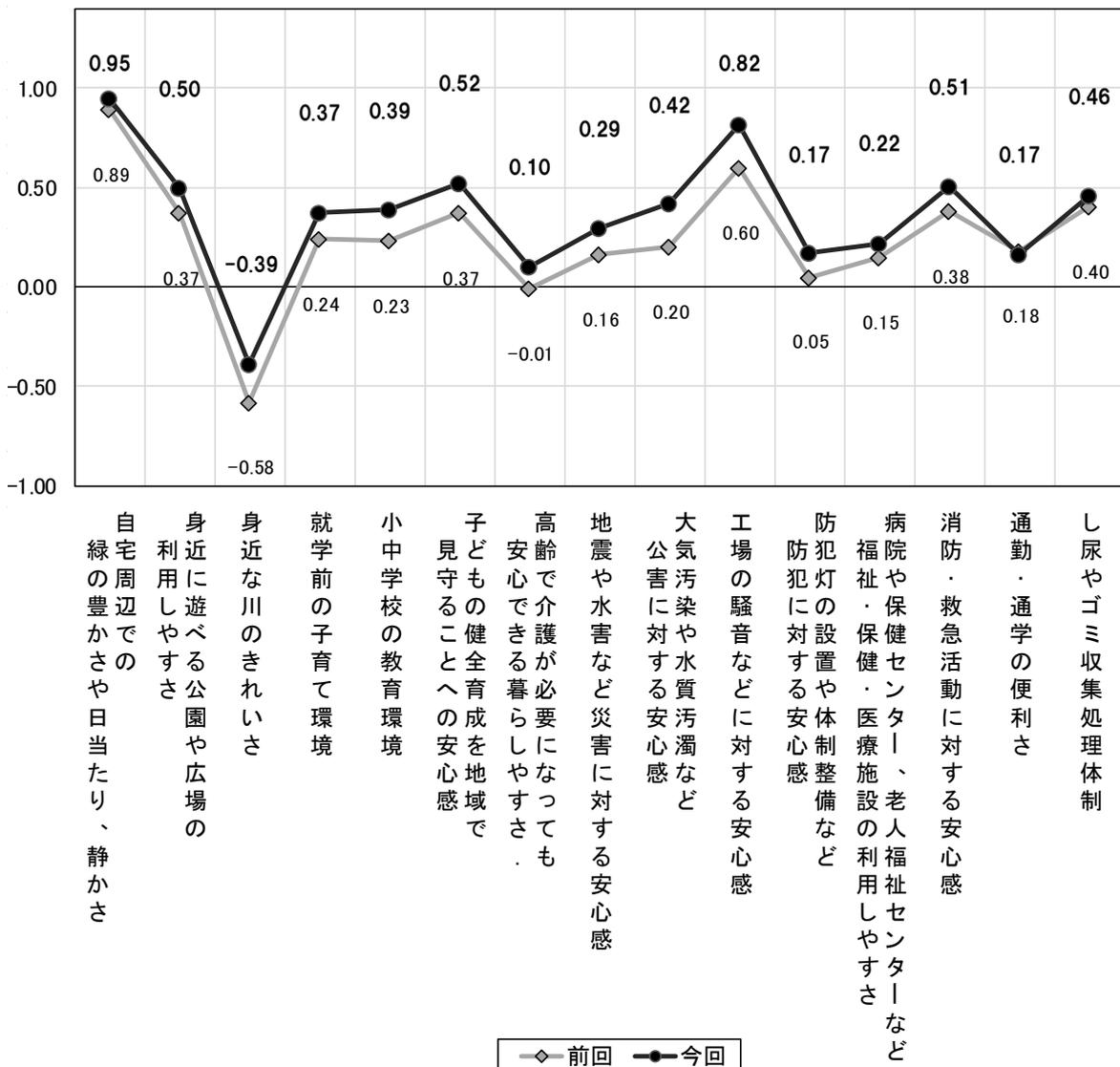
以下、問 17 についての集計においては、それぞれの項目における満足度をみるため、皆様の回答に下記の得点を与え平均することで、「平均評価点」を算出しました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2 点	1 点	0 点	-1 点	-2 点

■問 17-1 × 平均評価点の算出 / 前回との比較

住みやすさについての満足度（平均評価点）は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が 0.95 と最も高く、次いで「工場の騒音などに対する安心感」が 0.82、「子どもの健全育成を地域で見守る事への安心感」が 0.52 となっています。

また、前回と比較すると、「通勤・通学の便利さ」については平均評価点が前回を下回っていますが、その他のすべての項目で平均評価点が上がっています。



■問 17-1 ×年代別、地域別でみる平均評価点

年代別で見ると、30歳代から60歳代で全体を下回る平均評価点となった項目が多くなっています。特に30歳代と40歳代では「防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感」、「病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ」といった項目で、50歳代以上では「自宅周辺の緑の豊かさや日当たり、静かさ」「身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ」といった項目で、平均評価点が全体に比べて低くなっています。

地域別で見ると、北部地区で他の地域に比べて全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっています。

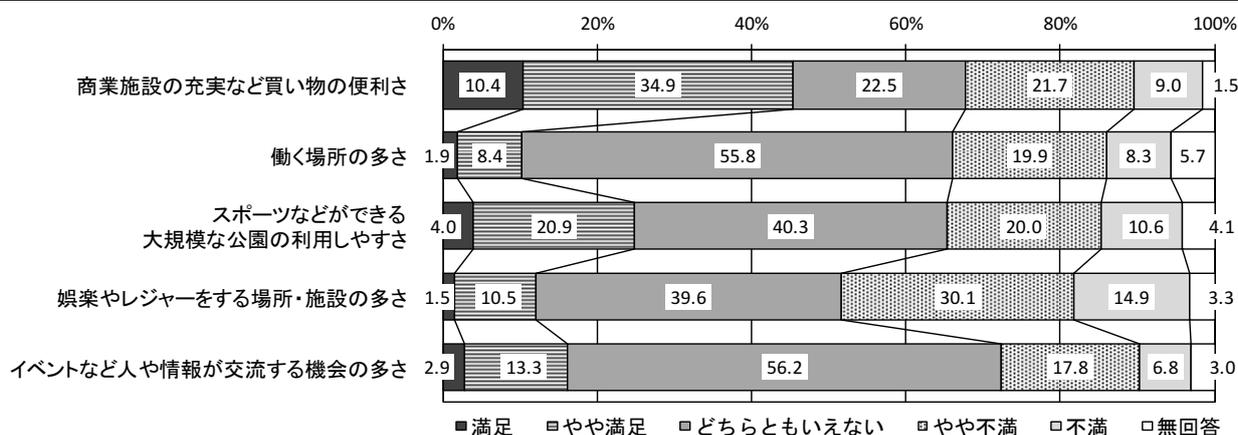
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	0.95	0.96	1.04	0.90	1.12	0.83	0.94	0.86	0.96	0.93	0.91
身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ	0.50	0.77	0.73	0.55	0.55	0.37	0.37	0.46	0.75	0.23	0.31
身近な川のきれいさ	-0.39	-0.62	-0.14	-0.36	-0.28	-0.38	-0.46	-0.49	-0.34	-0.33	-0.60
就学前の子育て環境	0.37	0.50	0.47	0.36	0.40	0.29	0.28	0.42	0.44	0.33	0.29
小中学校の教育環境	0.39	0.65	0.47	0.32	0.45	0.36	0.28	0.40	0.40	0.39	0.37
子どもの健全育成を地域で見守ることへの安心感	0.52	0.76	0.57	0.46	0.63	0.44	0.53	0.45	0.53	0.50	0.54
高齢で介護が必要になっても安心できる暮らしやすさ	0.10	0.42	0.14	0.11	0.01	-0.03	0.08	0.20	0.11	0.15	0.02
地震や水害など災害に対する安心感	0.29	0.66	0.59	0.25	0.21	0.23	0.24	0.32	0.36	0.50	-0.10
大気汚染や水質汚濁など公害に対する安心感	0.42	0.58	0.43	0.33	0.37	0.31	0.50	0.47	0.50	0.43	0.23
工場の騒音などに対する安心感	0.82	0.81	0.94	0.83	0.85	0.66	0.77	0.87	0.84	0.77	0.81
防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感	0.17	-0.15	0.39	-0.01	-0.01	0.10	0.24	0.40	0.11	0.16	0.30
病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ	0.22	0.69	0.31	0.16	0.01	0.18	0.27	0.34	0.15	0.35	0.21
消防・救急活動に対する安心感	0.51	0.77	0.55	0.37	0.39	0.39	0.50	0.71	0.45	0.60	0.51
通勤・通学の便利さ	0.17	0.27	-0.04	0.02	0.08	0.20	0.34	0.24	0.18	0.07	0.26
し尿やゴミ収集処理体制	0.46	0.54	0.45	0.29	0.34	0.21	0.43	0.79	0.44	0.49	0.46

※網掛けは、全体の平均評価点を上回っている部分

問 17 II. 賑やかさ

賑やかさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」が45.3%と最も高く、次いで「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」が24.9%となっています。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」が45.0%と高くなっています。

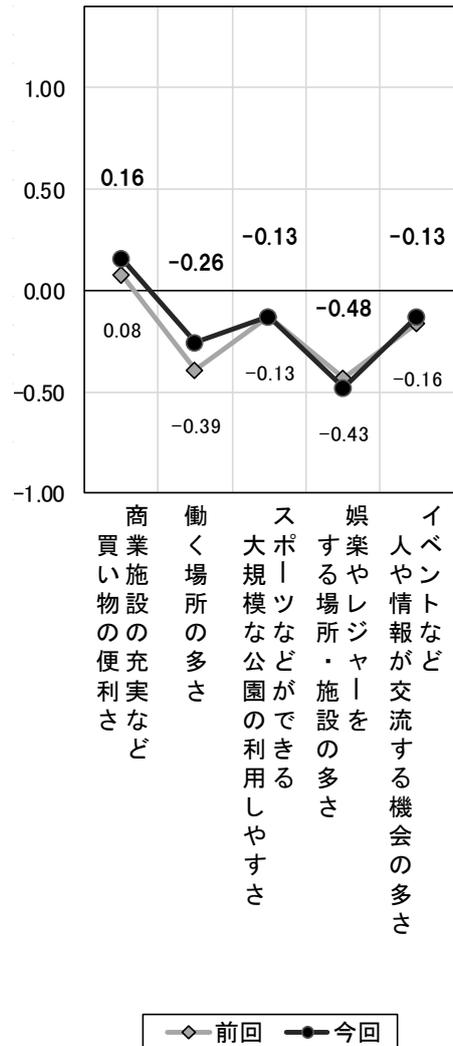


■問 17-Ⅱ × 平均評価点の算出／前回との比較

賑やかさについての満足度（平均評価点）は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」が 0.16 と最も高く、次いで「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」と、「イベントなど人や情報が交流する機会の多さ」が-0.13 となっています。

また、前回と比較すると、平均評価点はほぼ横ばいとなりました。

前回において平均評価点が低かった項目をみると、「働く場所の多さ」については平均評価点が向上しましたが、「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」についてはさらに低下しました。



■問 17-Ⅱ × 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別で見ると、30 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、10 歳代の「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」における平均評価点が-0.81 と特に低くなっています。

地域別で見ると、北部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、中部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

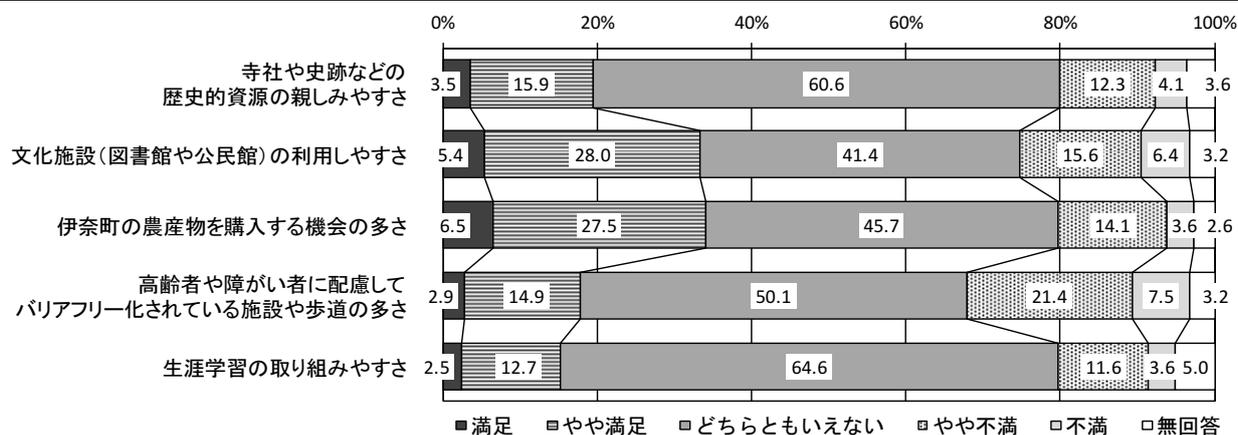
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
商業施設の充実など買い物の便利さ	0.16	0.31	-0.02	0.25	0.08	0.19	0.16	0.21	0.43	-0.13	-0.04
働く場所の多さ	-0.26	-0.16	-0.18	-0.23	-0.17	-0.36	-0.27	-0.33	-0.19	-0.33	-0.30
スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	-0.13	-0.27	0.04	0.00	-0.29	-0.19	-0.16	-0.04	-0.01	-0.32	-0.12
娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	-0.48	-0.81	-0.59	-0.44	-0.60	-0.49	-0.39	-0.36	-0.41	-0.61	-0.45
イベントなど人や情報が交流する機会の多さ	-0.13	-0.04	-0.16	0.03	-0.07	-0.21	-0.22	-0.15	-0.03	-0.31	-0.10

※網掛けは、全体の平均評価点を上回っている部分

問 17 III. 豊かさ

豊かさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が 34.0%と最も高く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が 33.4%となっています。

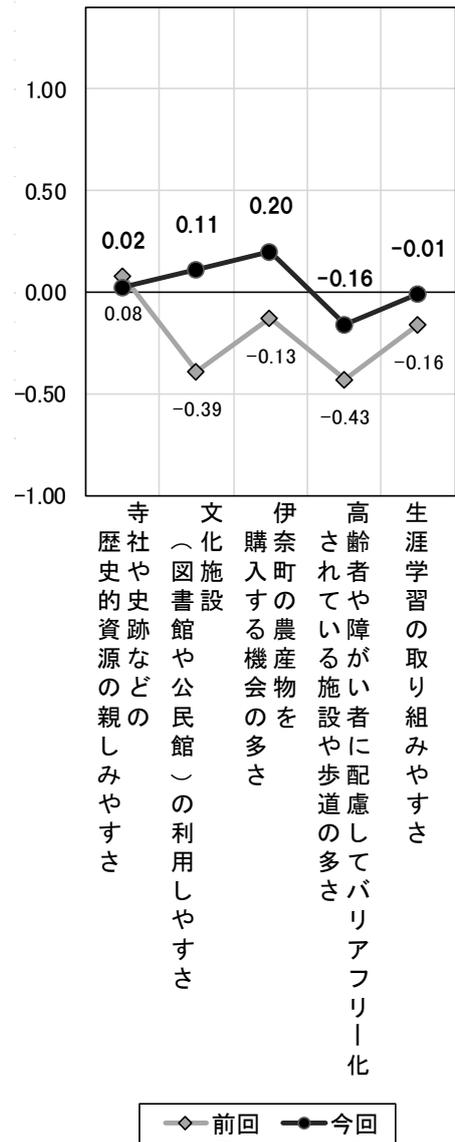
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」が 28.9%と高くなっています。



■問 17-III × 平均評価点の算出／前回との比較

豊かさについての満足度（平均評価点）は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が 0.20 と最も高く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が 0.11、「寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ」が 0.02 となっています。

また、前回と比較すると、全体的に平均評価点が上がっていて、特に「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」において大きく上がっています。一方で、「寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ」については平均評価点が前回を下回っています。



■問 17-III × 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別で見ると、20 歳代、30 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、50 歳代、60 歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

地域別で見ると、北部地区では「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」が、中部地区と南部地区では「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が全体の平均評価点を特に大きく上回っています。

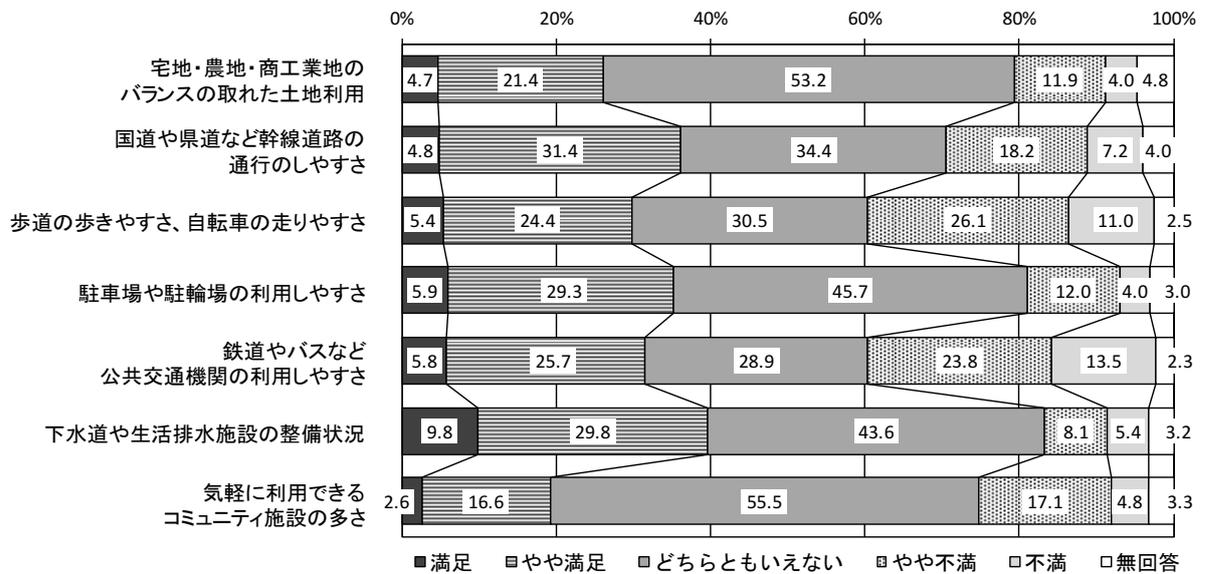
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ	0.02	-0.04	0.08	0.05	0.04	0.00	-0.07	0.06	-0.01	0.01	0.09
文化施設(図書館や公民館)の利用しやすさ	0.11	0.19	0.45	0.13	-0.04	0.10	0.08	0.14	-0.02	0.26	0.20
伊奈町の農産物を購入する機会の多さ	0.20	0.00	0.31	0.32	0.19	0.14	0.11	0.22	0.11	0.13	0.43
高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ	-0.16	0.23	0.12	-0.10	-0.08	-0.26	-0.33	-0.24	-0.05	-0.28	-0.25
生涯学習の取り組みやすさ	-0.01	0.20	0.06	0.06	-0.01	-0.08	-0.02	-0.07	0.02	-0.07	-0.01

※網掛けは、全体の平均評価点を上回っている部分

問 17 IV. 快適さ

快適さについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が 39.6%と最も高く、次いで「国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ」が 36.2%となっています。

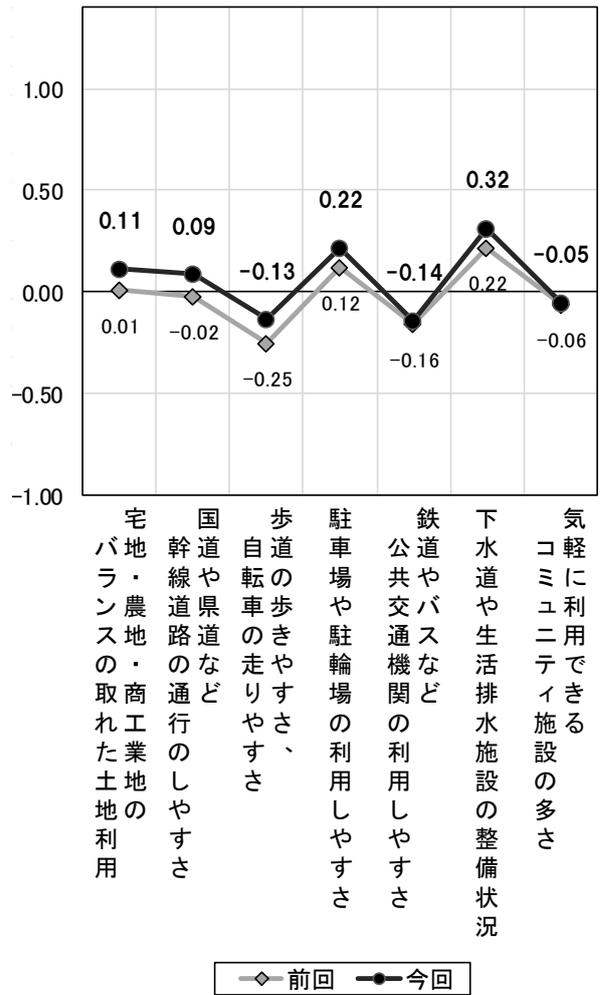
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ」が 37.3%と高くなっています。



■問 17-Ⅳ×平均評価点の算出／前回との比較

快適さについての満足度（平均評価点）は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が0.32と最も高く、次いで「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」が0.22、「宅地・農地・商工業地のバランスのとれた土地利用」が0.11となっています。

また、前回と比較すると、全体的に平均評価点が上がっている一方で、「鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ」と、「気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ」については前回からほぼ横ばいとなっています。



■問 17-Ⅳ×年代別、地域別でみる平均評価点

年代別で見ると、若い世代ほど「鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ」の平均評価点が低くなっており、10歳代から50歳代まで全体を下回っています。その他の項目については、全体的に10歳代から40歳代までが全体の平均評価点を上回っている傾向がみられます。

地域別で見ると、北部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、中部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

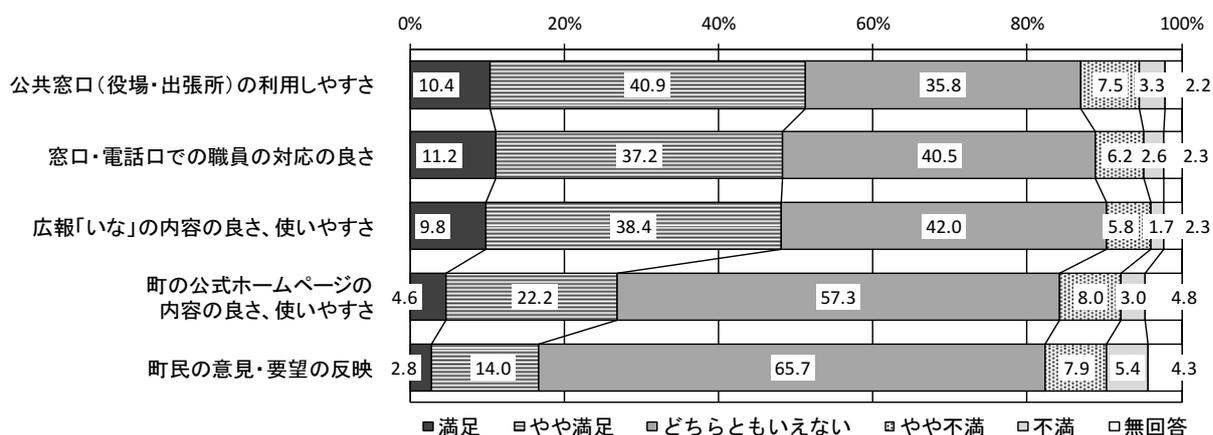
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用	0.11	0.24	0.26	0.18	0.16	0.09	0.03	0.05	0.17	0.07	0.05
国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ	0.09	0.27	0.31	0.28	0.07	-0.02	-0.14	0.11	0.22	-0.17	0.13
歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	-0.13	0.23	0.06	0.05	-0.05	-0.34	-0.35	-0.16	0.15	-0.48	-0.30
駐車場や駐輪場の利用しやすさ	0.22	0.58	0.57	0.34	0.33	0.09	0.08	0.05	0.39	0.09	0.01
鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ	-0.14	-0.42	-0.24	-0.34	-0.20	-0.17	-0.03	0.05	-0.10	-0.23	-0.14
下水道や生活排水施設の整備状況	0.32	0.23	0.51	0.38	0.34	0.25	0.16	0.36	0.37	0.19	0.35
気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ	-0.05	0.08	0.08	-0.02	-0.04	0.02	-0.16	-0.11	-0.03	-0.13	0.00

※網掛けは、全体の平均評価点を上回っている部分

問 17 V. 町政について

町政については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」が 51.3%と最も高く、次いで「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が 48.4%となっています。

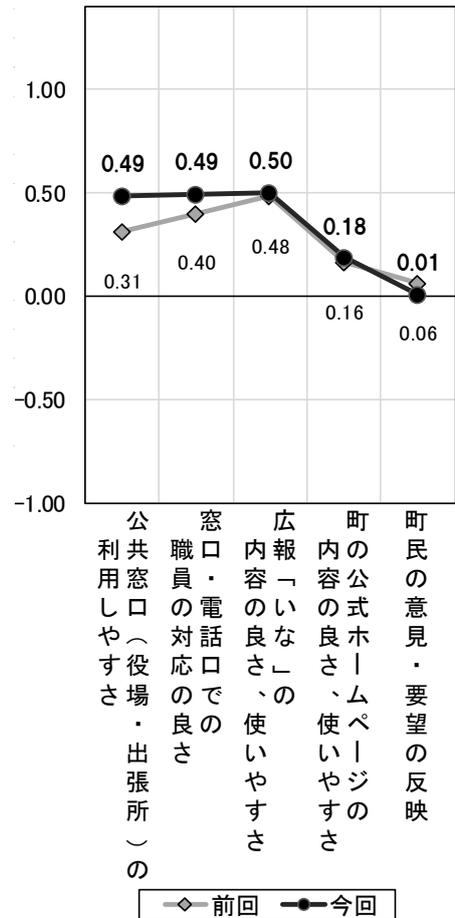
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「町民の意見・要望の反映」が 13.3%と他と比べて高くなっています。



■問 17－V × 平均評価点の算出／前回との比較

町政についての満足度（平均評価点）は、「広報『いな』の内容の良さ、使いやすさ」が0.50と最も高く、次いで「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」と、「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が0.49となっています。

また、前回と比較すると、「窓口・電話口での職員の対応の良さ」と、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」については平均評価点が上がりましたが、他の3項目については概ね横ばいでした。



■問 17－V × 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別でみると、10歳代、20歳代と、70歳代以上では多くの項目で全体の平均評価点を上回っている一方、50歳代、60歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

地域別でみると、地域ごとに大きな偏りはありませんでしたが、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」について、北部地区では、他の地区と比べてやや平均評価点が低い傾向がみられました。

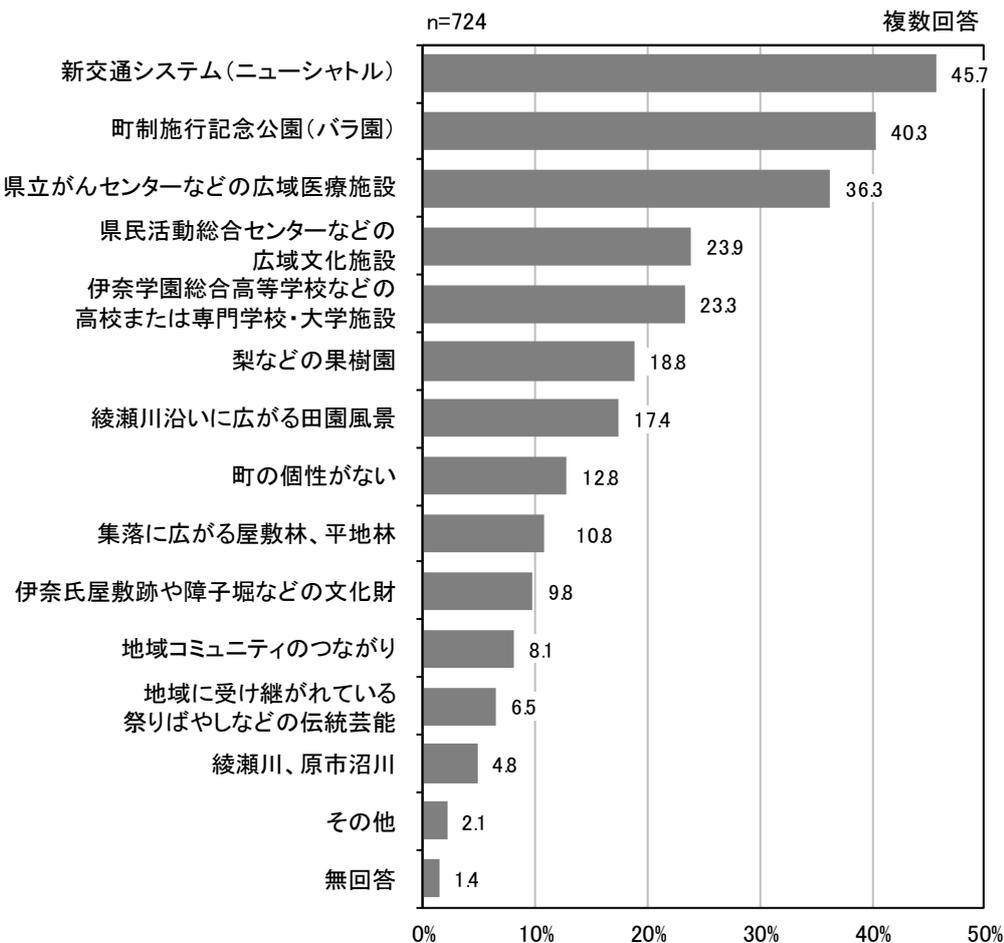
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ	0.49	0.46	0.43	0.42	0.29	0.46	0.46	0.74	0.43	0.55	0.52
窓口・電話口での職員の対応の良さ	0.49	0.66	0.31	0.34	0.36	0.42	0.47	0.78	0.49	0.47	0.51
広報「いな」の内容の良さ、使いやすさ	0.50	0.88	0.57	0.37	0.52	0.33	0.39	0.66	0.49	0.51	0.51
町の公式ホームページの良さ、使いやすさ	0.18	0.50	0.28	0.16	0.18	0.12	0.08	0.23	0.16	0.22	0.17
町民の意見・要望の反映	0.01	0.16	0.08	0.03	-0.06	-0.05	-0.07	0.11	0.01	0.04	-0.03

※網掛けは、全体の平均評価点を上回っている部分

3. 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします

問 18 あなたは将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は何であると思いますか。
(〇は3つまで)

将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性については、「新交通システム（ニューシャトル）」が45.7%と最も多く、次いで「町制施行記念公園（バラ園）」が40.3%、「県立がんセンターなどの広域医療施設」が36.3%となっています。



■問 18×年代別、地域別／前回との比較

年代別でみると、10歳代から60歳代では「新交通システム（ニューシャトル）」が、70歳代以上では「県立がんセンターなどの広域医療施設」が最も高くなっています。

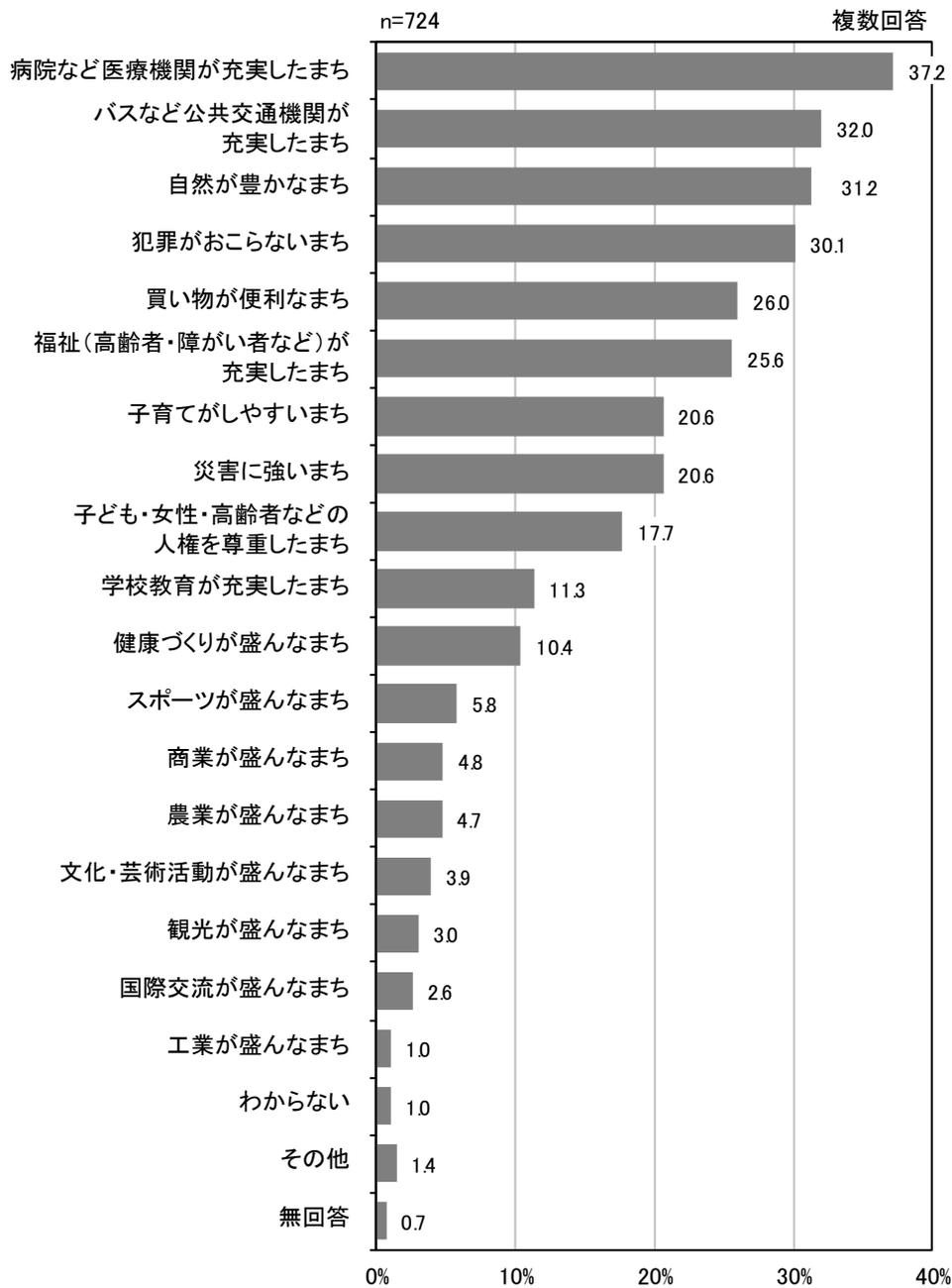
年代別に前回と比較すると、すべての年代で、「新交通システム（ニューシャトル）」の割合が増加した一方、「集落に広がる屋敷林、平地林」の割合が30歳代以上で減少しました。また、「町の個性がない」と答えた人の割合は、20歳代と30歳代では減少しましたが、40歳代以上では増加した年代が多くなっています。

地域別でみると、北部地区では「町政施行記念公園（バラ園）」「県民活動総合センターなどの広域文化施設」が、中部地区では「集落に広がる屋敷林、平地林」が、南部地区では「県立がんセンターなどの広域医療施設」「綾瀬川、原市沼川」「綾瀬川沿いに広がる田園風景」がそれぞれ他の地域に比べて高くなっています。

単位：%		新交通システム（ニューシャトル）	町政施行記念公園（バラ園）	県立がんセンターなどの広域医療施設	県民活動総合センターなどの広域文化施設	または専門学校・大学施設	伊奈学園総合高等学校などの高校	梨などの果樹園	綾瀬川沿いに広がる田園風景	町の個性がない	集落に広がる屋敷林、平地林	伊奈氏屋敷跡や障子堀などの文化財	地域コミュニティのつながり	地域に受け継がれている祭りばやしなどの伝統芸能	綾瀬川、原市沼川	その他	無回答
全体	今回(n=724)	45.7	40.3	36.3	23.9	23.3	18.8	17.4	12.8	10.8	9.8	8.1	6.5	4.8	2.1	1.4	
	前回(n=836)	35.2	35.8	39.5	22.5	23.4	20.3	21.7	12.1	17.6	6.0	9.1	9.4	5.5	2.8	1.7	
年代別	10歳代	今回(n=26)	50.0	42.3	26.9	11.5	26.9	38.5	19.2	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0	7.7	3.8	0.0
		前回(n=51)	54.9	33.3	27.5	19.6	25.5	23.5	17.6	2.0	13.7	11.8	11.8	9.8	2.0	3.9	0.0
	20歳代	今回(n=66)	30.3	43.9	27.3	10.6	28.8	37.9	21.2	10.6	12.1	3.0	7.6	10.6	0.0	0.0	1.5
		前回(n=159)	45.9	42.9	42.9	26.5	33.7	22.4	11.2	6.1	7.1	4.1	11.2	5.1	3.1	3.1	1.0
	30歳代	今回(n=98)	35.8	42.8	33.3	24.5	29.6	25.2	15.7	8.2	15.1	5.0	8.2	8.8	4.4	5.0	0.6
		前回(n=147)	50.3	44.9	32.0	19.7	26.5	21.1	16.3	12.9	11.6	6.8	5.4	4.1	1.4	1.4	1.4
	40歳代	今回(n=169)	36.7	34.3	36.1	22.5	26.6	21.9	23.1	9.5	20.1	4.7	8.9	6.5	4.1	3.0	0.6
		前回(n=103)	41.7	39.8	24.3	34.0	28.2	16.5	12.6	15.5	13.6	14.6	7.8	4.9	2.9	4.9	0.0
	50歳代	今回(n=104)	38.5	36.5	41.3	18.3	23.1	19.2	26.9	12.5	19.2	7.7	4.8	6.7	5.8	3.8	1.0
		前回(n=119)	47.1	34.5	37.0	24.4	16.8	19.3	19.3	15.1	10.9	15.1	9.2	8.4	6.7	0.8	1.7
	60歳代	今回(n=195)	31.3	31.8	46.7	26.7	19.0	14.4	22.6	16.4	17.9	5.6	10.3	11.8	9.2	2.1	1.5
		今回(n=177)	39.5	41.8	47.5	23.2	14.7	11.3	23.2	17.5	10.7	9.6	7.9	9.0	9.0	0.6	2.3
	70歳代以上	前回(n=137)	38.0	32.1	46.0	23.4	17.5	13.1	21.2	13.1	18.2	9.5	12.4	11.7	5.8	1.5	5.1
		北部地区	今回(n=342)	50.6	45.9	31.9	28.7	25.1	19.6	14.6	12.6	8.8	8.8	7.0	5.8	3.2	2.0
前回(n=370)	42.2		44.6	32.4	23.8	25.4	20.5	18.4	9.5	14.1	4.3	8.6	7.8	3.0	3.5	2.4	
中部地区	今回(n=210)	53.8	32.4	37.6	20.5	23.8	17.6	16.7	13.8	15.7	10.5	6.7	6.2	2.9	1.9	1.4	
	前回(n=220)	38.6	30.0	37.3	20.0	21.8	19.5	23.2	15.9	20.5	8.2	7.7	11.8	4.5	2.3	1.8	
南部地区	今回(n=164)	26.2	39.0	42.7	17.7	19.5	18.9	24.4	12.8	9.1	11.6	12.2	8.5	10.4	2.4	1.2	
	前回(n=237)	21.1	27.4	53.6	22.8	22.4	19.8	24.5	12.7	21.1	6.8	11.0	8.9	10.5	2.1	0.4	

問 19 今後、伊奈町には、どのようなまちになってほしいですか。(〇は3つまで)

伊奈町には、どのようなまちになってほしいかについては、「病院など医療機関が充実したまち」が37.2%と最も多く、次いで「バスなど公共交通機関が充実したまち」が32.0%、「自然が豊かなまち」が31.2%となっています。



■問 19×年代別／前回との比較

年代別でみると、10歳代では「買い物が便利なまち」、20歳代では「自然が豊かなまち」、30歳代では「子育てがしやすいまち」、40歳代から60歳代では「病院など医療機関が充実したまち」、70歳代以上では「自然が豊かなまち」と「病院など医療機関が充実したまち」が最も高くなりました。

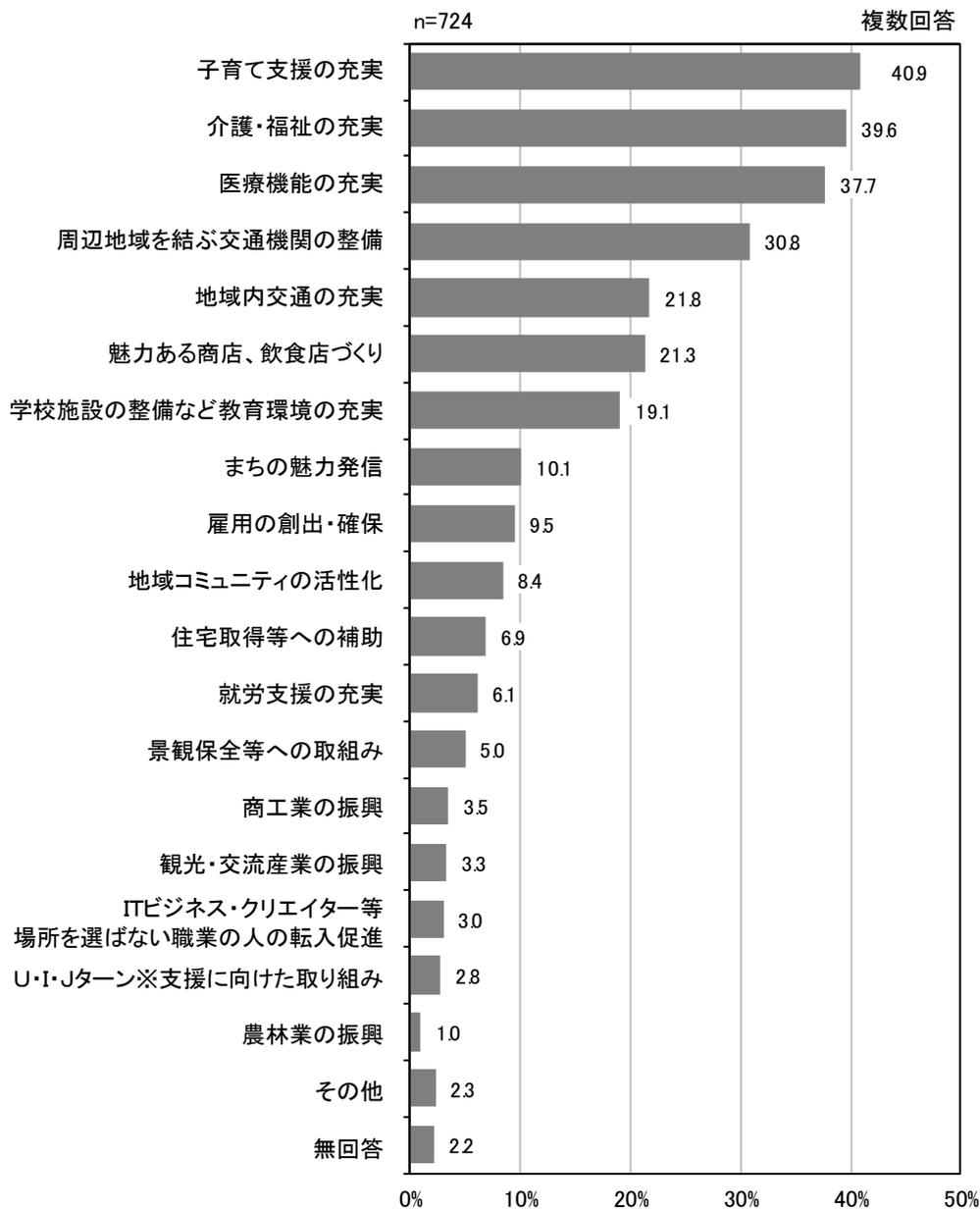
前回と比較すると、「バスなど公共交通機関が充実したまち」が30歳代以上で増加しています。

単位：%		病院など医療機関が充実したまち	バスなど公共交通機関が充実したまち	自然が豊かなまち	犯罪がおこらないまち	買い物が便利なまち	福祉（高齢者・障がい者など）が充実したまち	子育てがしやすいまち	災害に強いまち	子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち	学校教育が充実したまち	健康づくりが盛んなまち	
		全体	今回(n=724)	37.2	32.0	31.2	30.1	26.0	25.6	20.6	20.6	17.7	11.3
	前回(n=836)	38.2	24.3	41.0	32.4	20.9	28.6	22.4	15.9	13.6	12.4	9.0	
年代別	10歳代	今回(n=26)	26.9	42.3	30.8	26.9	50.0	3.8	26.9	11.5	30.8	3.8	3.8
	20歳代	今回(n=51)	25.5	29.4	33.3	27.5	29.4	15.7	23.5	21.6	11.8	11.8	5.9
		前回(n=66)	28.8	34.8	39.4	31.8	25.8	6.1	31.8	10.6	13.6	9.1	7.6
	30歳代	今回(n=98)	23.5	39.8	23.5	30.6	20.4	13.3	45.9	19.4	13.3	19.4	6.1
		前回(n=159)	33.3	28.3	28.3	34.6	27.7	11.9	45.9	13.2	8.2	27.0	4.4
	40歳代	今回(n=147)	42.2	34.0	22.4	37.4	32.7	15.6	27.9	20.4	11.6	15.6	6.8
		前回(n=169)	36.1	28.4	40.2	40.8	19.5	23.7	23.7	17.8	10.1	13.6	8.3
	50歳代	今回(n=103)	38.8	24.3	33.0	32.0	20.4	35.0	20.4	25.2	15.5	12.6	8.7
		前回(n=104)	40.4	19.2	50.0	30.8	14.4	35.6	16.3	20.2	7.7	11.5	7.7
	60歳代	今回(n=119)	43.7	29.4	33.6	27.7	20.2	36.1	10.9	30.3	18.5	5.9	13.4
		前回(n=195)	44.6	17.4	45.6	29.7	20.5	42.6	12.3	16.9	15.9	7.7	11.8
	70歳代以上	今回(n=177)	40.1	32.2	40.1	26.0	25.4	34.5	5.6	13.6	25.4	6.2	16.9
		前回(n=137)	40.1	21.9	44.5	26.3	18.2	40.1	8.0	14.6	26.3	3.6	13.1
	単位：%		スポーツが盛んなまち	商業が盛んなまち	農業が盛んなまち	文化・芸術活動が盛んなまち	観光が盛んなまち	国際交流が盛んなまち	工業が盛んなまち	わからない	その他	無回答	
全体			今回(n=724)	5.8	4.8	4.7	3.9	3.0	2.6	1.0	1.0	1.4	0.7
	前回(n=836)	4.4	4.5	3.5	5.0	2.3	1.9	0.8	0.5	1.1	1.4		
年代別	10歳代	今回(n=26)	7.7	11.5	0.0	3.8	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	今回(n=51)	5.9	7.8	9.8	0.0	7.8	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	
		前回(n=66)	9.1	6.1	3.0	12.1	3.0	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	
	30歳代	今回(n=98)	6.1	5.1	3.1	5.1	3.1	2.0	0.0	0.0	2.0	1.0	
		前回(n=159)	6.9	5.0	1.9	2.5	3.1	1.3	1.9	0.0	1.9	0.6	
	40歳代	今回(n=147)	7.5	4.8	3.4	3.4	3.4	2.7	0.0	0.0	1.4	0.0	
		前回(n=169)	1.8	6.5	3.6	3.0	3.6	3.0	0.6	0.0	1.2	1.2	
	50歳代	今回(n=103)	6.8	4.9	6.8	4.9	1.9	1.0	1.9	3.9	1.0	0.0	
		前回(n=104)	5.8	1.0	4.8	7.7	1.9	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	
	60歳代	今回(n=119)	3.4	4.2	5.0	4.2	3.4	2.5	0.8	0.0	0.8	0.8	
		前回(n=195)	2.1	5.1	4.6	5.6	1.0	2.1	1.0	0.5	1.0	0.5	
	70歳代以上	今回(n=177)	5.1	3.4	4.5	4.0	0.6	2.3	2.3	0.0	2.3	1.1	
		前回(n=137)	4.4	2.2	2.9	4.4	1.5	0.7	0.7	1.5	1.5	3.6	

問 20 今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取り組みにどのようなものがありますか。(〇は3つまで)

※地方から都市部へ移住した者が再び地方の生まれ故郷に戻ることをUターン、
出身地とは別の地方に移り住む、特に都市部から田舎に移り住むことをIターン、
地方から大都市へ移住した者が、生まれ故郷の近くの(元の移住先よりも)規模の小さい地方大都市圏や、中規模な都市に戻り定住することをJターンという。

今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取り組みについては、「子育て支援の充実」が40.9%と最も多く、次いで「介護・福祉の充実」が39.6%、「医療機能の充実」が37.7%となっています。



■問 20×年代別

年代別でみると、10歳代から40歳代では「子育て支援の充実」の割合が最も高く、50歳代以上では「介護・福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

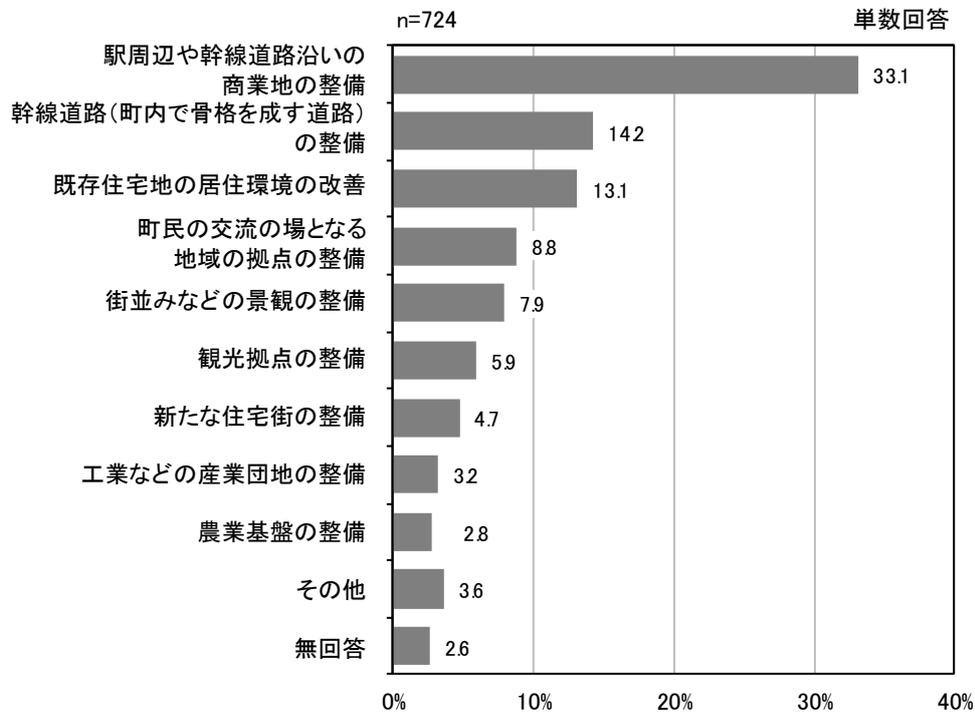
概ねどの年代でも「子育て支援の充実」、「介護・福祉の充実」、「医療機能の充実」が1番目または2番目に高くなっていますが、10歳代では「魅力ある商店、飲食店づくり」が2番目に高くなっています。

単位：%		子育て支援の充実	介護・福祉の充実	医療機能の充実	周辺地域を結ぶ交通機関の整備	地域内交通の充実	魅力ある商店、飲食店づくり	学校施設の整備など教育環境の充実	まちな魅力発信	雇用の創出・確保	地域コミュニティの活性化	
全体	今回(n=724)	40.9	39.6	37.7	30.8	21.8	21.3	19.1	10.1	9.5	8.4	
年代別	10歳代	今回(n=26)	65.4	23.1	26.9	34.6	7.7	38.5	19.2	15.4	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	43.1	37.3	27.5	35.3	15.7	23.5	21.6	11.8	5.9	3.9
	30歳代	今回(n=98)	59.2	20.4	30.6	30.6	18.4	27.6	26.5	6.1	8.2	8.2
	40歳代	今回(n=147)	44.9	32.7	40.1	34.0	25.2	27.9	23.8	6.1	11.6	4.8
	50歳代	今回(n=103)	41.7	42.7	39.8	33.0	24.3	22.3	16.5	10.7	12.6	5.8
	60歳代	今回(n=119)	30.3	43.7	42.9	31.1	20.2	12.6	16.0	12.6	12.6	10.9
	70歳代以上	今回(n=177)	29.9	55.4	39.5	24.9	24.3	14.7	14.1	12.4	7.3	14.1
単位：%		住宅取得等への補助	就労支援の充実	景観保全等への取り組み	商工業の振興	観光・交流産業の振興	ＩＴビジネス・クリエイター等場所を選ばない職業の人の転入促進	Ｕ・Ｉ・Ｊターン※支援に向けた取り組み	農林業の振興	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	6.9	6.1	5.0	3.5	3.3	3.0	2.8	1.0	2.3	2.2	
年代別	10歳代	今回(n=26)	7.7	11.5	3.8	11.5	7.7	0.0	7.7	0.0	3.8	0.0
	20歳代	今回(n=51)	7.8	5.9	3.4	7.8	9.8	2.5	3.4	0.0	1.7	2.5
	30歳代	今回(n=98)	16.3	5.1	8.5	1.0	2.0	2.3	2.8	0.0	1.1	4.5
	40歳代	今回(n=147)	6.8	5.4	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	今回(n=103)	3.9	3.9	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
	60歳代	今回(n=119)	5.0	7.6	0.0	4.2	5.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0
	70歳代以上	今回(n=177)	4.5	6.2	0.0	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21 伊奈町のこれからのまちづくりの中で何を重点的に整備していくことが望まれますか。（それぞれ〇は1つ）

問 21（1）町の発展基盤の整備

町の発展基盤の整備については、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が 33.1%と最も多く、次いで「幹線道路（町内で骨格を成す道路）の整備」が 14.2%、「既存住宅地の居住環境の改善」が 13.1%となっています。



■問 21 (1) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別でみると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別でみると、すべての年代で「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が最も高くなっています。

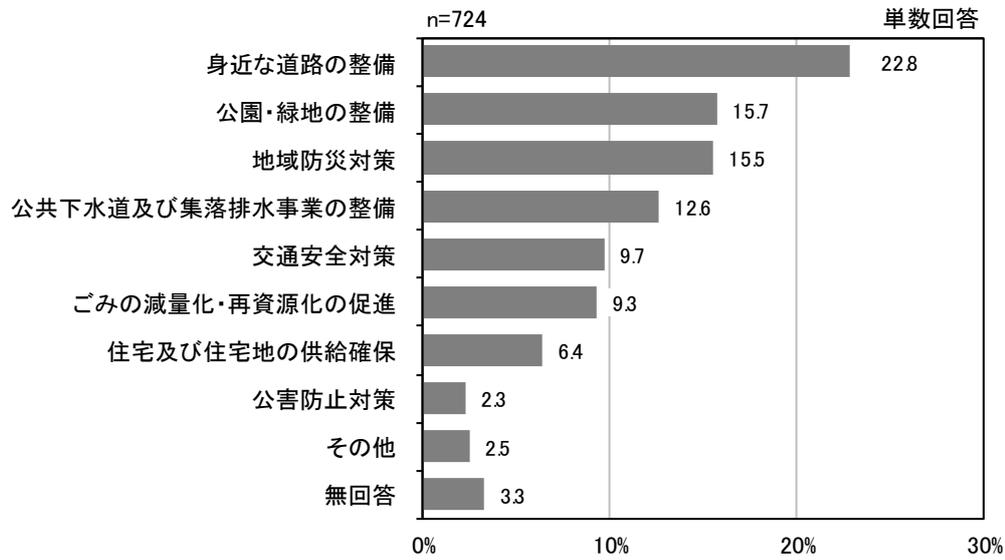
地域別でみると、北部地区と中部地区は概ね同様の傾向となっていますが、北部地区と中部地区では「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が、他の地区に比べて高くなっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」の割合がすべての項目において、より一層高くなりました。

単位：%		駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備	幹線道路（町内）の整備	善 既存住宅地の居住環境の改善	町の拠点の整備	街並みなどの景観の整備	観光拠点の整備	新たな住宅街の整備	工業などの産業団地の整備	農業基盤の整備	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	33.1	14.2	13.1	8.8	7.9	5.9	4.7	3.2	2.8	3.6	2.6	
	前回(n=836)	23.9	15.3	16.5	9.2	9.9	3.1	3.9	2.9	6.1	2.5	6.6	
性別	男性	今回(n=330)	31.5	14.5	14.2	6.7	7.9	6.4	6.4	3.9	2.1	3.6	2.7
		前回(n=374)	21.9	18.4	15.8	9.4	7.5	4.3	4.5	4.0	5.6	2.1	6.4
	女性	今回(n=390)	34.6	14.1	12.3	10.8	7.7	5.6	3.1	2.6	3.3	3.6	2.3
		前回(n=452)	25.4	12.6	17.3	9.1	12.2	2.2	3.5	2.0	6.4	2.7	6.6
年代別	10歳代	今回(n=26)	50.0	7.7	11.5	0.0	7.7	11.5	0.0	0.0	3.8	7.7	0.0
		前回(n=51)	43.1	9.8	7.8	3.9	2.0	11.8	7.8	3.9	2.0	7.8	0.0
	20歳代	今回(n=66)	42.4	9.1	10.6	7.6	9.1	4.5	1.5	0.0	9.1	3.0	3.0
		前回(n=98)	39.8	16.3	13.3	7.1	8.2	7.1	2.0	0.0	0.0	4.1	2.0
	30歳代	今回(n=159)	32.7	10.1	14.5	8.8	9.4	6.3	2.5	1.9	6.9	2.5	4.4
		前回(n=147)	46.9	12.2	6.8	6.8	11.6	5.4	1.4	1.4	3.4	2.7	1.4
	40歳代	今回(n=169)	29.6	17.2	16.0	4.1	10.7	1.8	4.1	4.1	4.7	3.0	4.7
		今回(n=103)	35.9	16.5	12.6	6.8	7.8	4.9	2.9	1.0	2.9	7.8	1.0
	50歳代	前回(n=104)	27.9	11.5	18.3	4.8	12.5	1.9	4.8	1.9	3.8	2.9	9.6
		今回(n=119)	21.8	16.0	15.1	8.4	11.8	4.2	5.9	5.9	5.0	1.7	4.2
	60歳代	前回(n=195)	13.3	15.9	21.0	9.7	11.8	2.6	3.6	5.1	6.2	2.6	8.2
		今回(n=177)	18.6	14.7	18.6	15.8	4.0	5.1	9.0	6.2	2.3	1.1	4.5
	70歳代以上	前回(n=137)	8.8	24.1	14.6	19.7	5.8	2.2	6.6	1.5	6.6	1.5	8.8
		今回(n=342)	38.6	14.6	11.7	7.9	6.4	5.8	3.5	2.9	3.5	2.6	2.3
地域別	北部地区	前回(n=370)	30.0	13.0	12.7	10.0	10.3	3.8	3.5	3.0	5.9	1.9	5.9
		今回(n=210)	31.9	16.2	13.8	7.6	10.0	2.9	4.8	2.4	2.4	4.8	3.3
	中部地区	前回(n=220)	21.8	16.8	19.1	7.7	9.5	2.3	4.5	3.2	5.5	2.7	6.8
		今回(n=164)	22.6	11.6	15.9	12.8	7.9	9.8	6.7	4.9	1.8	4.3	1.8
	南部地区	前回(n=237)	16.5	17.7	19.8	9.7	9.7	3.0	4.2	2.5	6.3	3.4	7.2
		今回(n=237)	16.5	17.7	19.8	9.7	9.7	3.0	4.2	2.5	6.3	3.4	7.2

問 21 (2) 生活環境の整備

生活環境の整備については、「身近な道路の整備」が 22.8%と最も多く、次いで「公園・緑地の整備」が 15.7%、「地域防災対策」が 15.5%となっています。



■問 21 (2) × 性別、年代別、地域別 / 前回との比較

性別でみると、男女ともに「身近な道路の整備」が最も高く、次いで「公園・緑地の整備」と「地域防災対策」がそれぞれの3番目までに入っています。

年代別でみると、ほとんどの年代で「身近な道路の整備」が最も高くなっていますが、10歳代と30歳代では「公園・緑地の整備」、50歳代では「地域防災対策」が最も高くなっています。

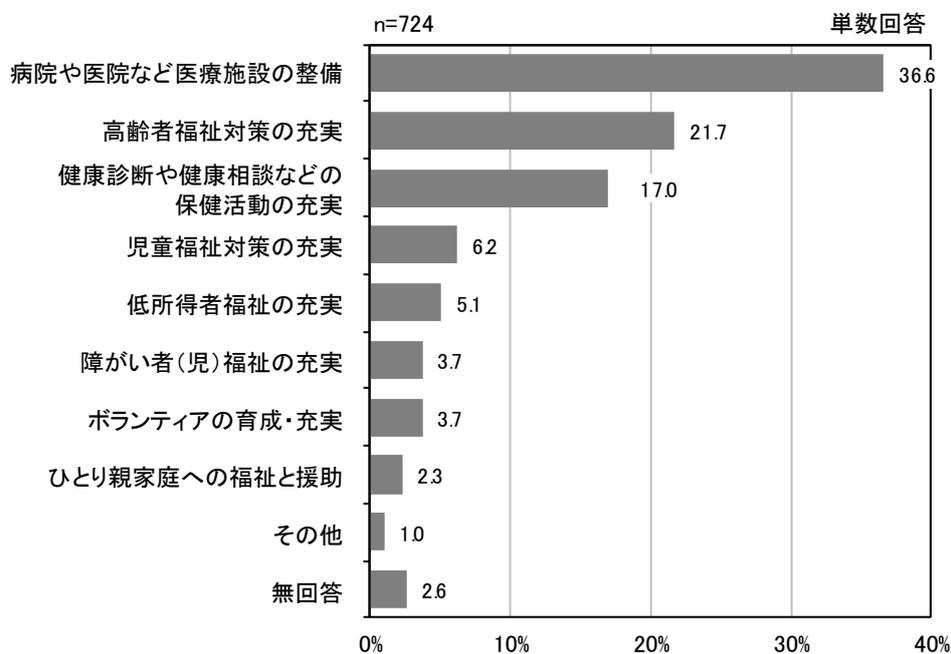
地域別でみると、北部地区で「公園・緑地の整備」が他の地域に比べ高くなっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、全体としてはほぼ同様の傾向がみられました。

単位：%		身近な道路の整備	公園・緑地の整備	地域防災対策	業の整備 公共下水道及び集落排水	交通安全対策	促進 ごみの減量化・再資源化の	住宅及び住宅地の供給確保	公害防止対策	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	22.8	15.7	15.5	12.6	9.7	9.3	6.4	2.3	2.5	3.3	
	前回(n=836)	22.0	14.7	17.5	12.0	11.8	9.1	2.3	3.1	1.4	6.1	
性別	男性	今回(n=330)	21.2	15.5	14.8	14.2	10.3	8.2	8.2	0.6	3.3	3.6
		前回(n=374)	22.7	15.8	15.2	12.6	11.5	7.8	2.4	3.5	2.1	6.4
	女性	今回(n=390)	23.8	15.9	16.2	11.3	9.2	10.3	4.9	3.8	1.8	2.8
		前回(n=452)	21.7	13.7	19.7	11.1	12.4	10.0	2.2	2.9	0.9	5.5
年代別	10歳代	今回(n=26)	15.4	23.1	19.2	3.8	15.4	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0
		前回(n=66)	35.3	19.6	11.8	2.0	7.8	9.8	9.8	2.0	2.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	25.8	12.1	18.2	10.6	21.2	3.0	0.0	6.1	1.5	1.5
		前回(n=159)	20.4	26.5	12.2	9.2	9.2	8.2	8.2	2.0	1.0	3.1
	30歳代	今回(n=147)	20.8	21.4	17.0	3.8	13.2	8.8	3.1	3.8	2.5	5.7
		前回(n=169)	25.2	23.1	10.2	6.8	16.3	4.8	4.1	2.7	4.1	2.7
	40歳代	今回(n=103)	22.5	12.4	20.1	7.7	17.2	11.8	2.4	3.0	0.6	2.4
		前回(n=104)	14.6	14.6	23.3	18.4	6.8	8.7	4.9	1.9	5.8	1.0
	50歳代	今回(n=119)	16.3	14.4	21.2	17.3	8.7	10.6	1.0	1.0	1.0	8.7
		前回(n=195)	26.9	5.0	16.8	19.3	6.7	10.1	5.9	2.5	1.7	5.0
	60歳代	今回(n=177)	23.1	12.8	16.9	16.4	6.7	9.2	3.1	3.1	1.5	7.2
		前回(n=137)	21.5	9.0	16.9	15.8	7.9	13.0	7.9	1.7	1.1	5.1
	70歳代以上	今回(n=177)	24.1	13.1	13.1	16.8	8.8	8.0	2.2	2.9	1.5	9.5
		前回(n=137)	19.3	19.3	16.4	11.4	11.1	9.4	4.7	2.3	2.6	3.5
地域別	北部地区	今回(n=342)	20.3	16.2	19.2	8.1	15.9	7.8	2.2	2.7	1.6	5.9
		前回(n=370)	26.7	12.9	10.5	14.3	11.0	9.0	8.6	1.9	1.9	3.3
	中部地区	今回(n=210)	22.3	15.9	12.7	15.0	10.0	11.4	2.7	3.6	0.5	5.9
		前回(n=220)	24.4	12.2	20.7	13.4	5.5	9.1	6.7	2.4	3.0	2.4
	南部地区	今回(n=164)	24.1	11.4	19.4	14.8	7.6	9.3	2.1	3.4	2.1	5.9
		前回(n=237)	24.1	11.4	19.4	14.8	7.6	9.3	2.1	3.4	2.1	5.9

問 21 (3) 福祉と健康の増進

福祉と健康の増進については、「病院や医院など医療施設の整備」が36.6%と最も多く、次いで「高齢者福祉対策の充実」が21.7%、「健康診断や健康相談などの保健活動の充実」が17.0%となっています。



■問 21 (3) × 性別、年代別、地域別 / 前回との比較

性別でみると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別でみると、10 歳代、30 歳代から 60 歳代で「病院や医院など医療施設の整備」が、70 歳代以上で「高齢者福祉対策の充実」が最も高くなっています。

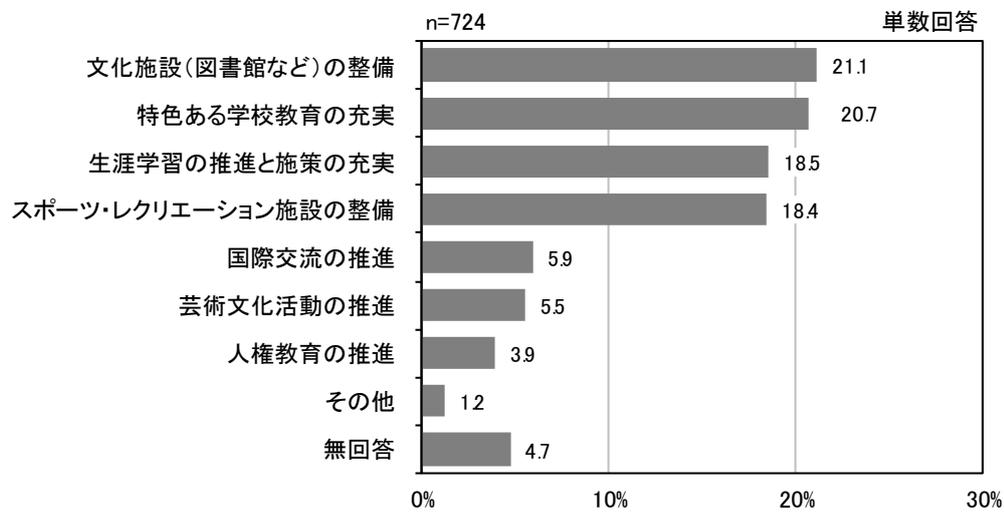
地域別でみると、いずれの地区でも概ね同様の傾向となっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、年代別では 40 歳代以上で「病院や医院など医療施設の整備」が、いずれの年代でも増加しました。

単位：%		整備 病院 や 医院 など 医療 施設 の	高 齢 者 福 祉 対 策 の 充 実	保 健 活 動 の 充 実 健康 診 断 や 健康 相 談 など の	児 童 福 祉 対 策 の 充 実	低 所 得 者 福 祉 の 充 実	障 が い 者 (児) 福 祉 の 充 実	ポ ラ ン テ ィ ア の 育 成 ・ 充 実	助 一 と り 親 家 庭 へ の 福 祉 と 援	そ の 他	無 回 答	
全体	今回(n=724)	36.6	21.7	17.0	6.2	5.1	3.7	3.7	2.3	1.0	2.6	
	前回(n=836)	34.7	23.3	15.8	4.7	5.9	3.2	2.9	1.9	1.1	6.6	
性別	男性	今回(n=330)	35.2	21.5	18.5	6.4	5.8	2.7	3.9	2.1	1.8	2.1
		前回(n=374)	30.7	28.1	14.7	5.1	5.1	3.2	2.9	2.1	1.6	6.4
	女性	今回(n=390)	37.9	21.8	15.6	6.2	4.6	4.6	3.6	2.6	0.3	2.8
		前回(n=452)	38.5	19.5	16.4	4.4	6.4	3.3	2.9	1.8	0.7	6.2
年代別	10歳代	今回(n=26)	23.1	15.4	19.2	7.7	3.8	15.4	3.8	11.5	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	25.5	7.8	27.5	13.7	7.8	7.8	5.9	2.0	2.0	0.0
		前回(n=66)	43.9	13.6	18.2	6.1	1.5	0.0	4.5	7.6	1.5	3.0
	30歳代	今回(n=98)	39.8	16.3	18.4	10.2	4.1	4.1	2.0	2.0	0.0	3.1
		前回(n=159)	43.4	9.4	17.6	11.9	3.8	4.4	0.6	1.3	1.3	6.3
	40歳代	今回(n=147)	56.5	13.6	15.0	6.8	2.0	2.0	1.4	2.7	0.0	0.0
		前回(n=169)	41.4	18.3	17.2	4.1	5.3	5.9	2.4	1.2	0.0	4.1
	50歳代	今回(n=103)	40.8	22.3	10.7	5.8	5.8	5.8	5.8	0.0	2.9	0.0
		前回(n=104)	34.6	26.0	19.2	2.9	5.8	1.0	1.0	0.0	1.0	8.7
	60歳代	今回(n=119)	35.3	25.2	19.3	2.5	6.7	1.7	2.5	3.4	0.0	3.4
		前回(n=195)	31.8	28.2	12.3	2.1	7.2	2.1	6.2	2.1	2.1	6.2
	70歳代以上	今回(n=177)	22.0	33.9	16.4	4.0	6.2	2.3	5.6	1.7	1.7	6.2
		前回(n=137)	16.8	40.9	13.1	1.5	9.5	2.9	2.2	2.2	0.7	10.2
	地域別	北部地区	今回(n=342)	39.8	20.8	14.6	7.3	5.8	4.4	2.0	2.9	0.3
前回(n=370)			43.2	20.8	12.7	4.9	4.6	3.8	1.9	1.4	0.8	5.9
中部地区		今回(n=210)	38.1	18.6	19.0	6.7	4.3	3.3	4.3	1.4	1.9	2.4
		前回(n=220)	31.4	25.5	17.7	5.5	5.9	1.8	2.7	2.3	0.9	6.4
南部地区		今回(n=164)	28.7	27.4	20.1	3.0	4.9	2.4	6.7	1.8	1.2	3.7
		前回(n=237)	24.9	25.3	19.0	3.8	7.6	3.8	4.2	2.5	1.7	7.2

問 21（４）教育・文化の向上

教育・文化の向上については、「文化施設（図書館など）の整備」が21.1%と最も多く、次いで「特色ある学校教育の充実」が20.7%、「生涯学習の推進と施策の充実」が18.5%となっています。



■問 21 (4) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別で見ると、男性では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が、女性では「文化施設（図書館など）の整備」が最も高くなっています。

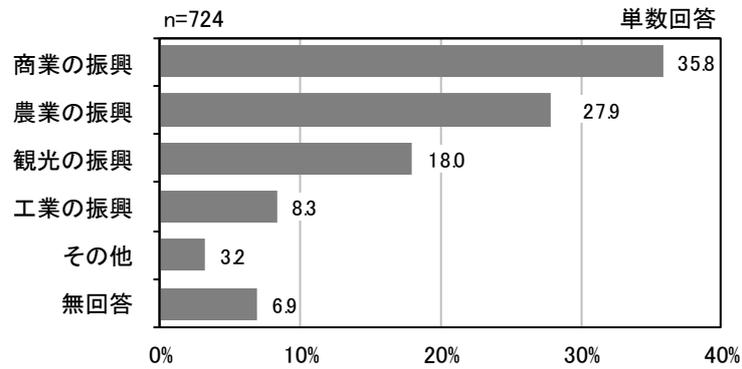
年代別、地域別で見ると、すべての年代、すべての地区で「特色ある学校教育の充実」「生涯学習の推進と施策の充実」「文化施設（図書館など）の整備」「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が上位4項目となっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、年代別では20歳代で「特色ある学校教育の充実」、40歳代で「文化施設（図書館など）の整備」、50歳代以上で「生涯学習の推進と施策の充実」が増加しました。

単位：%		文化施設（図書館など）の整備	特色ある学校教育の充実	生涯学習の推進と施策の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流の推進	芸術文化活動の推進	人権教育の推進	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	21.1	20.7	18.5	18.4	5.9	5.5	3.9	1.2	4.7	
	前回(n=836)	21.1	20.6	14.5	19.9	5.3	5.0	4.5	1.4	7.8	
性別	男性	今回(n=330)	17.6	20.6	19.7	20.9	6.7	5.8	3.6	1.8	3.3
		前回(n=374)	18.7	16.3	19.0	24.1	5.1	4.5	3.2	2.1	7.0
	女性	今回(n=390)	23.8	21.0	17.7	16.4	5.4	5.4	4.1	0.8	5.4
		前回(n=452)	23.2	24.1	10.4	16.4	5.5	5.3	5.8	0.9	8.4
年代別	10歳代	今回(n=26)	15.4	7.7	19.2	34.6	11.5	7.7	3.8	0.0	0.0
		前回(n=66)	23.5	29.4	9.8	21.6	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0
	20歳代	今回(n=51)	23.5	29.4	9.8	21.6	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0
		前回(n=66)	25.8	19.7	13.6	24.2	3.0	3.0	7.6	0.0	3.0
	30歳代	今回(n=98)	20.4	30.6	11.2	20.4	5.1	5.1	3.1	2.0	2.0
		前回(n=159)	20.1	29.6	6.3	23.3	6.9	1.9	4.4	3.1	4.4
	40歳代	今回(n=147)	29.3	23.1	10.2	17.0	8.8	4.1	4.8	1.4	1.4
		前回(n=169)	23.1	21.3	16.6	17.2	5.9	3.6	6.5	1.2	4.7
	50歳代	今回(n=103)	22.3	20.4	21.4	18.4	7.8	4.9	1.0	2.9	1.0
		前回(n=104)	20.2	15.4	12.5	24.0	6.7	8.7	5.8	1.0	5.8
	60歳代	今回(n=119)	19.3	14.3	27.7	18.5	3.4	7.6	3.4	0.0	5.9
		前回(n=195)	22.1	18.5	17.4	16.4	3.1	7.2	3.1	1.5	10.8
	70歳代以上	今回(n=177)	15.8	16.9	24.3	14.7	4.5	6.2	5.6	0.0	11.9
		前回(n=137)	17.5	16.8	18.2	17.5	5.8	5.8	2.2	0.7	15.3
地域別	北部地区	今回(n=342)	24.9	20.8	17.0	15.8	7.0	5.6	5.0	0.9	3.2
		前回(n=370)	22.7	23.0	13.0	20.3	4.1	4.3	3.8	1.6	7.3
	中部地区	今回(n=210)	17.6	20.0	16.2	22.4	4.8	6.2	4.3	1.4	7.1
		前回(n=220)	21.4	20.5	11.8	20.0	7.3	5.9	4.1	1.8	7.3
	南部地区	今回(n=164)	18.9	21.3	25.0	18.3	4.3	4.9	1.2	1.8	4.3
		前回(n=237)	18.6	16.5	19.0	19.4	5.1	5.5	6.3	0.8	8.9

問 21 (5) 地域産業の振興

地域産業の振興については、「商業の振興」が 35.8%と最も多く、次いで「農業の振興」が 27.9%、「観光の振興」が 18.0%となっています。



■問 21 (5) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別でみると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別でみると、50歳代を除いて「商業の振興」が最も高く、概ね「農業の振興」「観光の振興」までが上位3項目となっています。第2位に着目すると、10歳代から20歳代では「観光の振興」、30歳代では「農業の振興」と「観光の振興」、40歳代と60歳代以上では「農業の振興」、50歳代では「商業の振興」となっています。

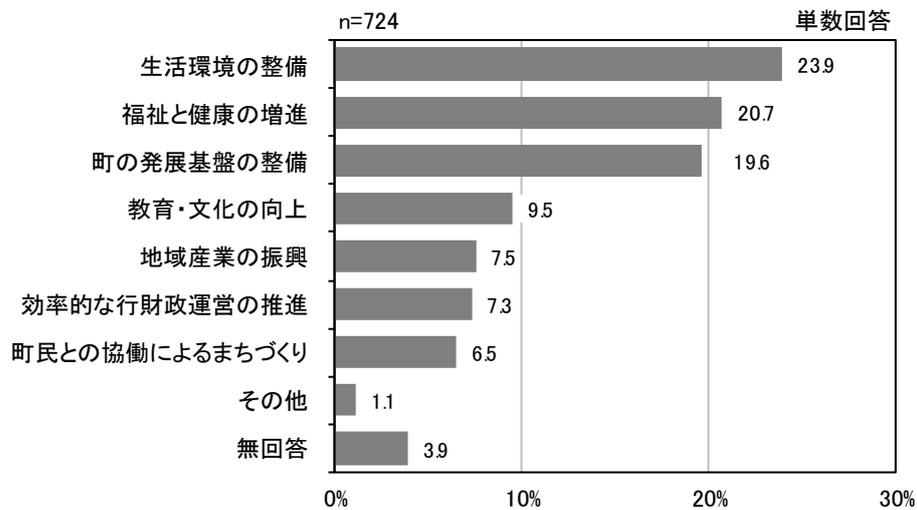
地域別でみると、北部地区と中部地区では「商業の振興」が、南部地区では「農業の振興」が最も高くなっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、年代別では70歳代以上で「商業の振興」が、地域別では中部地区で「商業の振興」が特に増加しました。

単位：%			商業の振興	農業の振興	観光の振興	工業の振興	その他	無回答
全体	今回(n=724)		35.8	27.9	18.0	8.3	3.2	6.9
	前回(n=836)		34.9	32.7	14.7	8.1	2.2	7.4
性別	男性	今回(n=330)	38.2	23.3	17.3	12.1	4.2	4.8
		前回(n=374)	34.8	29.7	16.0	11.8	2.4	5.3
	女性	今回(n=390)	34.1	31.5	18.5	5.1	2.3	8.5
		前回(n=452)	35.4	35.4	13.3	5.3	2.0	8.6
年代別	10歳代	今回(n=26)	46.2	23.1	26.9	0.0	3.8	0.0
		前回(n=66)	43.9	36.4	15.2	1.5	0.0	3.0
	20歳代	今回(n=51)	35.3	25.5	31.4	3.9	2.0	2.0
		前回(n=66)	43.9	36.4	15.2	1.5	0.0	3.0
	30歳代	今回(n=98)	43.9	21.4	21.4	7.1	1.0	5.1
		前回(n=159)	40.9	32.7	13.2	8.2	1.3	3.8
	40歳代	今回(n=147)	40.8	31.3	17.0	7.5	1.4	2.0
		前回(n=169)	40.8	34.9	9.5	8.3	1.8	4.7
	50歳代	今回(n=103)	28.2	35.9	20.4	4.9	8.7	1.9
		前回(n=104)	31.7	33.7	20.2	6.7	1.0	6.7
	60歳代	今回(n=119)	33.6	32.8	11.8	11.8	0.8	9.2
		前回(n=195)	32.8	29.2	14.9	10.3	4.1	8.7
	70歳代以上	今回(n=177)	32.2	22.0	14.7	11.3	4.5	15.3
		前回(n=137)	21.9	32.1	18.2	9.5	2.9	15.3
地域別	北部地区	今回(n=342)	37.4	28.1	19.6	8.2	1.8	5.0
		前回(n=370)	42.7	26.8	15.4	7.0	1.4	6.8
	中部地区	今回(n=210)	40.5	26.2	15.2	7.1	3.3	7.6
		前回(n=220)	31.4	31.8	15.9	10.5	2.7	7.7
	南部地区	今回(n=164)	26.8	29.9	17.7	9.8	6.1	9.8
		前回(n=237)	27.0	42.6	11.8	8.0	3.0	7.6

問 21（6）特に重点的に進めるべき部門

特に重点的に進めるべき部門については、「生活環境の整備」が23.9%と最も多く、次いで「福祉と健康の増進」が20.7%、「町の発展基盤の整備」が19.6%となっています。



■問 21 (6) × 性別、年代別、地域別 / 前回との比較

性別でみると、男女ともに「生活環境の整備」が最も高く、次いで、男性では「町の発展基盤の整備」、女性では「福祉と健康の増進」が高くなっています。

年代別でみると、10歳代から40歳代では「生活環境の整備」、50歳代では「生活環境の整備」と「町の発展基盤の整備」、60歳代では「町の発展基盤の整備」、70歳代以上では「福祉と健康の増進」が最も高くなっています。

地域別でみると、北部地区と中部地区は概ね同様の傾向にありますが、南部地区では「福祉と健康の増進」が他の地区に比べて高くなっています。

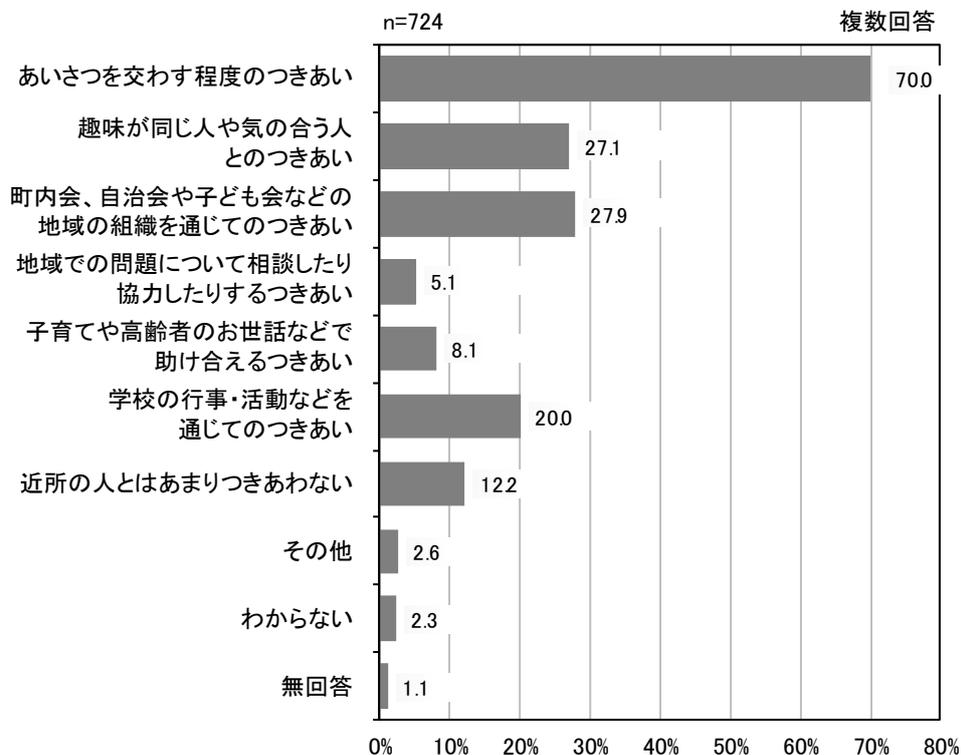
性別、年代別、地域別に前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、地域別では中部地区で「町の発展基盤の整備」が増加しました。

単位：%		生活環境の整備	福祉と健康の増進	町の発展基盤の整備	教育・文化の向上	地域産業の振興	効率的な行財政運営の推進	く町民との協働によるまちづくり	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	23.9	20.7	19.6	9.5	7.5	7.3	6.5	1.1	3.9	
	前回(n=836)	25.2	19.7	17.3	8.7	6.3	7.4	8.3	1.0	6.0	
性別	男性	今回(n=330)	25.5	19.1	22.1	8.8	6.4	7.3	7.3	1.2	2.4
		前回(n=374)	23.3	16.8	19.8	6.7	8.0	8.0	10.4	1.3	5.6
	女性	今回(n=390)	22.3	22.1	17.7	10.3	8.5	7.4	5.9	1.0	4.9
		前回(n=452)	27.4	22.1	15.5	10.6	5.1	6.9	5.8	0.7	6.0
年代別	10歳代	今回(n=26)	26.9	26.9	15.4	3.8	11.5	7.7	3.8	3.8	0.0
		前回(n=66)	34.8	10.6	16.7	9.1	13.6	4.5	7.6	0.0	3.0
	20歳代	今回(n=51)	27.5	19.6	19.6	7.8	9.8	9.8	3.9	2.0	0.0
		前回(n=66)	34.8	10.6	16.7	9.1	13.6	4.5	7.6	0.0	3.0
	30歳代	今回(n=98)	23.5	22.4	15.3	17.3	6.1	4.1	5.1	0.0	6.1
		前回(n=159)	25.2	22.0	17.6	17.0	6.3	1.9	5.0	1.9	3.1
	40歳代	今回(n=147)	30.6	8.8	19.7	17.7	6.1	8.8	4.8	1.4	2.0
		前回(n=169)	29.6	18.3	16.6	9.5	6.5	8.9	6.5	0.6	3.6
	50歳代	今回(n=103)	23.3	18.4	23.3	9.7	7.8	7.8	4.9	3.9	1.0
		前回(n=104)	28.8	17.3	18.3	6.7	4.8	9.6	8.7	0.0	5.8
	60歳代	今回(n=119)	21.8	22.7	25.2	4.2	10.9	4.2	6.7	0.0	4.2
		前回(n=195)	21.5	20.5	16.9	4.6	5.1	11.3	10.8	2.1	7.2
	70歳代以上	今回(n=177)	18.6	29.4	16.9	2.8	5.6	9.0	10.7	0.0	6.8
		前回(n=137)	18.2	24.8	18.2	5.8	5.8	5.8	9.5	0.0	11.7
地域別	北部地区	今回(n=342)	21.9	19.6	19.3	12.0	8.5	9.1	5.0	1.2	3.5
		前回(n=370)	26.2	19.5	16.5	12.2	5.9	6.5	5.7	1.6	5.9
	中部地区	今回(n=210)	28.1	19.5	20.5	8.1	5.7	5.2	7.6	1.0	4.3
		前回(n=220)	29.5	19.5	15.9	6.4	6.8	6.4	8.2	0.5	6.8
	南部地区	今回(n=164)	23.8	24.4	18.9	5.5	7.9	6.1	8.5	1.2	3.7
		前回(n=237)	20.3	20.7	20.3	5.5	6.3	9.7	11.8	0.4	5.1

4. まちづくりへの参加と協力についておたずねします

問 22 あなたは現在、地域でどのようなおつきあいをしていますか。(〇は3つまで)

現在、地域でどのようなおつきあいをしているかについては、「あいさつを交わす程度のつきあい」が70.0%と最も多く、次いで「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい」が27.9%、「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」が27.1%となっています。



■問 22×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別、地域別にみると、いずれも「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も高くなっています。

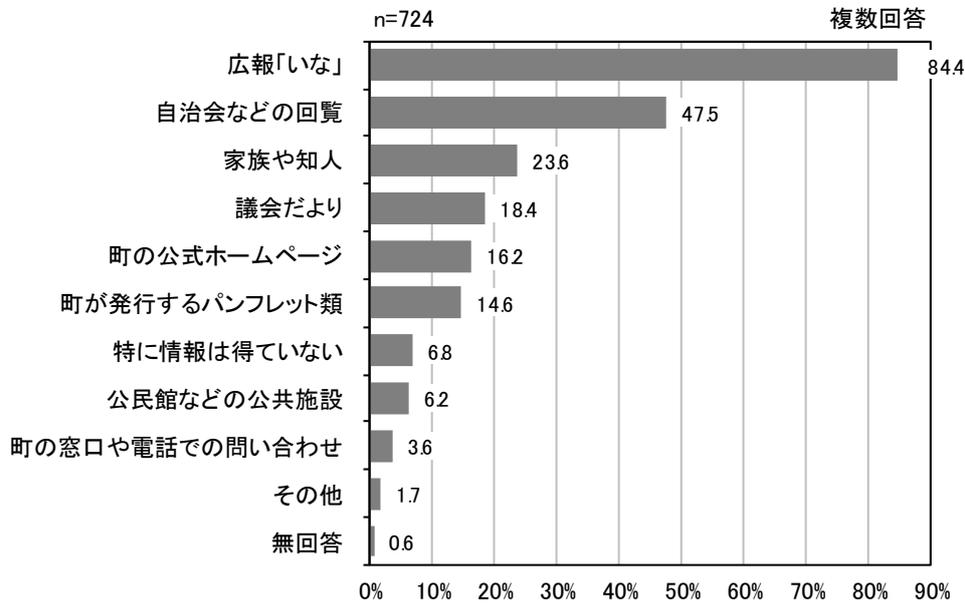
年代別にみると、いずれも「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も高くなっていますが、年代が上がるにつれて「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」は高くなる傾向にあります。

年代別に前回と比較すると、50歳代で「学校の行事・活動などを通じてのつきあい」が特に増加しました。また、地域別に前回と比較すると、地域別では北部地区と中部地区で「あいさつを交わす程度のつきあい」が特に増加しました。

単位：%		あいさつを交わす程度のつきあい	趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい	町内会、地域の組織を通じてのつきあいなどのつきあい	協力したりするつきあい	地域での問題について相談したり	子育てや高齢者のお世話などで助け合えるつきあい	学校の行事・活動などを通じてのつきあい	近所の人とはあまりつきあわない	その他	わからない	無回答
全体	今回(n=724)	70.0	27.1	27.9	5.1	8.1	20.0	12.2	2.6	2.3	1.1	
	前回(n=836)	66.6	34.9	29.9	6.5	6.5	16.4	12.0	2.5	1.8	2.5	
性別	男性	今回(n=330)	72.4	19.7	30.6	4.8	4.5	15.2	14.5	2.7	3.3	0.9
		前回(n=374)	67.4	29.4	33.2	8.3	4.5	10.2	13.1	2.1	2.7	2.4
	女性	今回(n=390)	68.2	33.3	25.9	5.4	11.0	23.8	10.3	2.6	1.5	1.0
		前回(n=452)	66.2	39.4	27.7	4.9	8.2	21.9	11.1	2.7	0.9	2.4
年代別	10歳代	今回(n=26)	84.6	19.2	11.5	3.8	7.7	15.4	0.0	3.8	3.8	0.0
		前回(n=51)	62.7	9.8	13.7	2.0	7.8	7.8	25.5	3.9	2.0	0.0
	20歳代	今回(n=66)	65.2	16.7	10.6	1.5	3.0	10.6	33.3	0.0	1.5	1.5
		前回(n=159)	72.3	27.0	23.9	3.8	8.8	30.8	7.5	3.1	2.5	0.6
	30歳代	今回(n=98)	73.5	11.2	16.3	0.0	9.2	26.5	14.3	0.0	0.0	1.0
		前回(n=147)	72.1	17.7	23.1	2.7	8.8	49.7	9.5	0.7	0.0	0.7
	40歳代	今回(n=169)	69.2	25.4	28.4	4.7	7.7	36.7	11.2	1.2	0.6	0.6
		前回(n=103)	76.7	19.4	31.1	2.9	5.8	22.3	11.7	3.9	4.9	1.0
	50歳代	今回(n=104)	69.2	35.6	27.9	4.8	4.8	7.7	10.6	1.0	1.9	1.0
		前回(n=119)	71.4	38.7	32.8	8.4	9.2	5.0	7.6	2.5	4.2	1.7
	60歳代	今回(n=195)	66.2	43.1	38.5	8.7	5.1	3.6	9.7	4.1	2.1	4.1
		前回(n=177)	62.1	46.3	40.1	10.2	7.3	4.5	14.7	4.5	2.8	1.1
	70歳代以上	今回(n=137)	55.5	51.8	38.0	12.4	7.3	2.9	12.4	3.6	1.5	5.8
		前回(n=342)	74.0	24.0	19.9	2.6	8.5	25.7	14.0	1.8	1.5	1.2
地域別	北部地区	今回(n=370)	69.7	32.4	24.9	5.9	8.1	19.2	11.4	1.6	1.4	2.2
		前回(n=210)	71.4	28.1	24.8	6.2	8.6	14.8	10.0	3.8	2.9	1.0
	中部地区	今回(n=220)	66.8	34.5	26.8	6.8	5.9	16.8	10.9	3.2	2.3	2.7
		前回(n=164)	59.8	33.5	49.4	9.1	6.7	15.9	10.4	3.0	3.7	0.6
	南部地区	今回(n=237)	61.2	38.8	40.9	7.2	4.6	12.2	13.9	3.4	1.7	2.5
		前回(n=237)	61.2	38.8	40.9	7.2	4.6	12.2	13.9	3.4	1.7	2.5

問 23 あなたは、町の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

町の行事や行政サービスの情報源については、「広報『いな』」が84.4%と最も多く、次いで「自治会などの回覧」が47.5%、「家族や知人」が23.6%となっています。



■問 23×年代別／前回との比較

年代別にみると、10歳代から50歳代では「町の公式ホームページ」が1割を超え、40歳代以上では「自治会などの回覧」が4割を超え、いずれも他の年代と比べて高くなっています。また、20歳代では「特に情報は得ていない」が29.4%と、他の年代と比べて特に高くなっています。

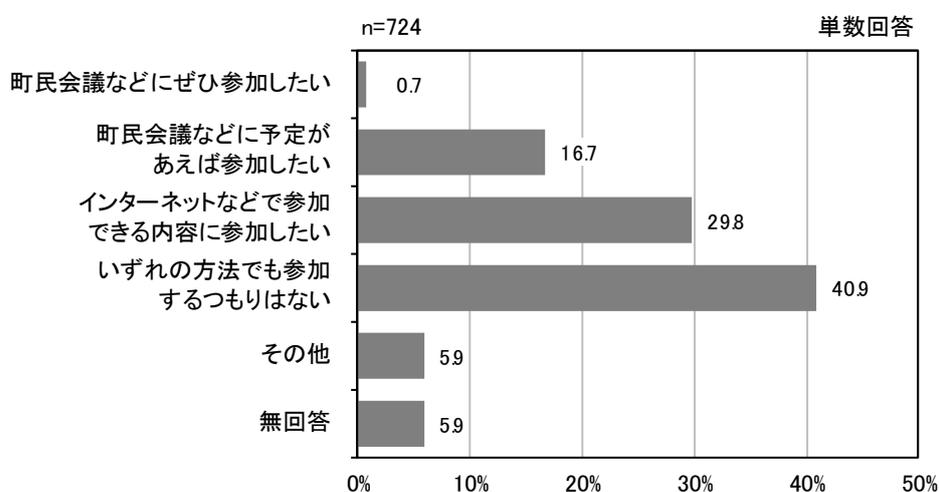
前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、20歳代で「家族や友人」が減少しています。また、いずれの年代でも「議会だより」が減少しています。

単位: %		広報「いな」	自治会などの回覧	家族や知人	議会だより	町の公式ホームページ	町が発行するパンフレット	特に情報は得ていない	公民館などの公共施設	町の窓口や電話での問い合わせ	その他	無回答	
全体	今回(n=724)	84.4	47.5	23.6	18.4	16.2	14.6	6.8	6.2	3.6	1.7	0.6	
	前回(n=836)	84.3	48.4	23.8	23.9	13.2	16.7	7.7	5.5	4.4	1.8	2.8	
年代別	10歳代	今回(n=26)	53.8	15.4	50.0	0.0	11.5	7.7	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0
		前回(n=66)	54.9	15.7	17.6	2.0	15.7	5.9	29.4	2.0	2.0	5.9	0.0
	20歳代	今回(n=51)	66.7	18.2	40.9	4.5	18.2	12.1	15.2	1.5	1.5	7.6	1.5
		前回(n=66)	73.5	29.6	33.7	6.1	28.6	7.1	12.2	7.1	2.0	1.0	1.0
	30歳代	今回(n=98)	83.0	37.7	28.3	11.9	18.2	10.7	8.8	5.7	3.1	1.9	0.6
		前回(n=159)	93.9	42.9	28.6	17.0	19.7	8.8	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	40歳代	今回(n=147)	87.6	42.0	24.9	24.3	17.2	11.8	6.5	5.3	4.1	0.6	1.2
		前回(n=169)	86.4	53.4	20.4	18.4	26.2	8.7	3.9	5.8	4.9	3.9	0.0
	50歳代	今回(n=103)	89.4	63.5	12.5	28.8	14.4	17.3	8.7	2.9	6.7	1.9	1.9
		前回(n=104)	89.1	65.5	20.2	21.0	4.2	23.5	5.0	5.9	7.6	0.8	0.8
	60歳代	今回(n=119)	85.6	60.0	21.5	27.2	9.2	20.0	4.6	5.1	3.6	0.5	5.1
		前回(n=195)	91.5	59.9	15.8	32.2	9.6	24.9	4.0	11.3	3.4	1.1	0.6
	70歳代以上	今回(n=177)	84.7	55.5	21.9	38.7	4.4	26.3	7.3	10.2	7.3	2.2	5.1
		前回(n=137)											

伊奈町では、町の将来の方向性を示す「総合振興計画」の後期基本計画の策定を予定しています。計画の策定にあたっては、町民会議で町民の方の意見をうかがうとともに、インターネットを用いたパブリック・コメントによる意見募集などにより、町民の方とともに、伊奈町の将来の方向性を考え、決めていきたいと思っています。そこで、総合振興計画の策定に参加することについて、おうかがいします。

問 24 あなたは、総合振興計画の策定に参加することについてどうお考えですか。(〇は1つ)

総合振興計画の策定に参加することへの考えについては、「いずれの方法でも参加するつもりはない」が 40.9%と最も多く、次いで「インターネットなどで参加できる内容に参加したい」が 29.8%、「町民会議などに予定があれば参加したい」が 16.7%となっています。



■問 24×年代別

年代別でみると、10歳代、20歳代と、50歳代以上では「いずれの方法でも参加するつもりはない」、30歳代と40歳代では「インターネットなどで参加できる内容に参加したい」の割合が最も高くなっています。

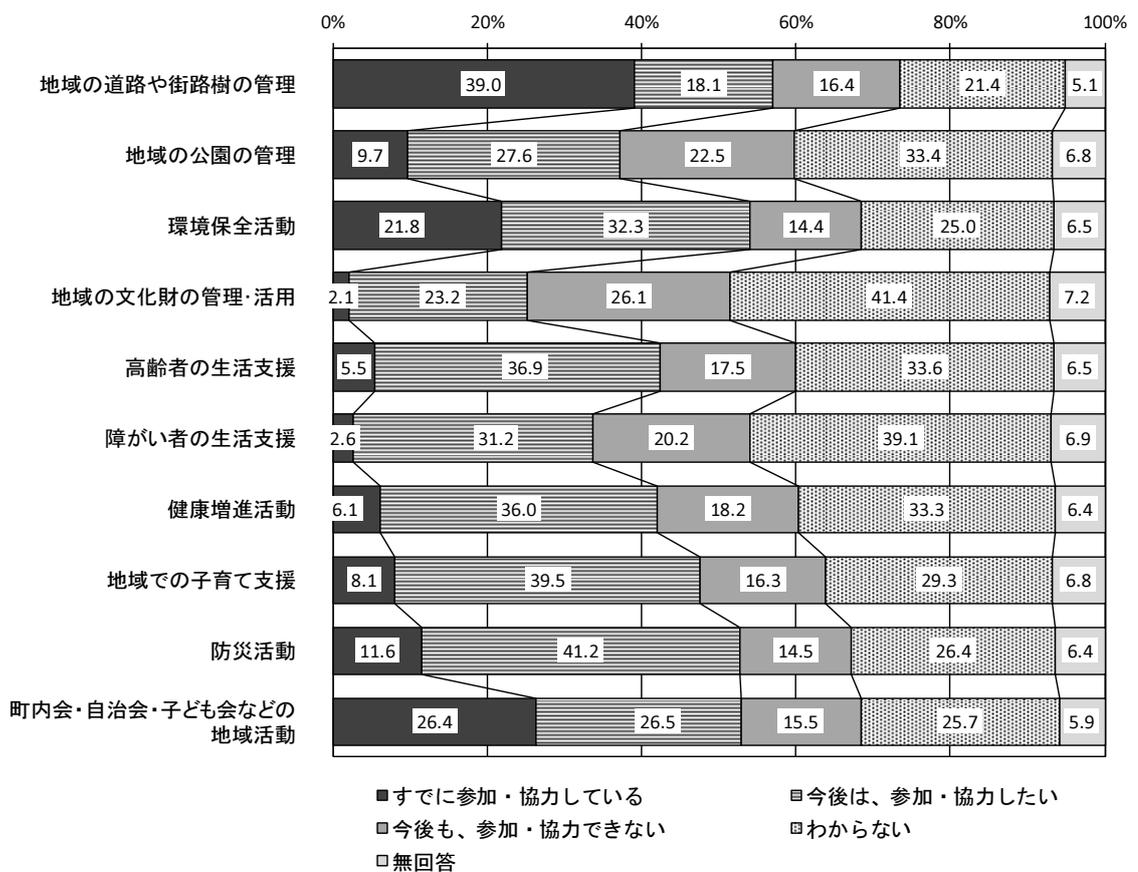
「町民会議などに予定があれば参加したい」については60歳代以上で20%を超えて、全体に比べて高くなっています。

単位：%		た町 民 会 議 な ど に ぜ ひ 参 加 し たい	ば町 民 会 議 な ど に 予 定 が あ え ば	で 可 能 な 内 容 に 参 加 し たい	つ も り は な い 方 法 で も 参 加 す る	そ の 他	無 回 答	
全体	今回(n=724)	0.7	16.7	29.8	40.9	5.9	5.9	
年 代 別	10歳代	今回(n=26)	0.0	7.7	38.5	53.8	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=51)	0.0	5.9	41.2	49.0	3.9	0.0
	30歳代	今回(n=98)	0.0	14.3	42.9	34.7	4.1	4.1
	40歳代	今回(n=147)	0.7	8.8	43.5	40.8	3.4	2.7
	50歳代	今回(n=103)	1.0	14.6	29.1	46.6	6.8	1.9
	60歳代	今回(n=119)	0.8	21.0	22.7	43.7	6.7	5.0
	70歳代以上	今回(n=177)	1.1	27.7	11.9	35.0	9.6	14.7

問 25 これからの社会では、町民の皆さまと町が対等の立場で役割分担しながら、町民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要です。それぞれの項目について、これまでに参加・協力したことはありますか。また、参加・協力されたことがない方は、今後のお考えについてお答えください。（それぞれ「1」～「4」の中から○は1つ）

各種活動への参加経験・参加意向については、「すでに協力・参加している」では、〈地域の道路や街路樹の管理〉が39.0%と最も高く、次いで〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が26.4%、〈環境保全活動〉が21.8%となっています。

また、「今後は、参加・協力したい」では、〈防災活動〉が41.2%と最も高く、次いで〈地域での子育て支援〉が39.5%、〈高齢者の生活支援〉が36.9%となっています。



以下、問 25 について性別・年代別・地域別に、それぞれの中での『参加の意思がある』（「すでに協力・参加している」と「今後は、参加・協力したい」の合計）の割合の上位 5 項目を抜き出して、どのような活動に参加の意思があるのかを集計しました。

なお、同じ値の選択肢について、グラフ上ではアンケート時の項目順に並べています。

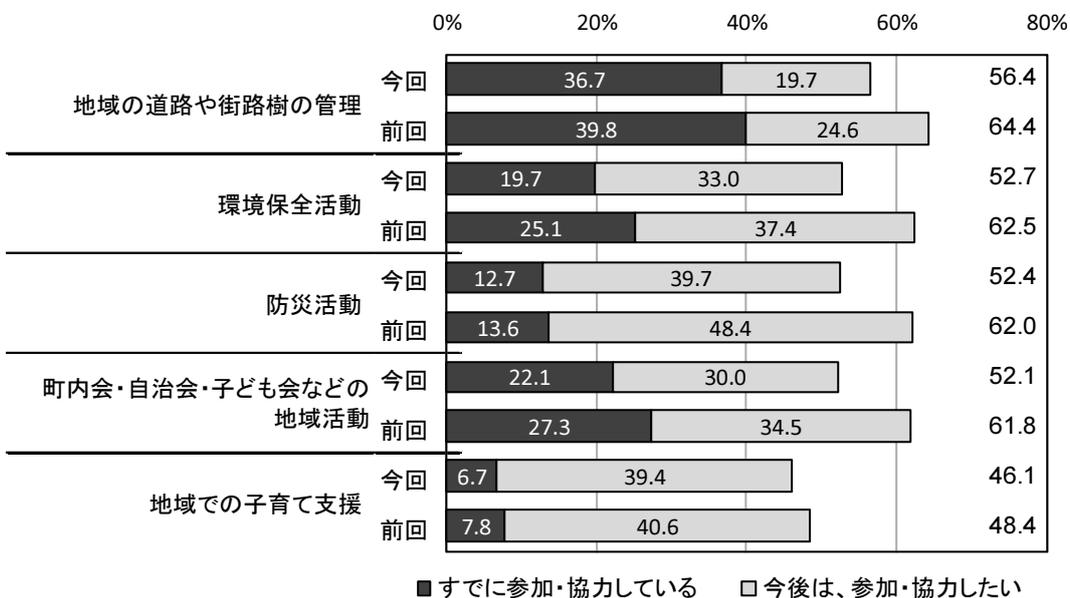
■問 25×性別（上位 5 項目）／前回との比較

性別で見ると、男性では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が 56.4%と最も高く、次いで〈環境保全活動〉が 52.7%、〈防災活動〉が 52.4%となっています。女性では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が 57.7%と最も高く、次いで〈環境保全活動〉が 55.6%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が 53.9%となっています。

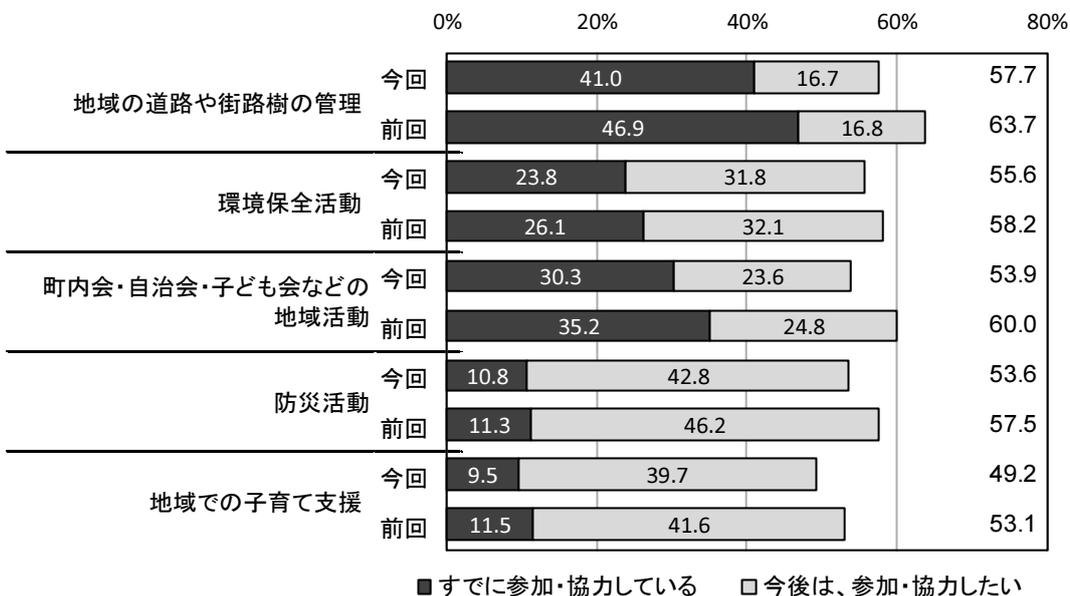
性別に比較すると、上位 5 項目は同じで、概ね同様の傾向となっています。

前回と比較すると、『参加の意思がある』は、すべての項目で下がっています。

〈男性〉



〈女性〉



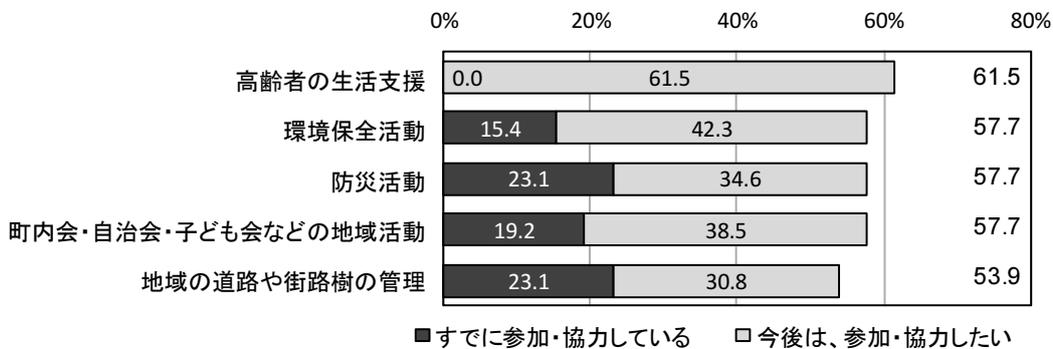
■問 25×年代別（上位5項目）／前回との比較

年代別でみると、『参加の意思がある』は、10歳代では〈高齢者の生活支援〉が、20歳代では〈環境保全活動〉が、30歳代では〈地域での子育て支援〉が、40歳代では〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が、50歳代以上では〈地域の道路や街路樹の管理〉がそれぞれ最も高くなっています。

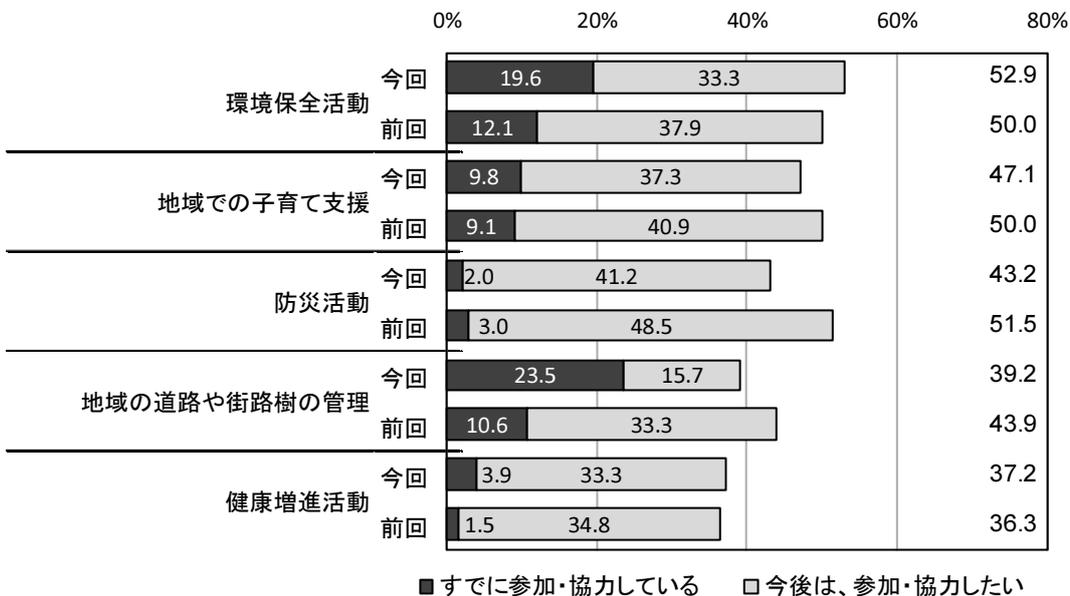
年代間で比較すると、全体的に年代が上がるほど『参加の意思がある』割合が高くなっています。

前回と比較すると、30歳代と50歳代のすべての項目と、40歳代の〈地域での子育て支援〉を除くすべての項目で、『参加の意思がある』の割合は前を下回っています。一方、70歳代の〈地域での道路や街路樹の管理〉を除くすべての項目と、20歳代の〈環境保全活動〉と〈健康増進活動〉、60歳代の〈高齢者の生活支援〉では『参加の意思がある』の割合が上がっており、年代によって『参加の意思がある』の変化に傾向の違いが見られます。

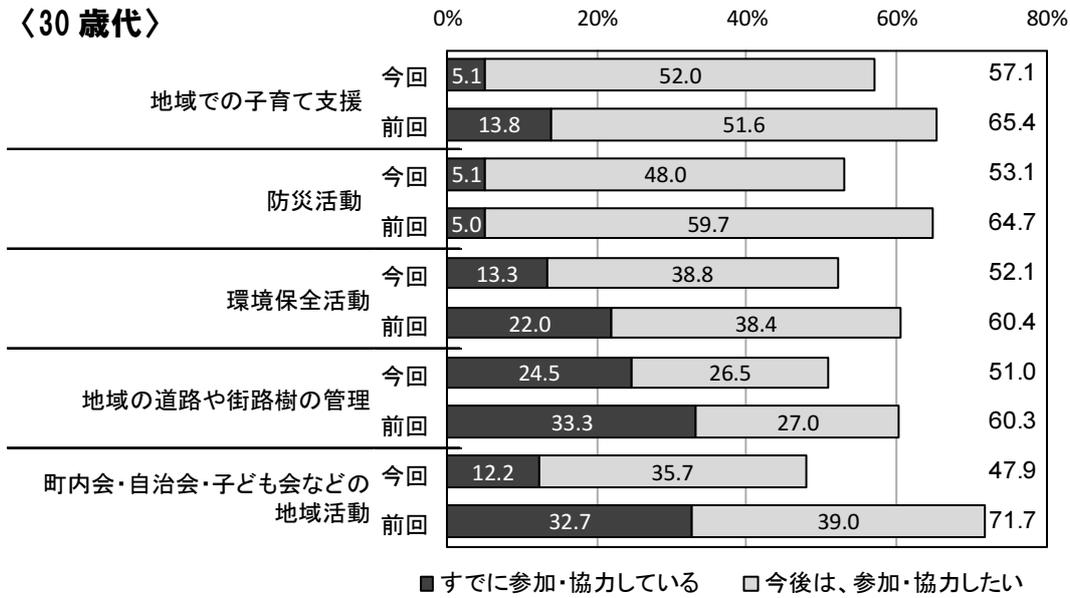
〈10歳代〉



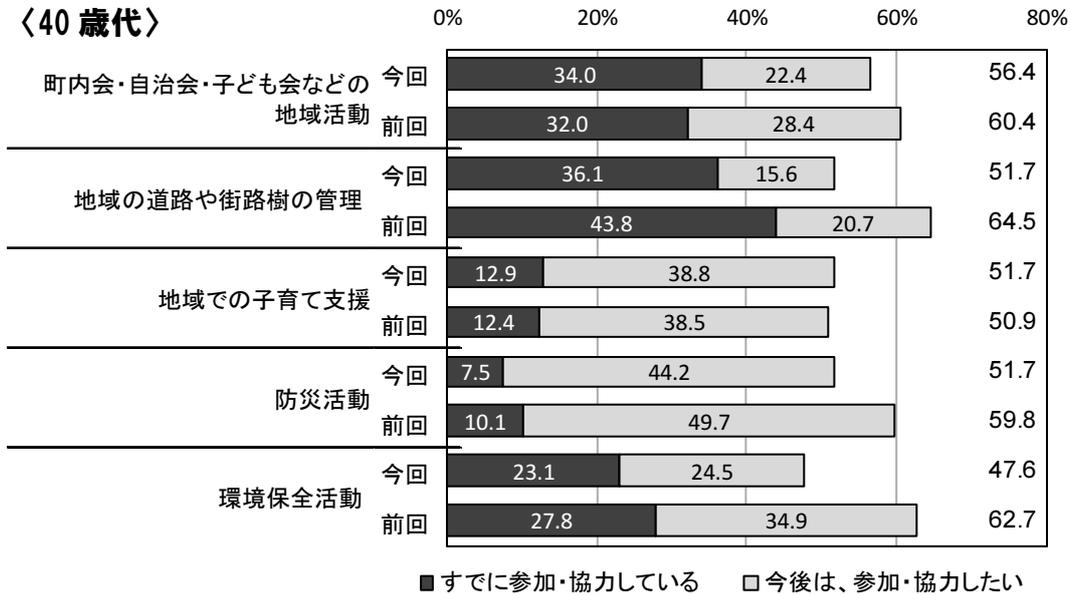
〈20歳代〉



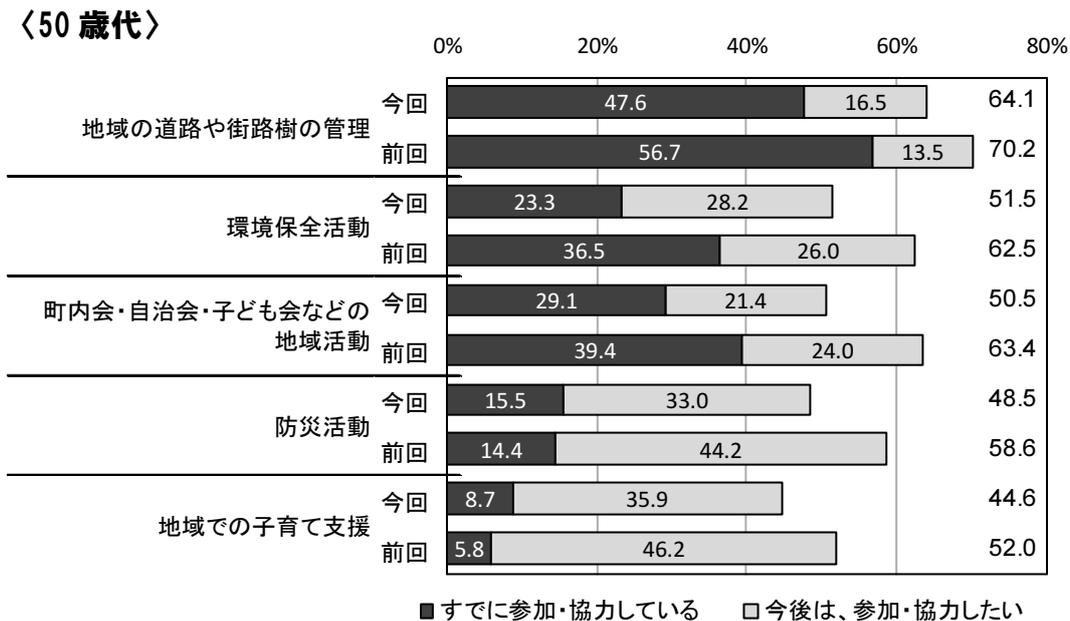
〈30 歳代〉



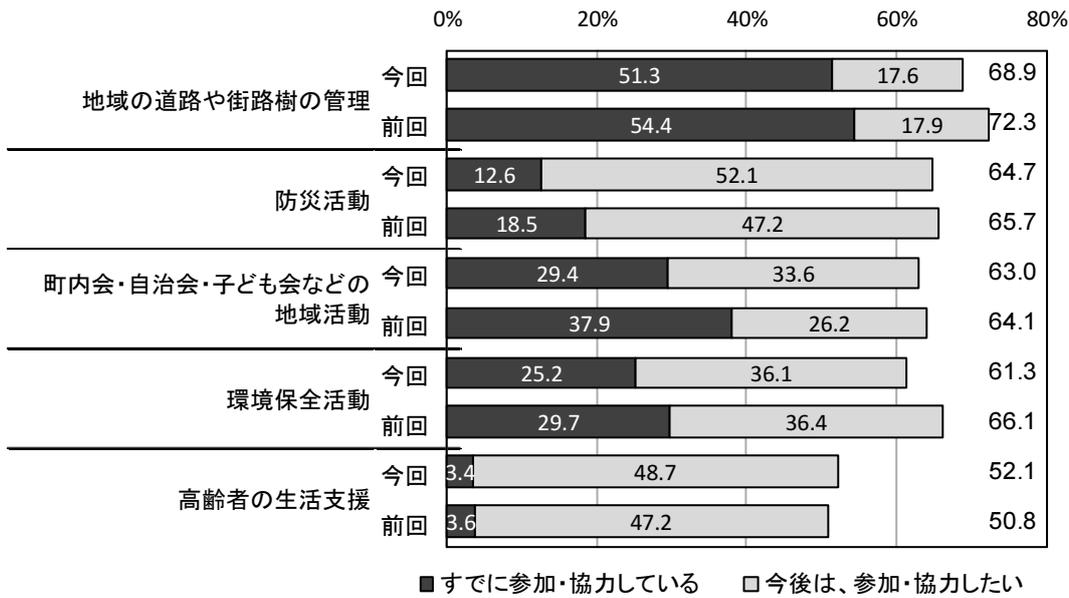
〈40 歳代〉



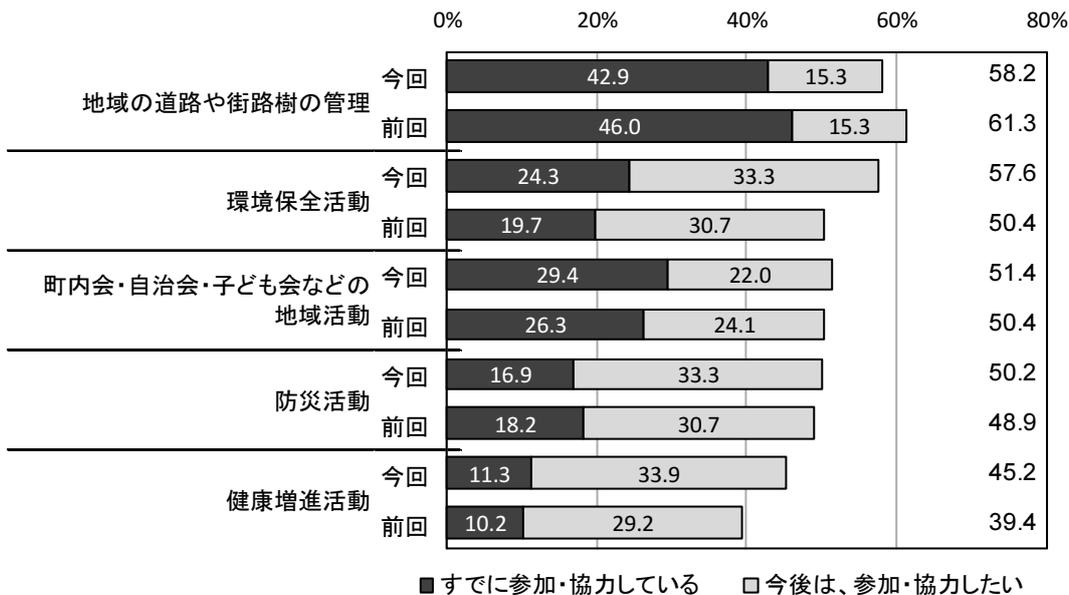
〈50 歳代〉



〈60 歳代〉



〈70 歳代〉



■問 25×地域別（上位5項目）／前回との比較

地域別でみると、北部地区では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が56.7%と最も高く、次いで〈防災活動〉が53.5%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が51.4%となっています。

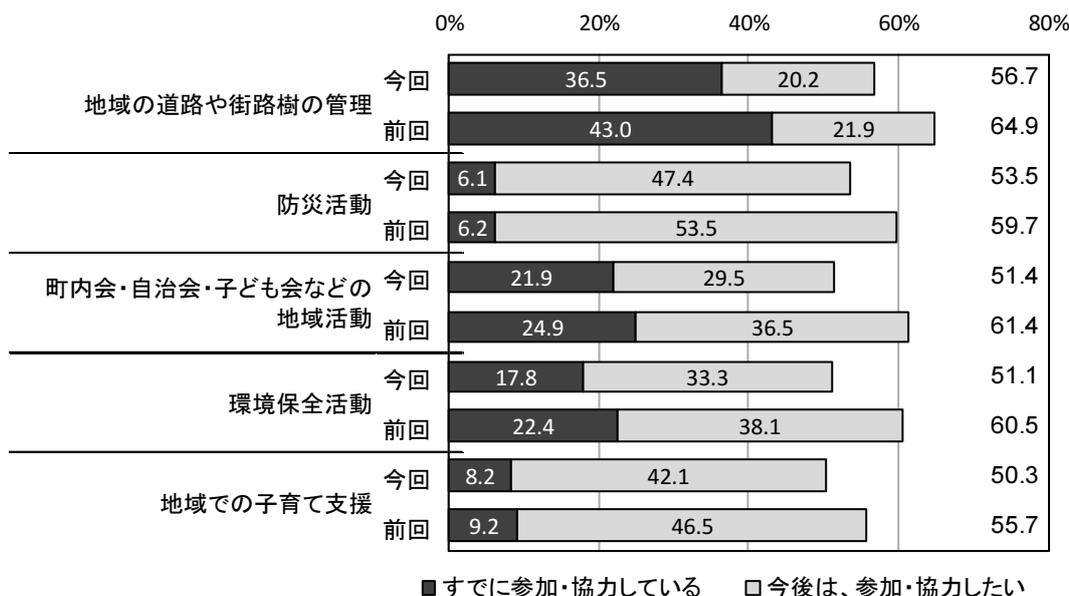
中部地区では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が61.4%と最も高く、次いで〈環境保全活動〉が58.1%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が51.5%となっています。

南部地区では、『参加の意思がある』は、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が57.9%と最も高く、次いで〈環境保全活動〉が55.5%、〈防災活動〉が53.7%となっています。

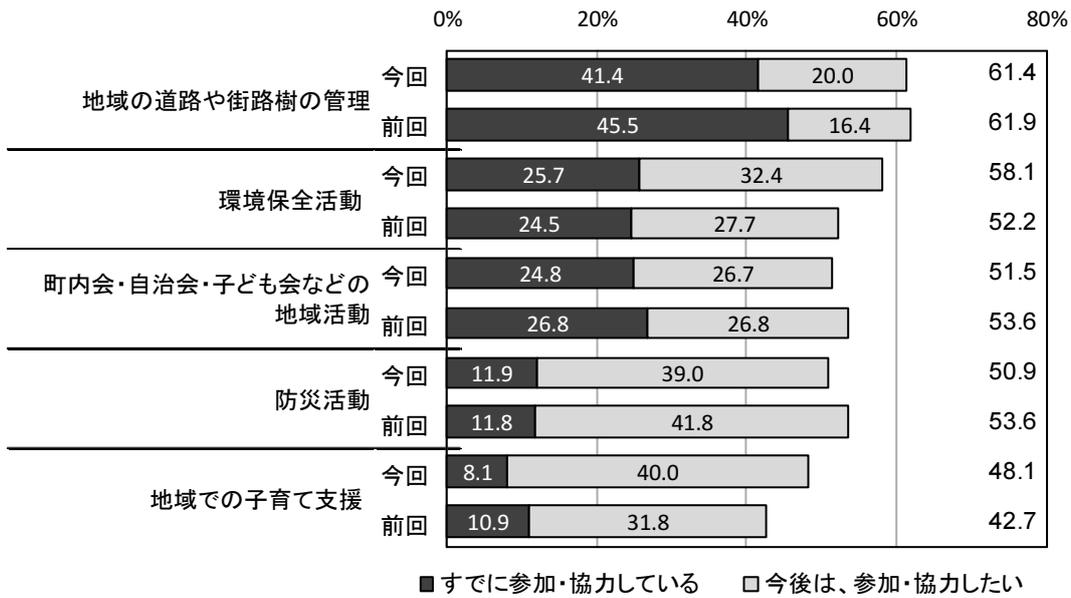
地域間で比較すると、北部地区、中部地区では上位5項目は同じ項目となっています。一方、南部地区では、他の2地区で第1位である〈地域の道路や街路樹の管理〉は第4位である一方、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が第1位となっており、また第5位に〈健康増進活動〉が挙げられています。

前回と比較すると、『参加の意思がある』は、北部地区と南部地区ですべての項目で下がっていますが、中部地区ではほぼ横ばいで上がった項目も見られます。

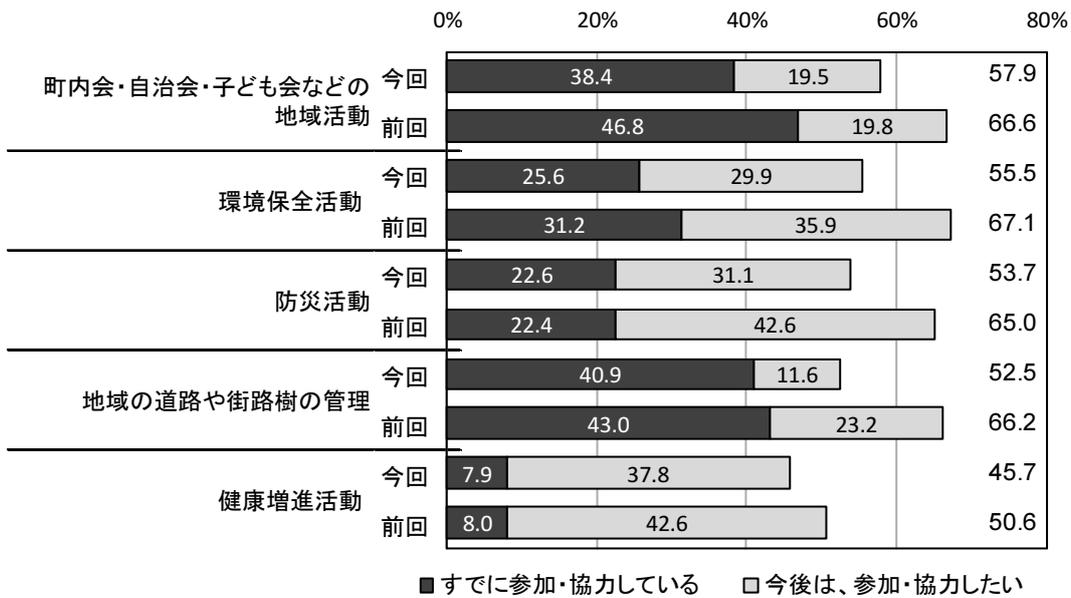
〈北部地区〉



〈中部地区〉



〈南部地区〉



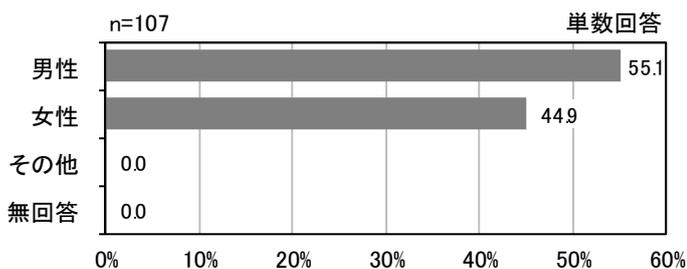
III 転入者・転出者アンケートの結果

1. あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

転入者

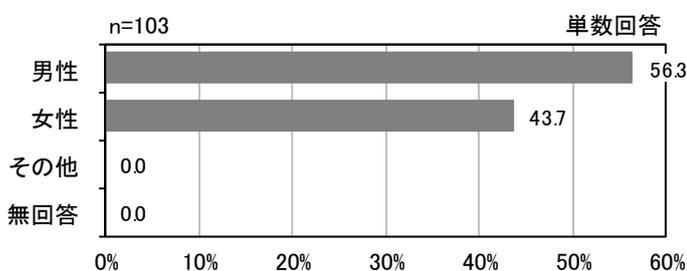
性別については、転入者では「男性」が55.1%と最も多く、次いで「女性」が44.9%となっています。



問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

転出者

性別については、転出者では「男性」が56.3%と最も多く、次いで「女性」が43.7%となっています。

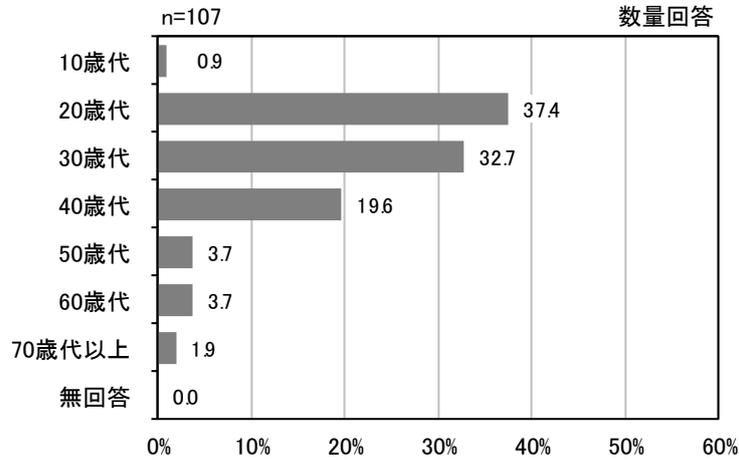


問2 あなたの年齢を教えてください。(平成30年12月1日現在)(数字を記入)

転入者

年齢については、転入者では「20歳代」が37.4%と最も多く、次いで「30歳代」が32.7%、「40歳代」が19.6%となっています。

上位3項目である「20歳代」「30歳代」「40歳代」を合計すると、89.7%となっています。

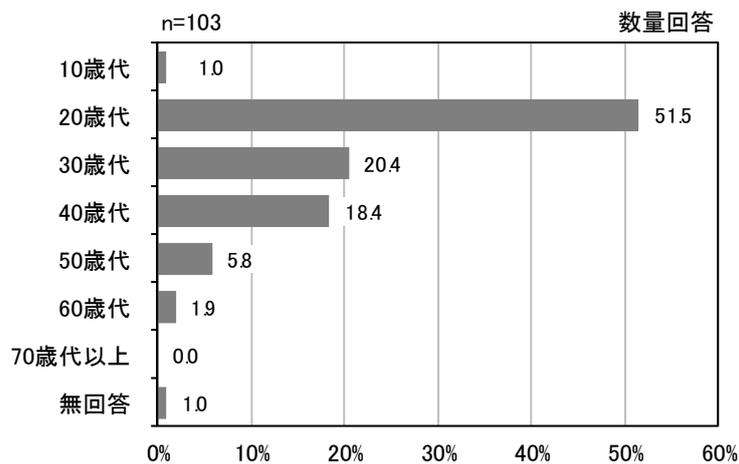


問2 あなたの年齢を教えてください。(平成30年12月1日現在)(数字を記入)

転出者

年齢については、転出者では「20歳代」が51.5%と最も多く、次いで「30歳代」が20.4%、「40歳代」が18.4%となっています。

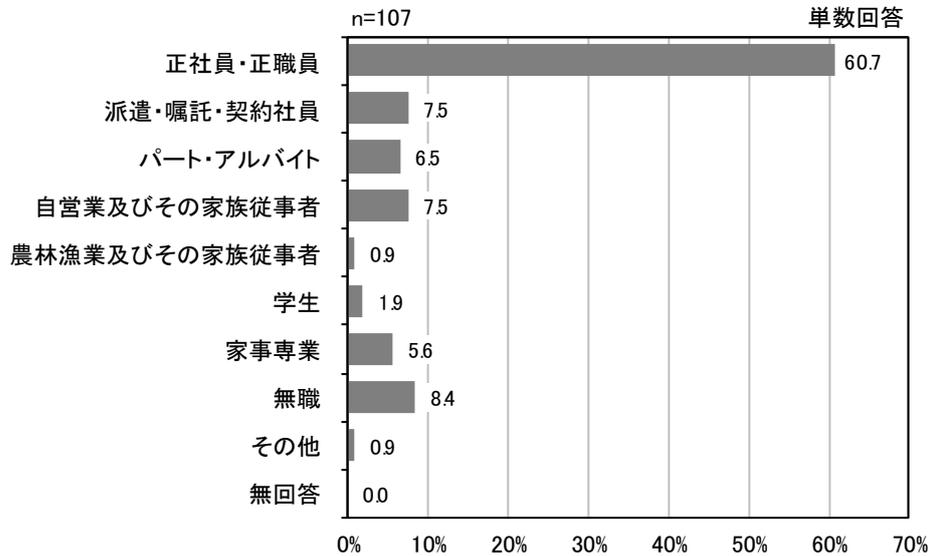
上位3項目である「20歳代」「30歳代」「40歳代」を合計すると、90.3%となっています。



問3 あなたの現在のおつとめの状況を教えてください。(1つに○)

転入者

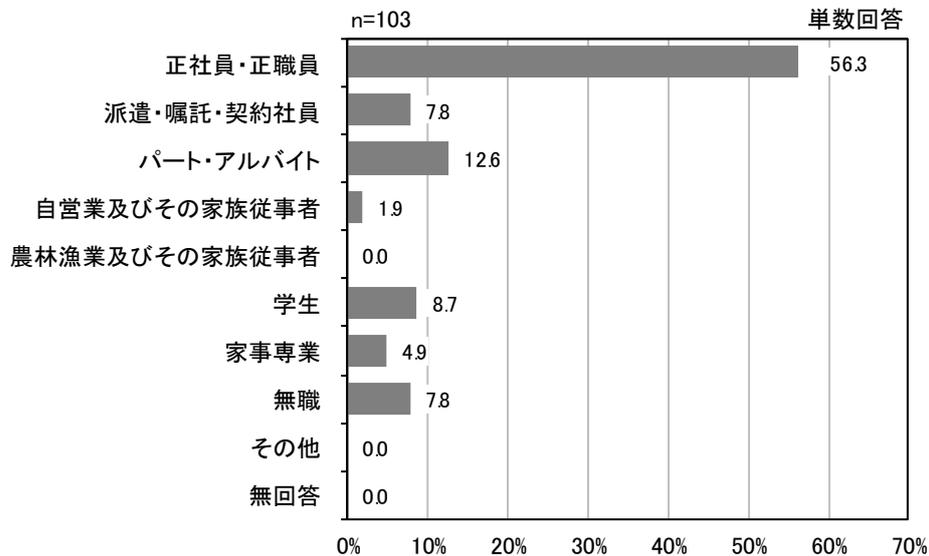
職業については、転入者では「正社員・正職員」が60.7%と最も多く、次いで「無職」が8.4%、「派遣・嘱託・契約社員」と「自営業及びその家族従事者」が7.5%となっています。



問3 あなたの現在のおつとめの状況を教えてください。(1つに○)

転出者

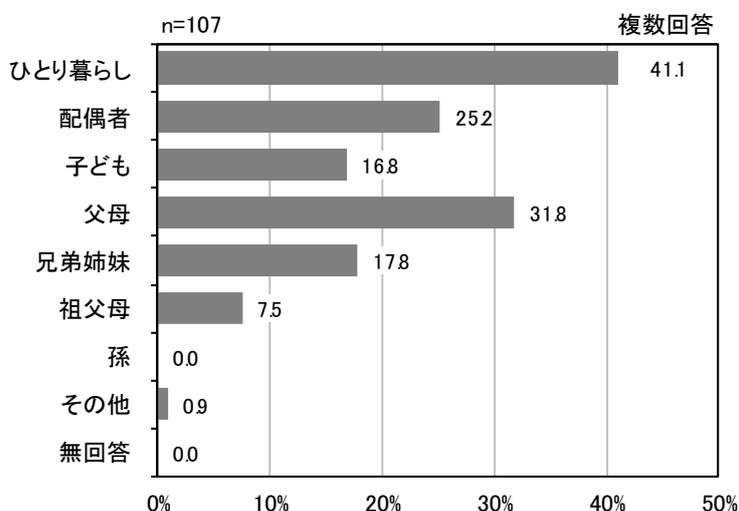
職業については、転出者では「正社員・正職員」が56.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が12.6%、「学生」が8.7%となっています。



問4 転入前に一緒に住んでいた家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

転入者

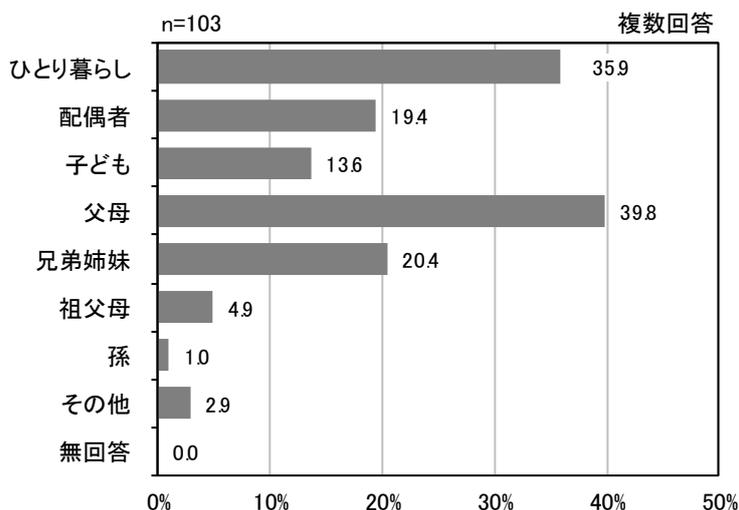
転入前に一緒に住んでいた家族については、「ひとり暮らし」が41.1%と最も多く、次いで「父母」が31.8%、「配偶者」が25.2%となっています。



問4 伊奈町に住んでいた際に一緒に住んでいた家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

転出者

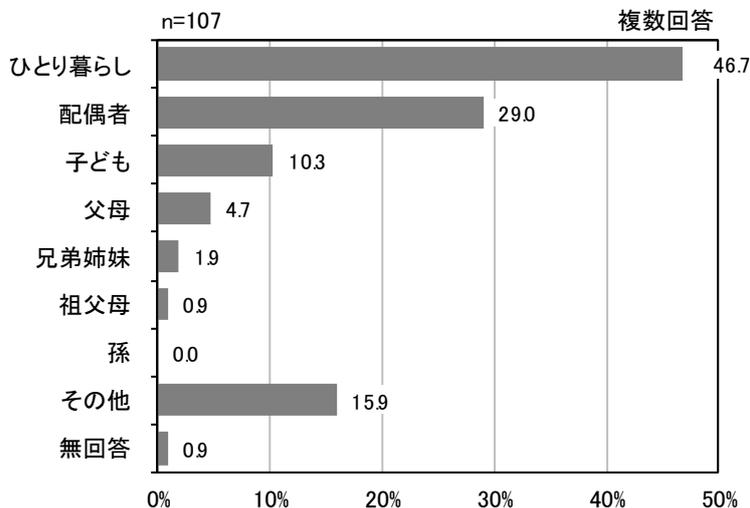
伊奈町に住んでいた際に一緒に住んでいた家族については、「父母」が39.8%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が35.9%、「兄弟姉妹」が20.4%となっています。



問5 転入後（現在）、一緒に住んでいる家族を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

転入者

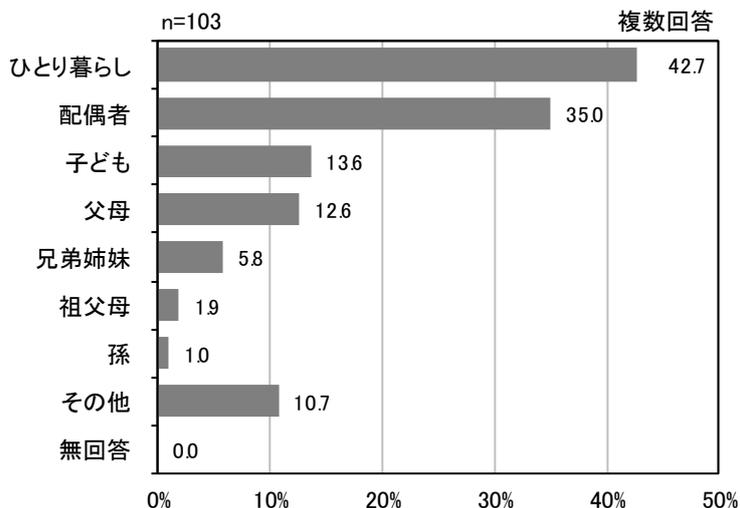
転入後（現在）、一緒に住んでいる家族については、「ひとり暮らし」が46.7%と最も多く、次いで「配偶者」が29.0%、「その他」が15.9%となっています。



問5 転出後、一緒に住んでいる家族を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

転出者

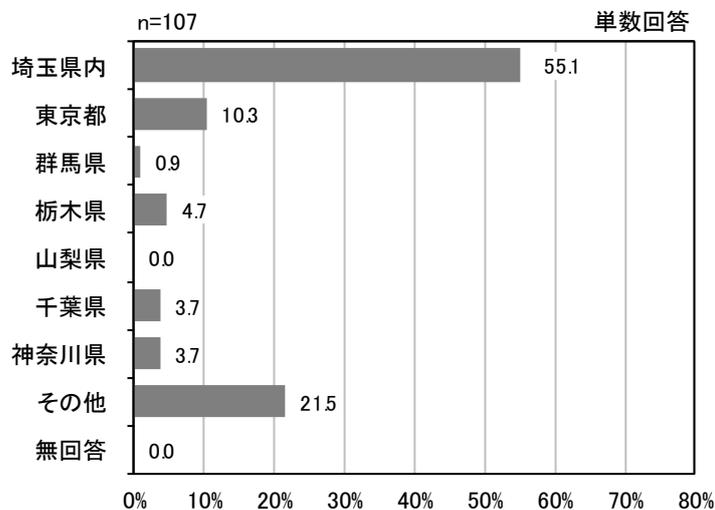
転出後、一緒に住んでいる家族については、「ひとり暮らし」が42.7%と最も多く、次いで「配偶者」が35.0%、「子ども」が13.6%となっています。



問6 転入前の居住地を教えてください。(1つに○)

転入者

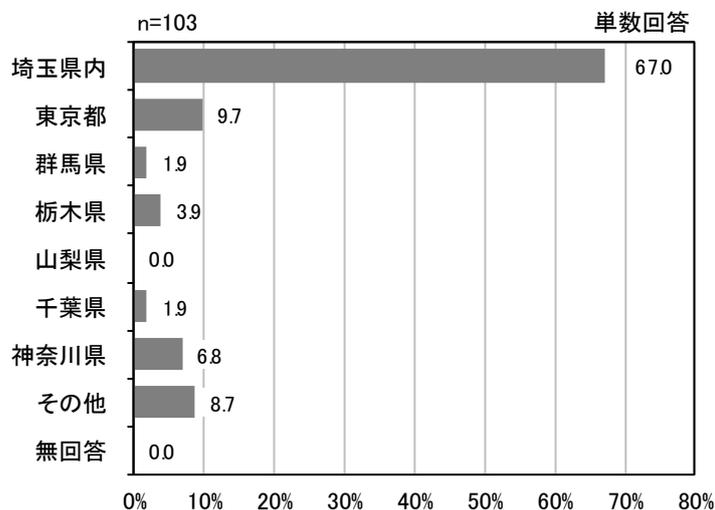
転入前の居住地については、「埼玉県内」が55.1%と最も多く、次いで「その他」が21.5%、「東京都」が10.3%となっています。



問6 転出後の居住地を教えてください。(1つに○)

転出者

転出後の居住地については、「埼玉県内」が67.0%と最も多く、次いで「東京都」が9.7%、「その他」が8.7%となっています。

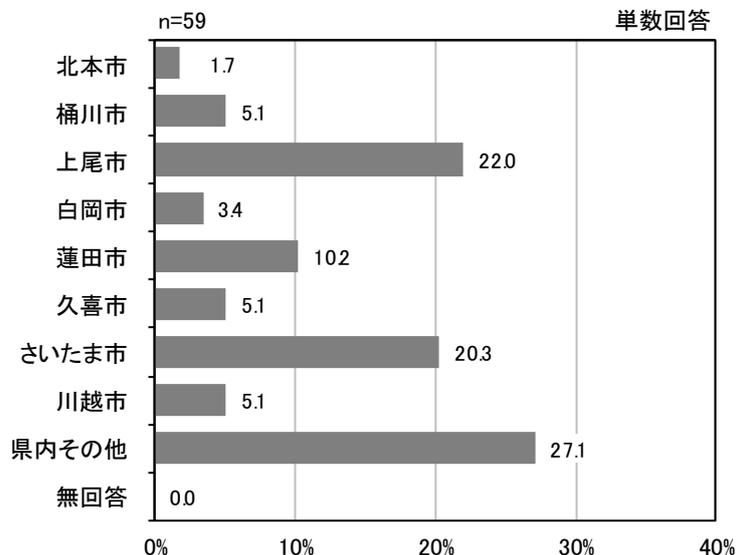


【問7は、問6で「埼玉県内」に○をつけた方のみ、問8・問9は全員】

問7 県内の居住地を教えてください。(1つに○)

転入者

転入前が県内の居住地だった場合については、「県内その他」が27.1%と最も多く、次いで「上尾市」が22.0%、「さいたま市」が20.3%となっています。

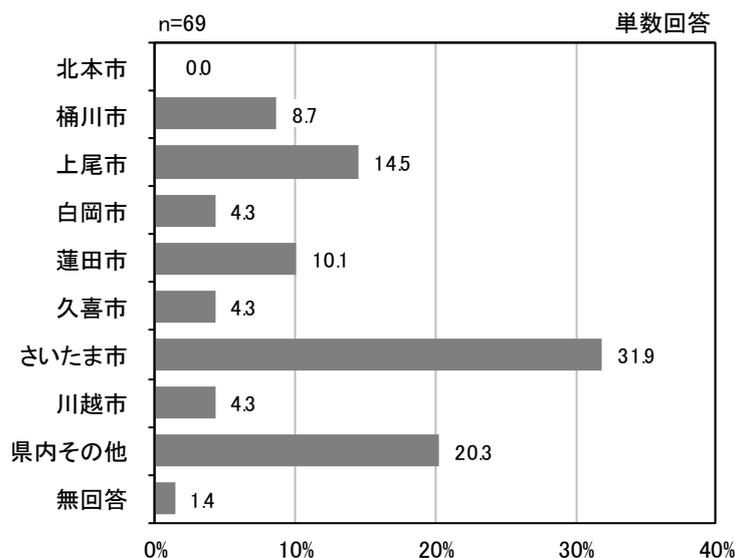


【問7は、問6で「埼玉県内」に○をつけた方のみ、問8・問9は全員】

問7 県内の居住地を教えてください。(1つに○)

転出者

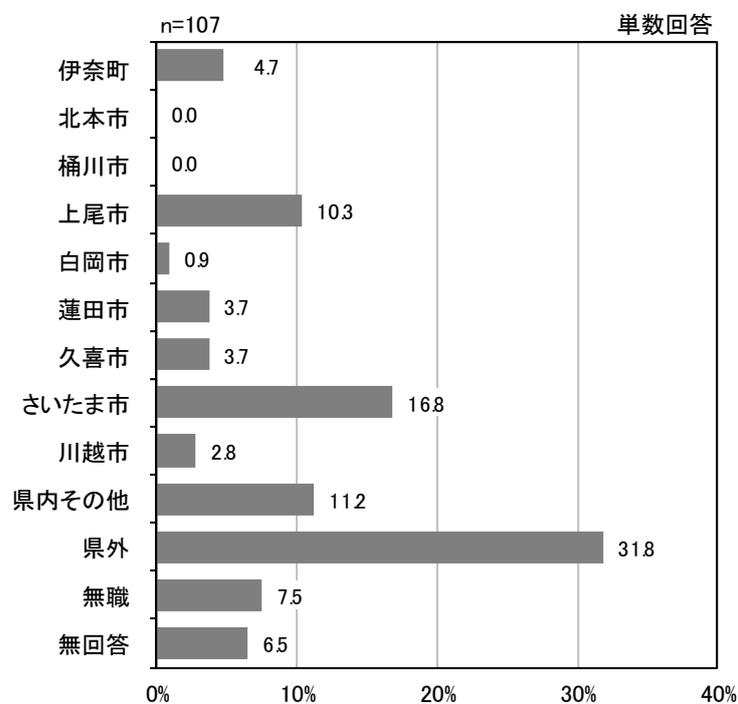
転出先が県内の居住地だった場合については、「さいたま市」が31.9%と最も多く、次いで「県内その他」が20.3%、「上尾市」が14.5%となっています。



問8 転入前の通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

転入者

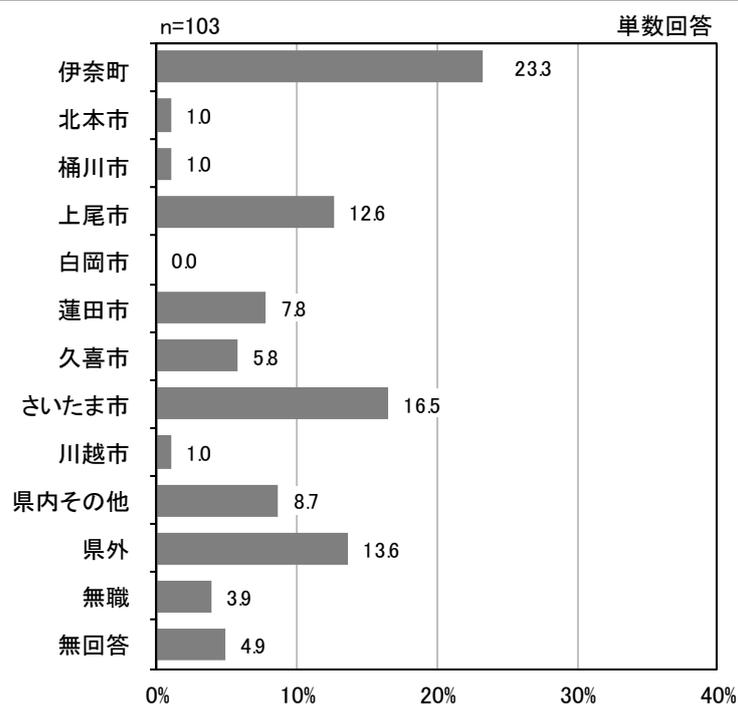
転入前の通勤・通学先の所在地については、「県外」が31.8%と最も多く、次いで「さいたま市」が16.8%、「県内その他」が11.2%となっています。



問8 伊奈町に住んでいた際の、通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

転出者

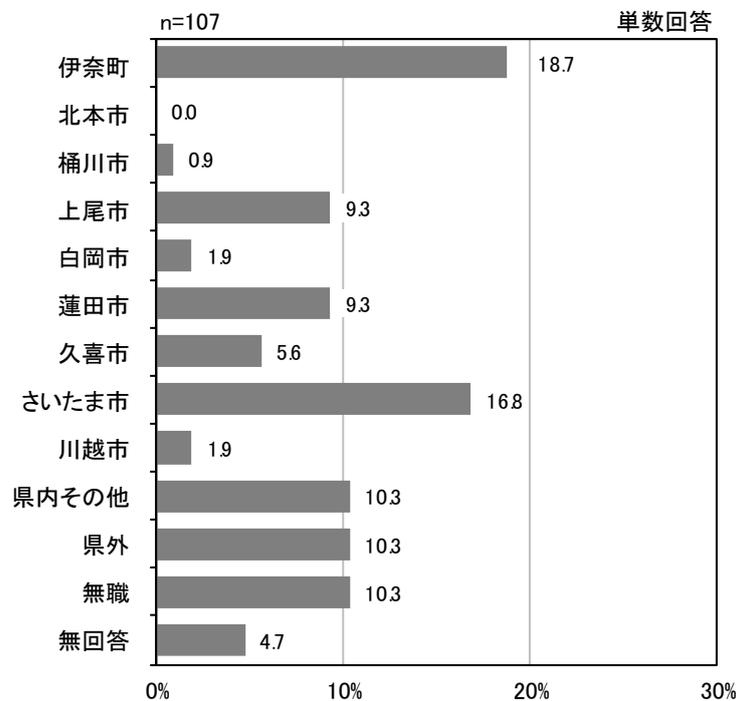
伊奈町に住んでいた際の、通勤・通学先の所在地については、「伊奈町」が23.3%と最も多く、次いで「さいたま市」が16.5%、「県外」が13.6%となっています。



問9 転入後（現在）の通勤・通学先の所在地を教えてください。（1つに○）

転入者

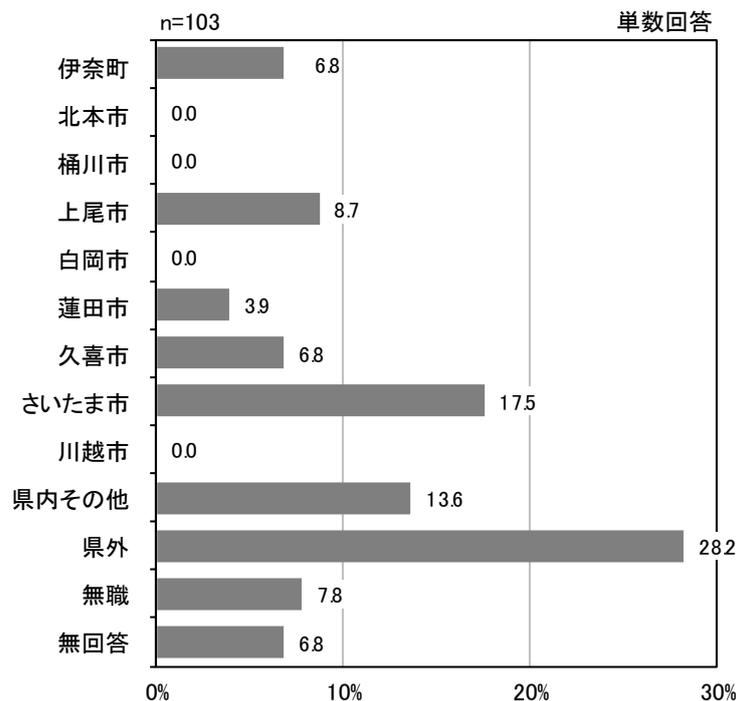
転入後（現在）の通勤・通学先の所在地については、「伊奈町」が18.7%と最も多く、次いで「さいたま市」が16.8%、「県内その他」「県外」「無職」がいずれも10.3%となっています。



問9 転出後の通勤・通学先の所在地を教えてください。（1つに○）

転出者

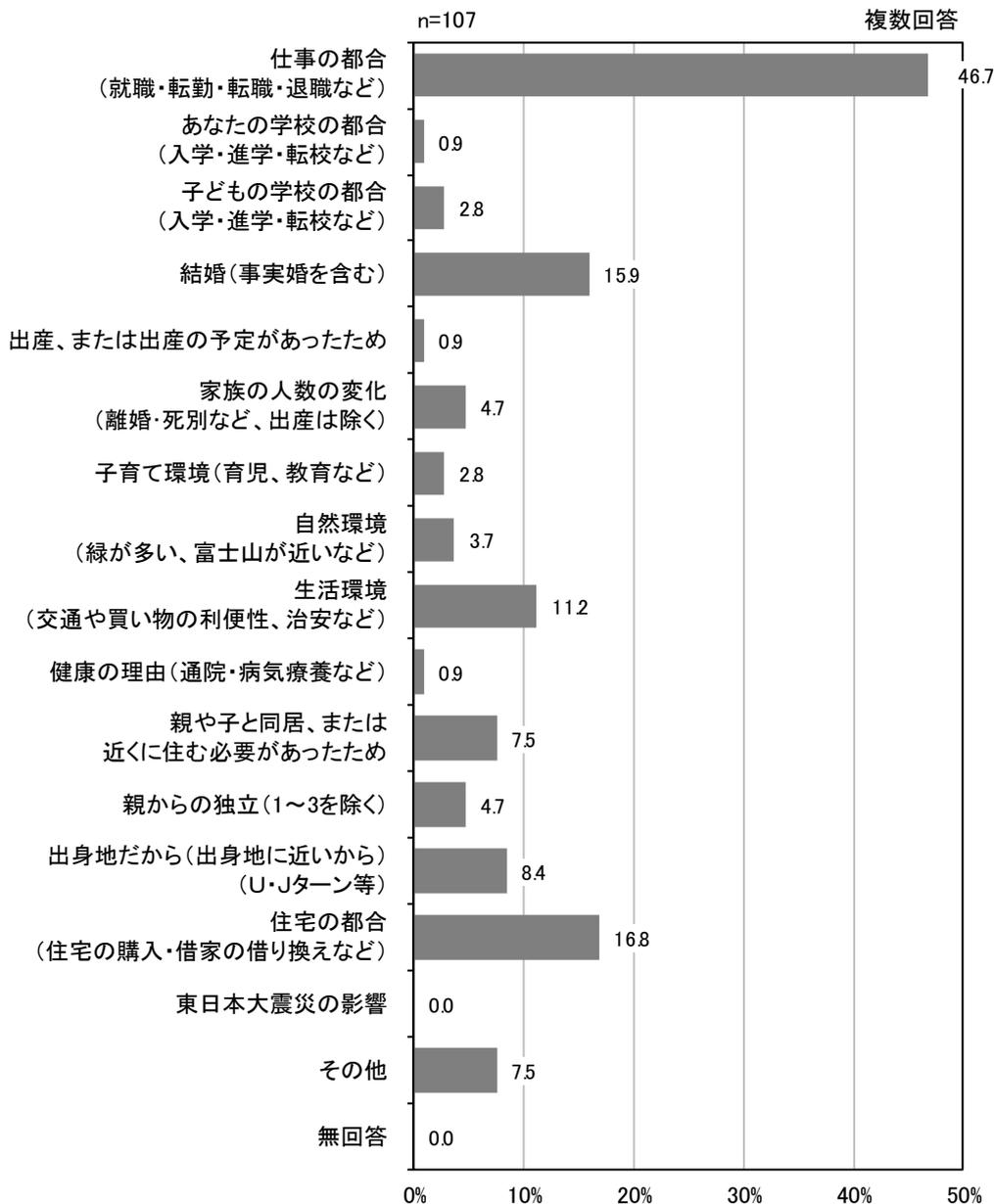
転出後の通勤・通学先の所在地については、「県外」が28.2%と最も多く、次いで「さいたま市」が17.5%、「県内その他」が13.6%となっています。



2. 転入（転出）についておうかがいします

問 10 伊奈町に転入を決めた大きな理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）
転入者

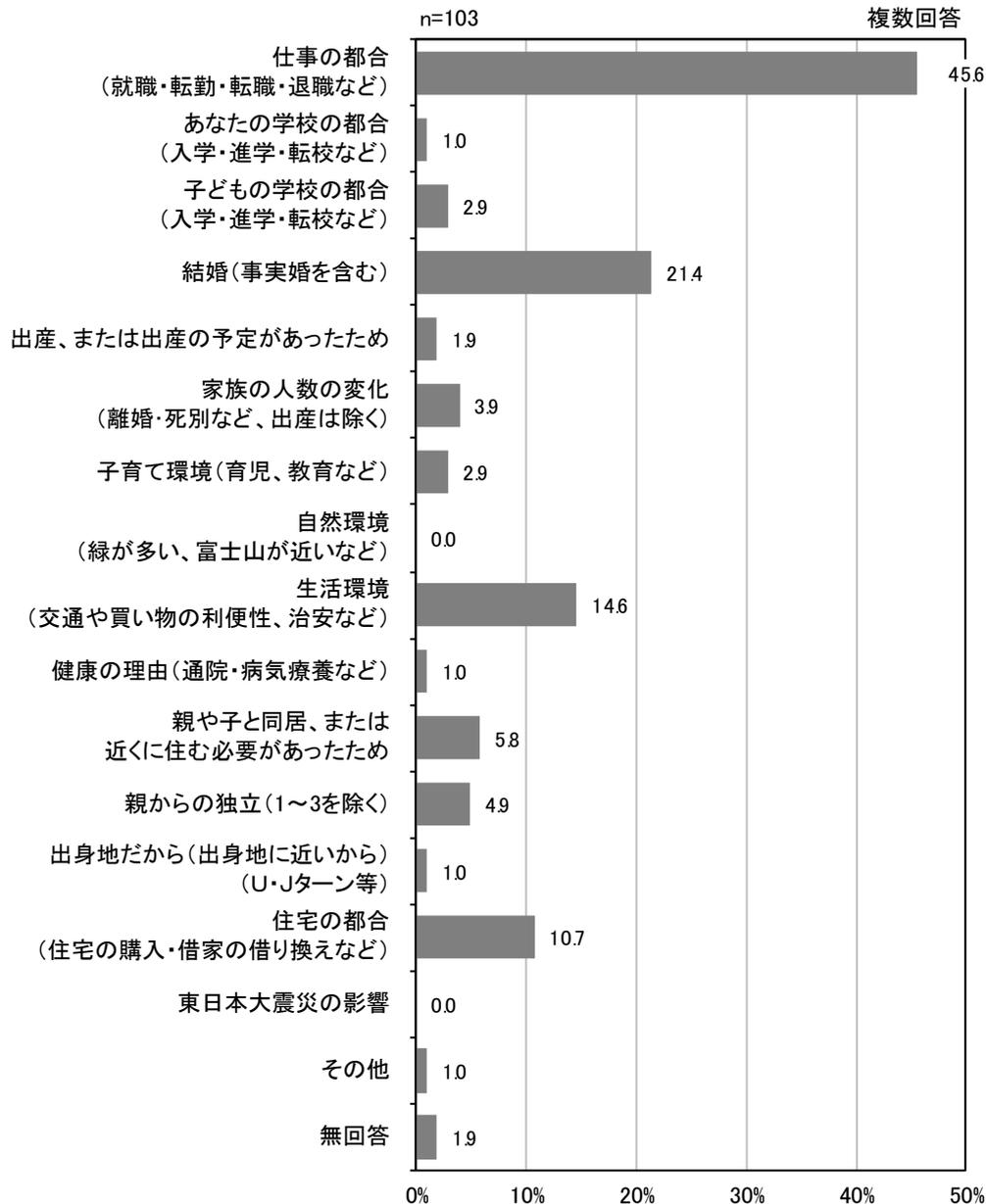
伊奈町に転入を決めた大きな理由については、「仕事の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が46.7%と最も多く、次いで「住宅の都合（住宅の購入・借家の借り換えなど）」が16.8%、「結婚（事実婚を含む）」が15.9%となっています。



問 10 伊奈町からの転出を決めた大きな理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

転出者

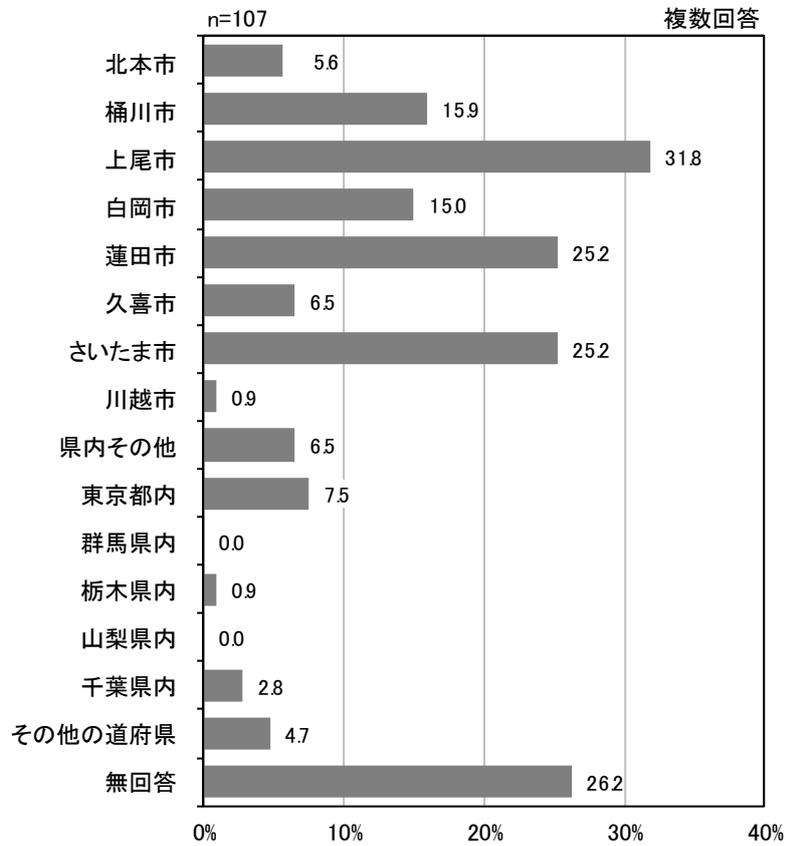
伊奈町からの転出を決めた大きな理由については、「仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など)」が45.6%と最も多く、次いで「結婚(事実婚を含む)」が21.4%、「生活環境(交通や買い物の利便性、治安など)」が14.6%となっています。



問 11 伊奈町以外に検討した転入先はありますか。(あてはまるものすべてに○)

転入者

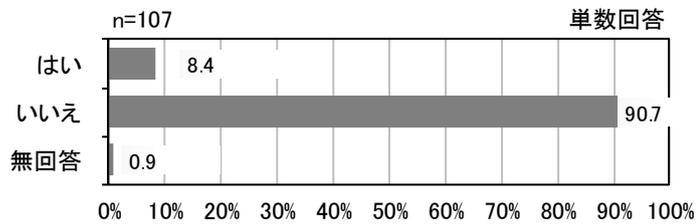
伊奈町以外に検討した転入先については、「上尾市」が31.8%と最も多く、次いで「蓮田市」「さいたま市」がともに25.2%となっています。



問 12 転入先を決めるにあたり、伊奈町の行政サービスや施策を調べましたか。(1つに○)

転入者

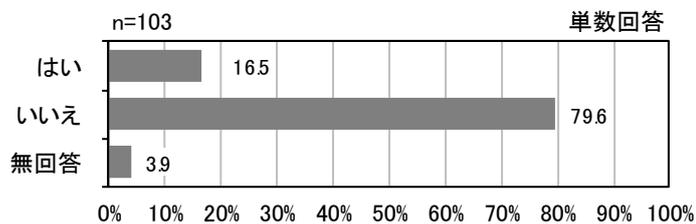
転入先を決めるにあたり、伊奈町の行政サービスや施策を調べたかについては、「いいえ」が90.7%と、「はい」の8.4%を大きく上回っています。



問 11 転出先を決めるにあたり、転出先の行政サービスや施策を調べましたか。(1つに○)

転出者

転出先を決めるにあたり、転出先の行政サービスや施策を調べたかについては、「いいえ」が79.6%と、「はい」の16.5%を大きく上回っています。

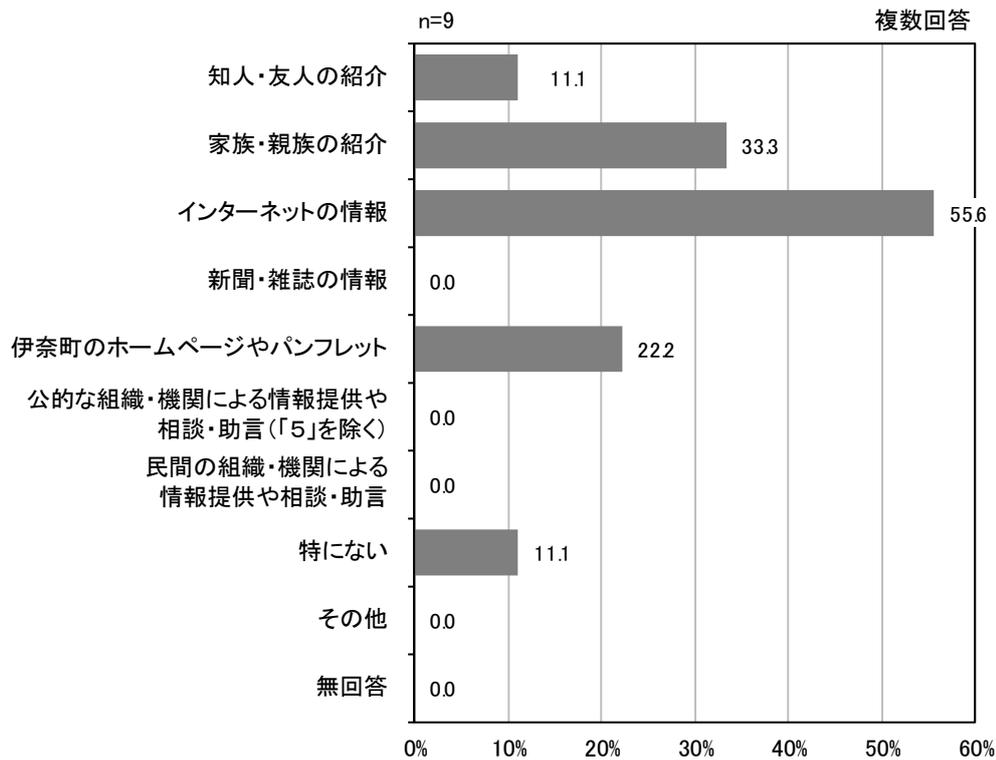


【問 13 は、問 12 で「はい」に○をつけた方のみ、問 14 以降は全員】

問 13 伊奈町を選ぶ際に、どのような情報などを活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

転入者

伊奈町を選ぶ際に、どのような情報などを活用したかについては、「インターネットの情報」が 55.6%と最も多く、次いで「家族・親族の紹介」が 33.3%、「伊奈町のホームページやパンフレット」が 22.2%となっています。

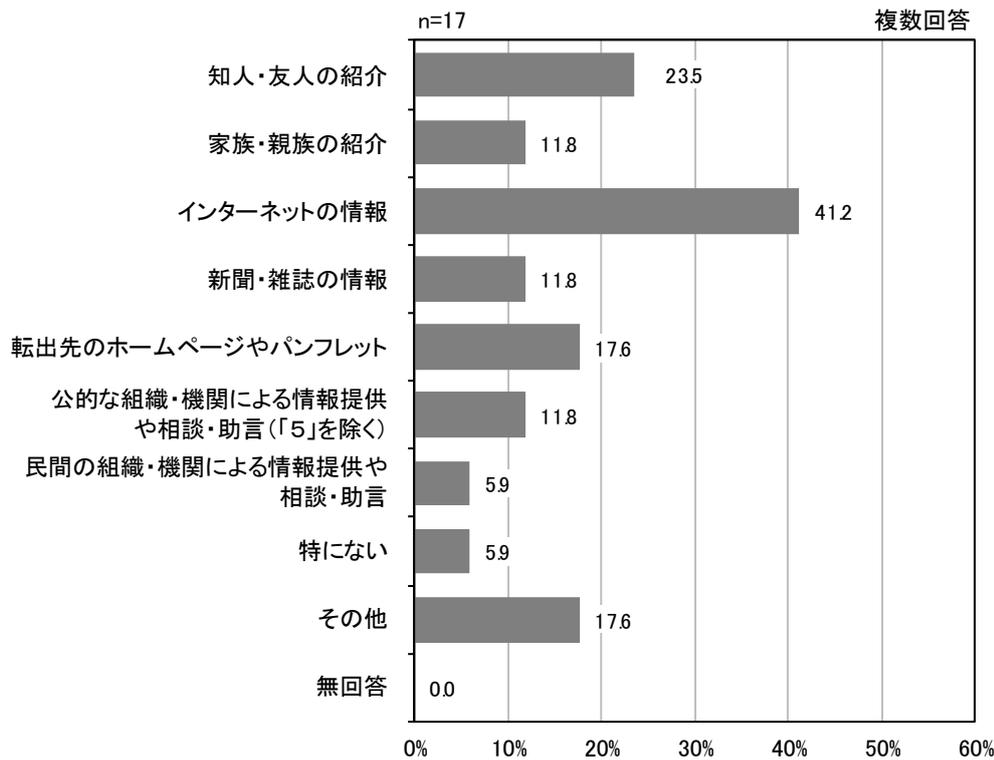


【問 12 は、問 11 で「はい」に○をつけた方のみ、問 13 以降は全員】

問 12 転出先を選ぶ際に、どのような情報などを活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

転出者

転出先を選ぶ際に、どのような情報などを活用したかについては、「インターネットの情報」が 41.2%と最も多く、次いで「知人・友人の紹介」が 23.5%、「転出先のホームページやパンフレット」と「その他」が 17.6%となっています。

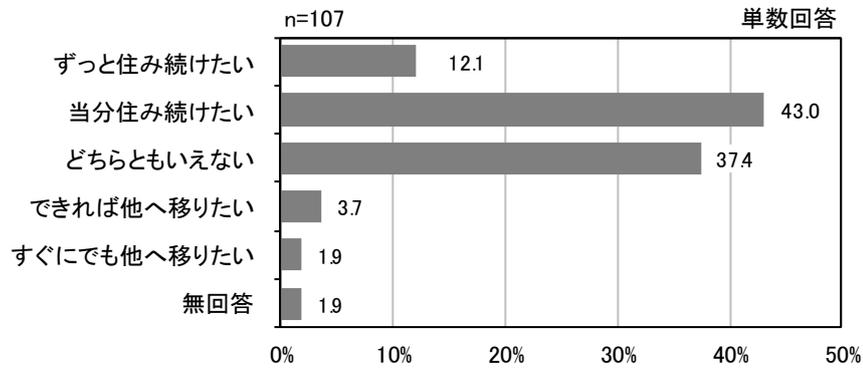


問 14 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(1つに○)

転入者

今後も伊奈町に住み続けたいかについては、「当分住み続けたい」が43.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が37.4%、「ずっと住み続けたい」が12.1%となっています。

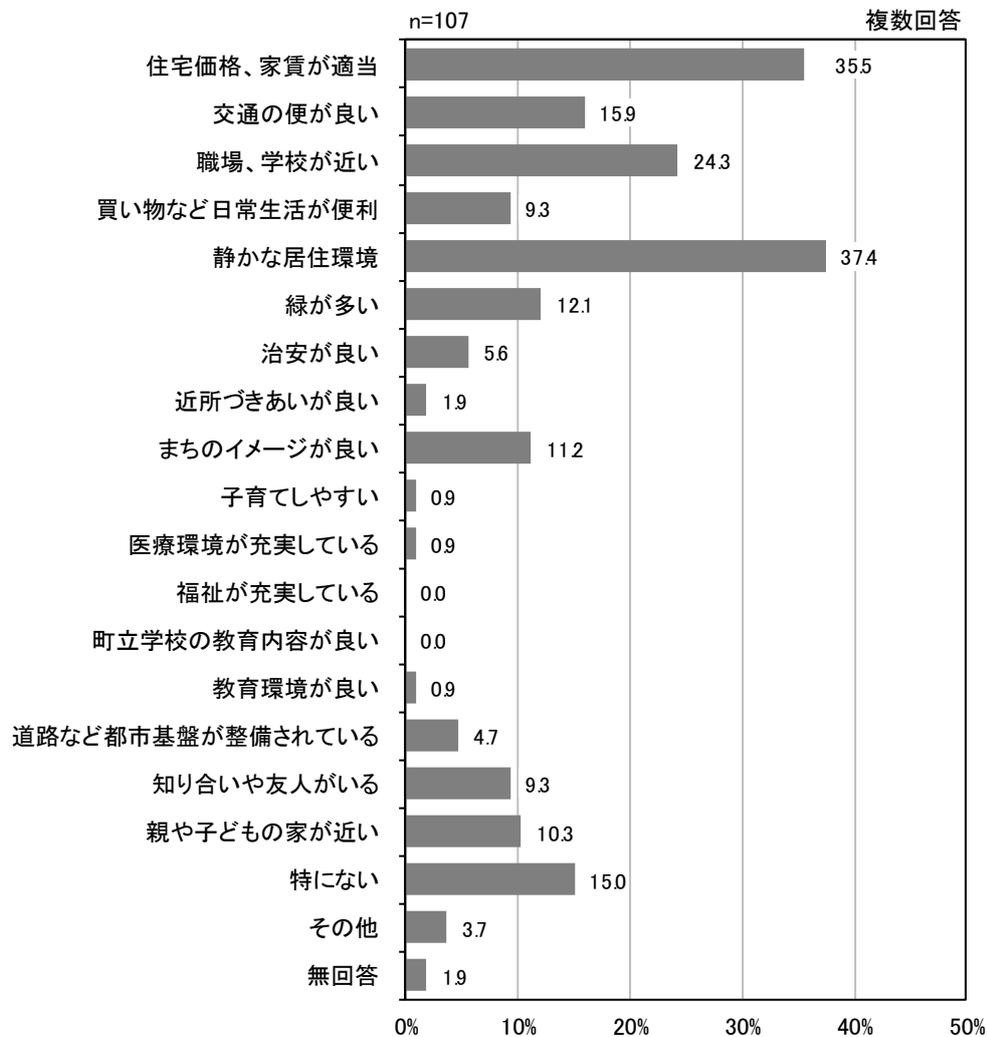
「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合計すると、55.1%となっています。



問 15 実際に伊奈町に転入してみて「住みやすい」と思われたのは、どのような点ですか。（あてはまるものすべてに○）

転入者

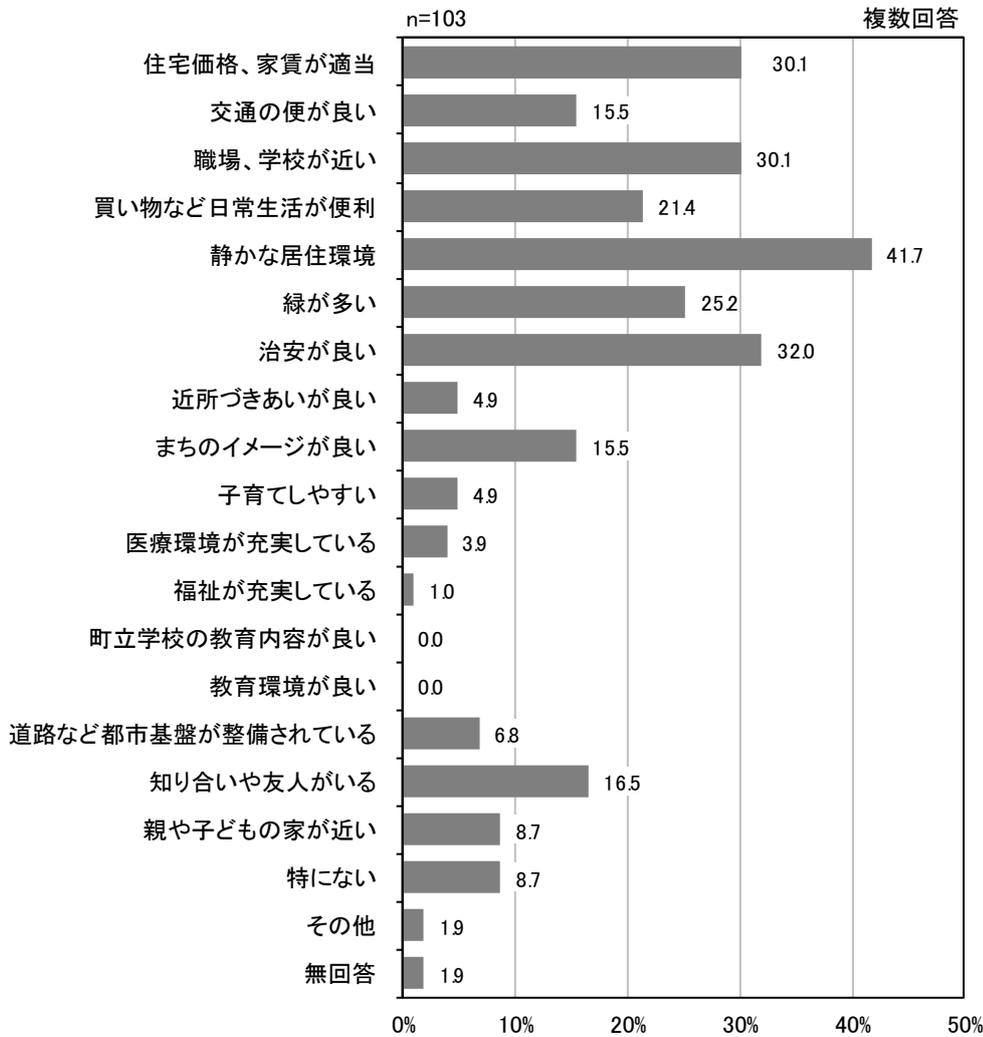
実際に伊奈町に転入してみて「住みやすい」と思った点については、転入者では「静かな居住環境」が37.4%と最も多く、次いで「住宅価格、家賃が適当」が35.5%、「職場、学校が近い」が24.3%となっています。



**問 13 実際に伊奈町に住んでみて「住みやすい」と思われたのは、どのような点ですか。
（あてはまるものすべてに○）**

転出者

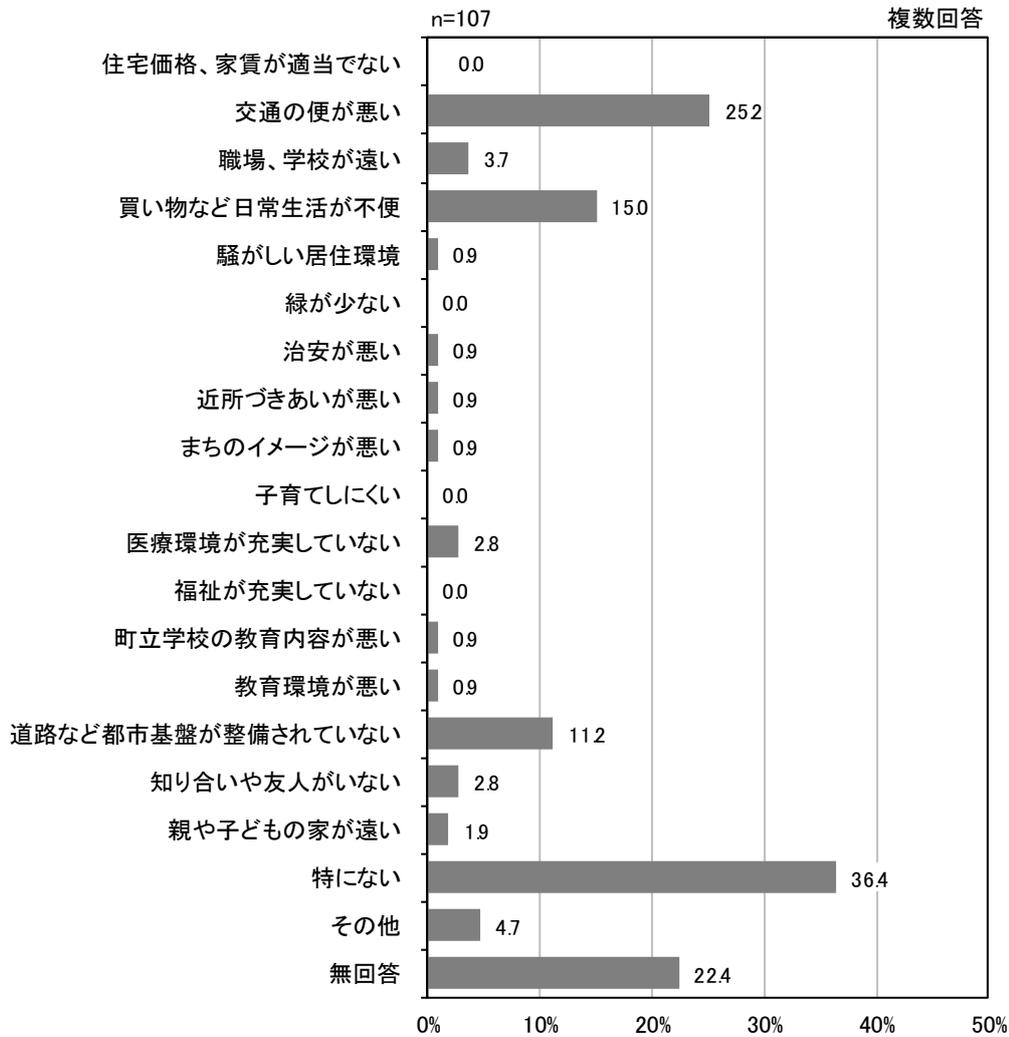
実際に伊奈町に住んでみて「住みやすい」と思った点については、転出者では「静かな居住環境」が41.7%と最も多く、次いで「治安が良い」が32.0%、「住宅価格、家賃が適当」と「職場、学校が近い」が30.1%となっています。



問 16 実際に伊奈町に転入してみて「住みにくい」と思われたのは、どのような点ですか。（あてはまるものすべてに○）

転入者

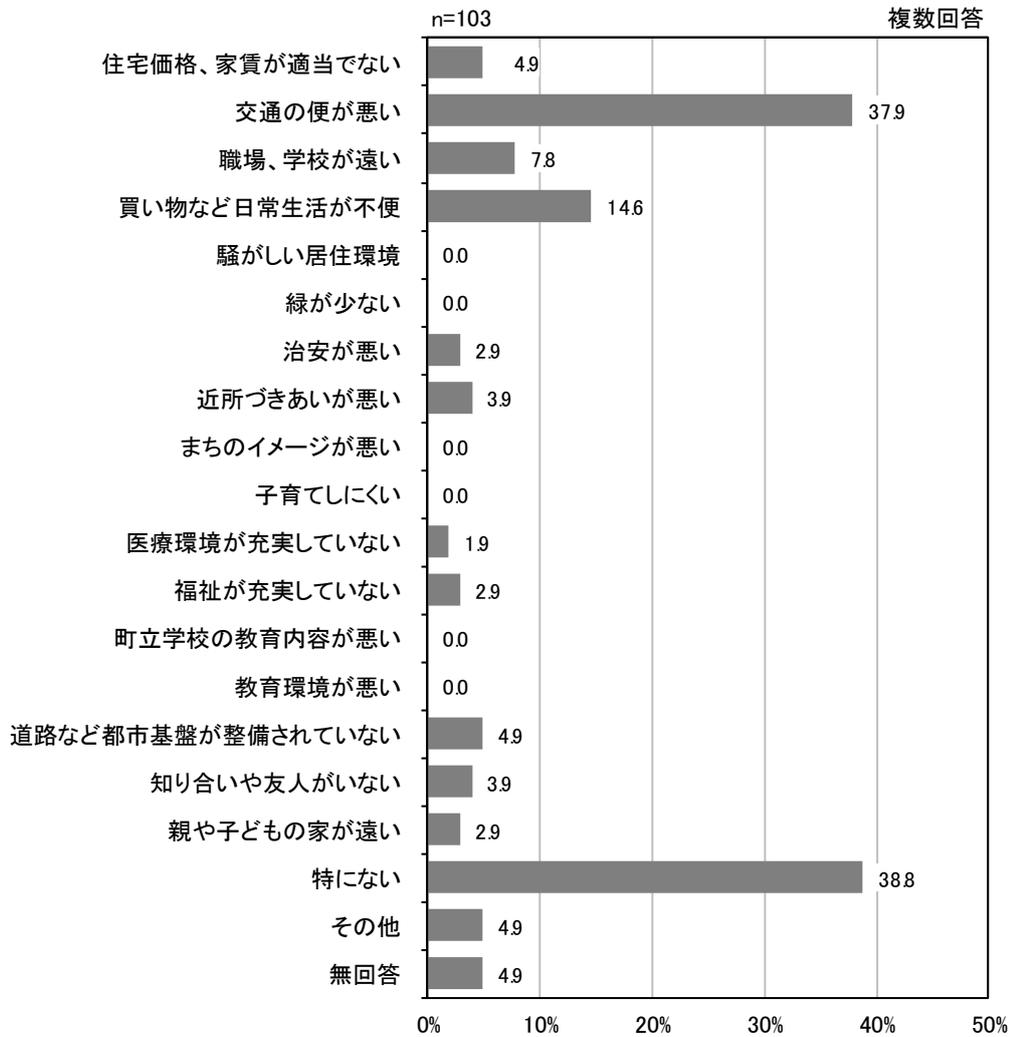
実際に伊奈町に転入してみて「住みにくい」と思った点については、転入者では「特にない」が36.4%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」が25.2%、「買い物など日常生活が不便」が15.0%となっています。



**問 14 実際に伊奈町に住んでみて「住みにくい」と思われたのは、どのような点ですか。
（あてはまるものすべてに○）**

転出者

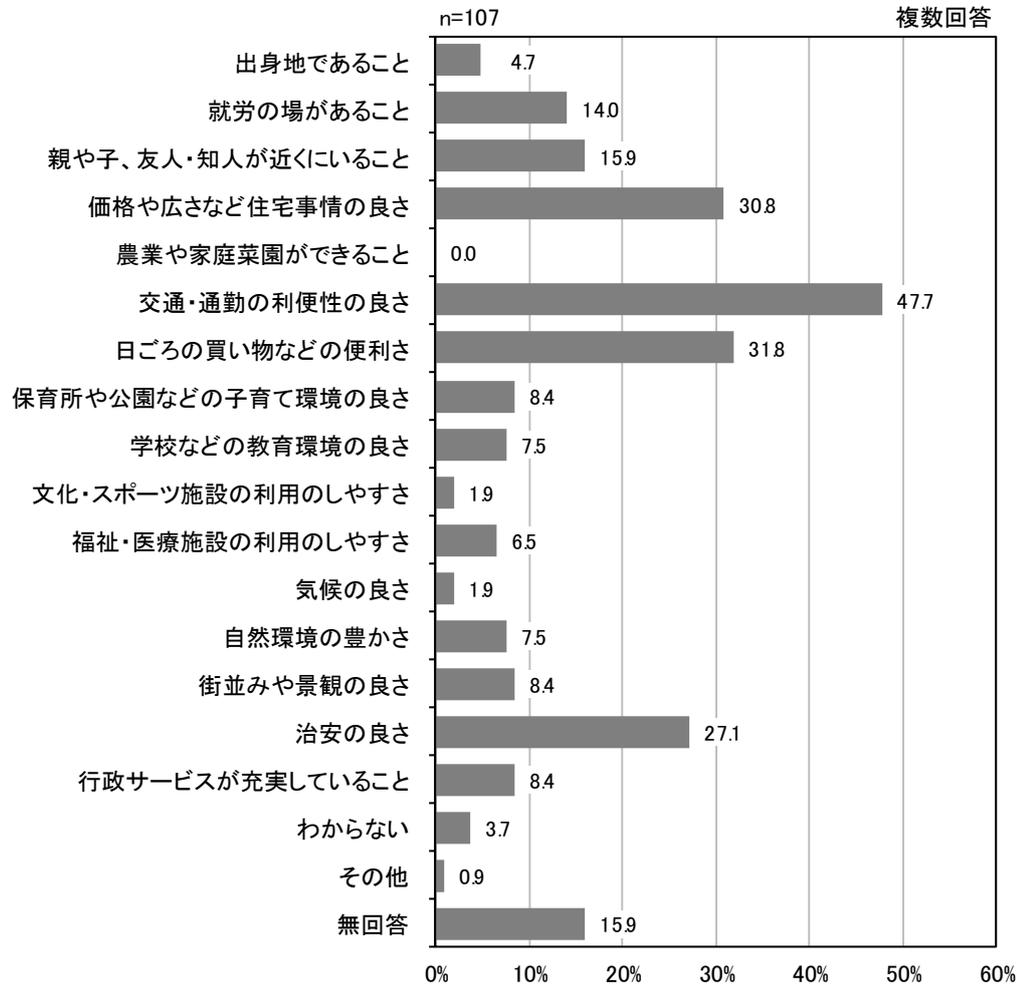
実際に伊奈町に住んでみて「住みにくい」と思われた点については、転出者では「特にない」が38.8%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」が37.9%、「買い物など日常生活が不便」が14.6%となっています。



問 17 住まいや周囲の環境選びで特に重視することは何ですか。(3つまで○)

転入者

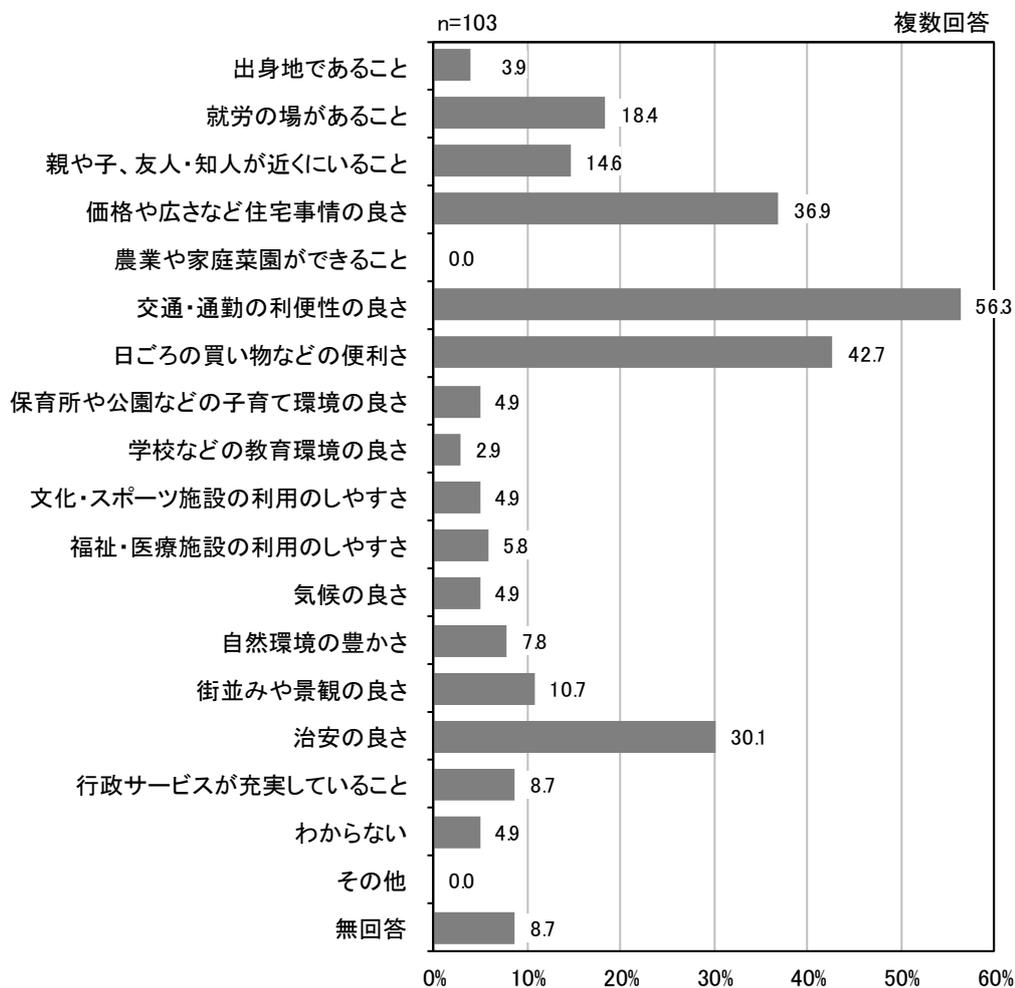
住まいや周囲の環境選びで特に重視することについては、転入者では「交通・通勤の利便性の良さ」が47.7%と最も多く、次いで「日ごろの買い物などの便利さ」が31.8%、「価格や広さなど住宅事情の良さ」が30.8%となっています。



問 15 住まいや周囲の環境選びで特に重視することは何ですか。(3つまで○)

転出者

住まいや周囲の環境選びで特に重視することについては、転出者では「交通・通勤の利便性の良さ」が56.3%と最も多く、次いで「日ごろの買い物などの便利さ」が42.7%、「価格や広さなど住宅事情の良さ」が36.9%となっています。



IV 総評

1. 町民

(1) 定住意向

定住意向は8割弱で、前回と同程度
自分の土地や家があることが主たる理由

- 伊奈町に住んだ理由として、「家賃（土地）が安い」「自然環境が豊かである」が上位2項目に挙げられており、前回と同様の傾向となっています。また、今後の定住意向は8割弱で前回と同程度でした。住み続けたい理由としては、「自分の土地や家がある」が30歳代以上ではいずれの年代も6割を超えて最も高くなっているほか、「長年住み慣れている」がすべての年代で増加しました。
- 町外へ移りたいと思う人に理由を聞いたところ、「交通が不便である」が4割台で最も高く、特に20歳代から40歳代では他の年代に比べて高くなっています。

(2) 防災、防犯、交通安全、消費生活

(安心・安全なまちに暮らす)

防災・防犯に対する安心感や道路空間への満足度（平均評価点）は低い
防災・防犯の取り組みや歩行・自転車で走りやすい道路整備が求められる

- 防災、防犯、交通安全、消費生活については、住みやすさに関する満足度（平均評価点）の中で、「防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感」が3番目に低くなっています。また、快適さに関する満足度（平均評価点）の中で、「歩道の歩きやすさ・自転車の走りやすさ」が平均評価点は前回より向上したものの、依然として低くなっています。
- 今後重点的に取り組むこととして、特に重点的に進めるべき部門の中で「生活環境の整備」は最も高くなっています。生活環境の整備の具体的な内容としては、「地域防災対策」が3番目に高くなっています。また、伊奈町のまちづくりの将来像として、「犯罪がおこらないまち」は4番目に高くなっています。
- 今後は、地域の中で安心して暮らせるための防災・防犯の取り組みや、歩きやすい・自転車で走りやすい道路整備などが求められています。

(3) 健康づくり、医療、高齢者福祉、障害者福祉

(健康で心安らぐまちに暮らす)

住みやすさに関する満足度(平均評価点)の中では福祉に関する項目は低い
高齢者福祉対策、医療施設の整備が求められる

- 健康づくり、医療、高齢者福祉、障害者福祉については、住みやすさに関する満足度(平均評価点)の中で、「高齢で介護が必要になっても安心できる暮らしやすさ」が2番目に低くなっています。また、豊かさに関する満足度(平均評価点)の中で、「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」は前回から平均評価点の向上が見られるものの、最も低くなっています。
- 今後重点的に取り組むこととして、福祉と健康の増進に関して、「病院や医院など医療施設の整備」が最も高く、次いで「高齢者福祉対策の充実」が挙げられています。また、伊奈町のまちづくりの将来像として、「病院など医療機関が充実したまち」は最も高くなっています。
- 今後は、高齢化社会の到来を見据えた高齢者福祉対策や、病院や医院など医療施設の整備が求められています。

(4) 子育て、教育、いじめ、生涯学習、スポーツ

(豊かな心を育むまちに暮らす)

子育て・教育環境の満足度(平均評価点)は向上が見られる
文化施設の整備をはじめとして、特色ある学校教育の充実や、生涯学習の推進等が求められる

- 子育て、教育、いじめ、生涯学習、スポーツについては、住みやすさに関する満足度(平均評価点)の中で、「就学前の子育て環境」「小中学校の教育環境」がともに前回から満足度の平均評価点が上がっています。また、豊かさに関する満足度(平均評価点)の中で、「文化施設(図書館や公民館)の利用しやすさ」が前回から平均評価点が大きく上がり、満足度が向上しています。
- 今後重点的に取り組むこととして、教育・文化の向上に関して、「文化施設(図書館など)の整備」「特色ある学校教育の充実」「生涯学習の推進と施策の充実」が上位3項目となっています。また、特に重点的に進めるべき部門の中では「教育・文化の向上」が4番目に高くなっており、特に30歳代から40歳代では他の年代と比べて要望が高い項目となっています。
- 今後は、文化施設の整備をはじめとして、特色ある学校教育の充実や、生涯学習の推進等が求められています。

(5) 緑化、環境保全、都市整備、交通、都市農業、商工業、観光

(緑あふれる、にぎわいのあるまちに暮らす)

自然環境や静かな住環境等が高評価

商業の振興や公共交通の利便性の向上が求められている

- 緑化、環境保全、都市整備については、住みやすさに関する満足度（平均評価点）の中で、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」の平均評価点が前回と比べて上がり、1番目に高くなっています。また住みやすさについては、前回と比べて全体的に満足度（平均評価点）の平均評価点が上がっており、「工場の騒音などに対する安心感」も2番目に高いなど、良好な住環境が評価されています。一方、交通については、また、快適さに関する満足度（平均評価点）の中で、「鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ」の平均評価点が最も低い項目となり、特に10歳代から50歳代まででは全体平均よりも低くなっています。
- 都市農業については、豊かさに関する満足度（平均評価点）の中で、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が特に平均評価点が高く、前回から大きく向上しています。一方、商工業、観光については、賑やかさに関する満足度（平均評価点）の中で、「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」が前回と比べてさらに平均評価点が下がっています。
- 今後重点的に取り組むこととして、町の発展基盤の整備については、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が最も高いほか、次いで「幹線道路（町内で骨格を成す道路）の整備」「既存住宅地の居住環境の改善」も多くなっています。また、生活環境の整備については、「身近な道路の整備」が最も高くなっているほか、地域産業の振興については、「商業の振興」が前回と同様に最も高くなっています。
- 今後は、現在の良好な住環境を維持しながら、商業地の整備等による商業の振興や、公共交通の利便性の向上が求められています。また、地域の道路や街路樹の管理、環境保全活動については、住民の参加・協力意向が高く、住民と協働しての取り組みも期待されます。

(6) 町民参画、コミュニティ、国際化、行財政運営、人権・平和意識、男女共同参画

(町民と行政が協働するまちに暮らす)

公共窓口の利用しやすさや職員の対応の良さが高評価

町民が関わりやすい町政参加の方法の提示、町民の意見・要望の反映が求められている

- 町民参画、コミュニティ、国際化、行財政運営、人権・平和意識、男女共同参画については、町政に関する満足度（平均評価点）の中で、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が、いずれも前回と比べて満足度の平均評価点が上がっています。一方、「町民の意見・要望の反映」では『不満である』が1割強と他の項目と比べて高く、平均評価点では前回はやや下回り、最も低くなっています。
- また、総合振興計画の策定への参加意向については、「いずれの方法でも参加するつもりはない」が全体では4割を超えているものの、30歳代と40歳代では「インターネットなどで参加できる内容に参加したい」が最も高くなっており、忙しい中でも関われる町政参加に意欲を示している人達も多く見られます。
- また、コミュニティに関して、地域でのつきあいの程度は「あいさつを交わす程度のつきあい」が7割となっており、特に北部地区と中部地区で前回と比べて割合が増加し、コミュニティの希薄化が見られます。また、町民が参加・協力したことのある取り組みについて、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が年代別では30歳代、地域別では北部地区と南部地区で前回と比べて顕著に減少しています。
- 今後は、町民が関わりやすい町政参加の方法の提示や地域活動のあり方の再検討、町民の意見・要望の反映の推進が求められています。

2. 転入者・転出者

(1) 転入・転居の状況について

転入出先は隣接する自治体が多い

特に、「さいたま市」「上尾市」と比較検討され、転入出先としても多い

- 転入者・転出者いずれも、20歳代から40歳代の合計が9割前後を占め、若者から子育て世代の意見が強く反映された結果となりました。
- 居住地については、転入前、転出後のいずれも県内自治体が半数以上を占めています。転入前・転出先ともに、県内自治体の中で「さいたま市」「上尾市」が上位2項目となっており、隣接する比較的人口規模の大きい自治体との間での転入出が多いことが分かります。
- 通勤・通学先については、転入者では、伊奈町への転入前は「県外」が最も多かった一方、伊奈町への転入後は「伊奈町」が最も多くなっています。また、転出者では、伊奈町在住時には「伊奈町」が最も多い一方、転出後は「県外」が最も多くなっています。
- 伊奈町以外に検討した転入先については、「上尾市」が最も多く、次いで「蓮田市」「さいたま市」となっています。「上尾市」「さいたま市」については、転出者の転出後の居住地の上位2自治体であり、隣接するこれらの自治体と比較検討されていることが分かります。

(2) 転入・転居の要因について

伊奈町の居住環境は転入・転出ともに高評価となっており、

仕事の都合が転入の大きな要因

一方、交通の便の悪さは住みにくさの上位に挙げられ、転出の要因にもつながっている

- 転入・転出を決めた理由として、転入者・転出者いずれも5割弱が「仕事の都合（就職・転勤・転職・退職など）」で最も多く、「結婚（事実婚を含む）」も上位に挙げられています。仕事の都合は、伊奈町に住む要因となっている一方で、伊奈町からの転出につながる要因であることも分かります。
- 転入先・転出先を決めるにあたり、転居先の自治体の行政サービスや施策を調べている人は2割未満となっており、多いとは言えない状況です。
- 伊奈町の住みやすさとしては、転入者・転出者ともに「静かな居住環境」「住宅価格、家賃が適当」「職場、学校が近い」が上位に挙げられています。
- 一方、伊奈町の住みにくさとしては、転入者・転出者ともに「特になし」が4割弱を占める一方で、「交通の便が悪い」「買い物など日常生活が不便」が上位に挙げられており、転出者では特に「交通の便が悪い」が4割弱と、転入者と比べて大幅に高くなっています。
- 今後は、高評価となっている居住環境を維持していく一方で、交通や買い物の問題等の改善により、日常生活における利便性の向上に取り組むことが期待されます。

V 資料編

1. 町民アンケート調査票

伊奈町の総合振興計画後期基本計画 策定に関するアンケート調査 ご協力のおねがい

町民のみなさまには、日ごろから町政全般にわたりご理解ご協力をいただきお礼申し上げます。
このたび伊奈町では、2015年（平成27年）に策定した「伊奈町総合振興計画（前期基本計画）」の計画期間が終了を迎えるにあたり、新たに2020年からの総合振興計画後期基本計画を策定することになりました。

つきましては、この調査において、町民のみなさまの現在の生活環境や将来のまちづくりの方向性についてのご意見をお聞きし、新しい総合振興計画をつくるための基礎資料としたいと思います。

この調査は、伊奈町にお住まいの16歳以上の方の中から1,500人の方を無作為に選び実施させていただきます。ご回答いただく内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ、まことに恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成31年1月

伊奈町長

天島 清

調査票のご記入にあたって

- ▶ 宛名のご本人がお答えください。
- ▶ お答えは、あてはまる回答の番号に「○」をつけてください。
また、「その他」をお選びになった場合は、その後ろにある（ ）の中に内容をご記入ください。
- ▶ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
1月18日(金)までにポストに投函またはご持参ください。
(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません)
- ▶ この調査につきまして、ご不明な点などございましたら下記へお問い合わせください。

【調査に関するお問い合わせ先】

伊奈町役場 企画課
〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9493 番地
TEL : 048-721-2111 (内線 2215)

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代以上 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | |

問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 自営業(農業) | 6. パート・アルバイト |
| 2. 自営業(商工・サービス業) | 7. 主婦(夫) |
| 3. 会社員 | 8. 学生(専門学校含む) |
| 4. 自由業(医師、弁護士など) | 9. 無職 |
| 5. 公務員・教員(団体職員など) | 10. その他() |

問4 あなたの通勤先または通学先はどこですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 自宅 | 5. その他埼玉県内 |
| 2. 伊奈町内 | 6. 東京都 |
| 3. さいたま市 | 7. その他() |
| 4. 近隣市(上尾市、桶川市、蓮田市) | |

問5 あなたの住んでいる地域はどこですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 北部地域〔大針、羽貫、小針新宿、小針内宿、細田山、光ヶ丘区、学園中央〕 |
| 2. 中部地域〔小貝戸、志久、本(北・南)、柴中萩、若榎、中央区〕 |
| 3. 南部地域〔栄(北・中央・南)、丸山、下郷、綾瀬(東・南・北)区〕 |

問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 単身(ひとり暮らし) | 5. 夫婦と子どもと親で住んでいる |
| 2. 夫婦で住んでいる | 6. 母子又は父子で住んでいる |
| 3. 夫婦と子どもで住んでいる | 7. 兄弟や友人と同居している |
| 4. 夫婦と親で住んでいる | 8. その他() |

問7 あなたは伊奈町に何年住んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| 1. 生まれてからずっと | 3. 5年以上 10年未満 | 5. 20年以上 30年未満 |
| 2. 5年未満 | 4. 10年以上 20年未満 | 6. 30年以上 |

問8 現在の場所に住まれる前はどちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. さいたま市 | 6. 北本市 |
| 2. 川口市 | 7. 蓮田市 |
| 3. 鴻巣市 | 8. 東京都 |
| 4. 上尾市 | 9. 生まれてからずっと伊奈町 |
| 5. 桶川市 | 10. その他() |

問9 なぜ、伊奈町に住もうと思いましたか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 生まれた時から住んでいる | 8. 税などの経済的負担が少ない |
| 2. 親兄弟(姉妹)や親戚が住んでいる | 9. 自然環境が豊かである |
| 3. 知人が住んでいる | 10. 子育て環境が整っている |
| 4. 職場に近い | 11. 安心安全であると感じる |
| 5. 交通が便利である | 12. 福祉が充実している |
| 6. 公共施設が整っている | 13. その他() |
| 7. 家賃(土地)が安い | |

問10 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 持家(戸建て) | 4. 寮・下宿など |
| 2. 持家(集合住宅) | 5. その他() |
| 3. 借家(戸建て・アパートなど) | |

問11 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 4. できれば町外へ移りたい |
| 2. 当分住み続けたい | 5. すぐにでも町外へ移りたい |
| 3. どちらともいえない | |

問11で「1」または「2」を選択された方

問12 住み続けたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 働く場所、家業がある | 8. 交通が便利である |
| 2. この土地への愛着がある | 9. 長年住み慣れている |
| 3. 将来発展の可能性がある | 10. 親兄弟(姉妹)や親戚が近くにいる |
| 4. 自分の土地や家がある | 11. 公共施設が整っている |
| 5. 日常生活が便利である | 12. 自然環境が豊かである |
| 6. 子どもの教育に便利である | 13. 福祉が充実している |
| 7. 近隣関係がよい | 14. その他() |

問 11 で「4」または「5」を選択された方

問 13 町外へ移りたいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 働く場所、家業がない | 8. 交通が不便である |
| 2. この土地への愛着がない | 9. 親兄弟(姉妹)や親戚が近くにいない |
| 3. 将来発展の可能性がない | 10. 公共施設が整っていない |
| 4. 自分の土地や家がない | 11. 自然環境に恵まれていない |
| 5. 日常生活が不便である | 12. 福祉に不満がある |
| 6. 子どもの教育に不便である | 13. その他() |
| 7. 近隣関係が悪い | |

22歳以下の方のみお答えください。

問 14 あなたは、今後どの段階まで進学したいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 中学校卒業段階まででよい | 4. 短期大学に進学したい(在学中の人を含む) |
| 2. 高等学校卒業段階まででよい | 5. 専門学校に進学したい(在学中の人を含む) |
| 3. 高等専門学校卒業段階まででよい | 6. 4年制大学に進学したい(在学中の人を含む) |
| | 7. その他() |

22歳以下の方のみお答えください。

問 15 あなたは、今後進学・就職した際の通勤・通学についてどのように考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 伊奈町から通勤・通学したい | 3. わからない |
| 2. できれば町外へ引っ越したい | 4. その他() |

問 15 で「2. できれば町外へ引っ越したい」を選択された方

問 16 一度町外へ引っ越した後に、再び伊奈町に戻って住むことは考えられますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 実家があるので必ず戻る | 5. 子どもができれば戻りたい |
| 2. 町内及び近隣に働く先があれば戻りたい | 6. 定年退職したら戻りたい |
| 3. 町外への通勤に支障がなければ戻りたい | 7. 戻る予定はない |
| 4. 結婚したら戻りたい | 8. その他() |

あなたの暮らしを取り巻く環境についておたずねします。

問 17 日常生活を送る上で、あなたは次の項目について日ごろどのように感じていますか。
(それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ)

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(例) ①自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	5	④	3	2	1
I. 住みやすさ					
① 自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	5	4	3	2	1
② 身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ	5	4	3	2	1
③ 身近な川のきれいさ	5	4	3	2	1
④ 就学前の子育て環境	5	4	3	2	1
⑤ 小中学校の教育環境	5	4	3	2	1
⑥ 子どもの健全育成を地域で見守ることへの安心感	5	4	3	2	1
⑦ 高齢で介護が必要になっても安心できる暮らしやすさ	5	4	3	2	1
⑧ 地震や水害など災害に対する安心感	5	4	3	2	1
⑨ 大気汚染や水質汚濁など公害に対する安心感	5	4	3	2	1
⑩ 工場の騒音などに対する安心感	5	4	3	2	1
⑪ 防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感	5	4	3	2	1
⑫ 病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑬ 消防・救急活動に対する安心感	5	4	3	2	1
⑭ 通勤・通学の便利さ	5	4	3	2	1
⑮ し尿やゴミ収集処理体制	5	4	3	2	1

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
Ⅱ. 賑やかさ					
① 商業施設の充実など買い物の便利さ	5	4	3	2	1
② 働く場所の多さ	5	4	3	2	1
③ スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	5	4	3	2	1
④ 娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	5	4	3	2	1
⑤ イベントなど人や情報が交流する機会の多さ	5	4	3	2	1
Ⅲ. 豊かさ					
① 寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ	5	4	3	2	1
② 文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ	5	4	3	2	1
③ 伊奈町の農産物を購入する機会の多さ	5	4	3	2	1
④ 高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ	5	4	3	2	1
⑤ 生涯学習の取り組みやすさ	5	4	3	2	1
Ⅳ. 快適さ					
① 宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用	5	4	3	2	1
② 国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ	5	4	3	2	1
③ 歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	5	4	3	2	1
④ 駐車場や駐輪場の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑤ 鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ	5	4	3	2	1
⑥ 下水道や生活排水施設の整備状況	5	4	3	2	1
⑦ 気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ	5	4	3	2	1
Ⅴ. 町政について					
① 公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ	5	4	3	2	1
② 窓口・電話口での職員の対応の良さ	5	4	3	2	1
③ 広報「いな」の内容の良さ、使いやすさ	5	4	3	2	1
④ 町の公式ホームページの内容の良さ、使いやすさ	5	4	3	2	1
⑤ 町民の意見・要望の反映	5	4	3	2	1



伊奈町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします。

問 18 あなたは将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は何であると思いますか。

(〇は3つまで)

1. 集落に広がる屋敷林、平地林
2. 梨などの果樹園
3. 綾瀬川、原市沼川
4. 綾瀬川沿いに広がる田園風景
5. 町制施行記念公園（バラ園）
6. 新交通システム（ニューシャトル）
7. 県民活動総合センターなどの広域文化施設
8. 県立がんセンターなどの広域医療施設
9. 伊奈学園総合高等学校などの高校または専門学校・大学施設
10. 伊奈氏屋敷跡や障子堀などの文化財
11. 地域に受け継がれている祭りばやしなどの伝統芸能
12. 地域コミュニティのつながり
13. 町の個性がない
14. その他（）

問 19 今後、伊奈町には、どのようなまちになってほしいですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 自然が豊かなまち | 11. バスなど公共交通機関が充実したまち |
| 2. 農業が盛んなまち | 12. 買い物が便利なまち |
| 3. スポーツが盛んなまち | 13. 文化・芸術活動が盛んなまち |
| 4. 商業が盛んなまち | 14. 学校教育が充実したまち |
| 5. 工業が盛んなまち | 15. 福祉（高齢者・障がい者など）が充実したまち |
| 6. 観光が盛んなまち | 16. 子育てがしやすいまち |
| 7. 子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち | 17. 災害に強いまち |
| 8. 国際交流が盛んなまち | 18. 犯罪がおこらないまち |
| 9. 健康づくりが盛んなまち | 19. わからない |
| 10. 病院など医療機関が充実したまち | 20. その他（ ） |

問 20 今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取り組みにどのようなものがありますか。
(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| 1. 子育て支援の充実 | 12. 地域内交通の充実 |
| 2. 学校施設の整備など教育環境の充実 | 13. 周辺地域を結ぶ交通機関の整備 |
| 3. 介護・福祉の充実 | 14. まちの魅力発信 |
| 4. 医療機能の充実 | 15. 地域コミュニティの活性化 |
| 5. 農林業の振興 | 16. 景観保全等への取り組み |
| 6. 商工業の振興 | 17. ITビジネス・クリエイター等場所を選ばない職業の人の転入促進 |
| 7. 観光・交流産業の振興 | 18. U・I・Jターン※支援に向けた取り組み |
| 8. 魅力ある商店、飲食店づくり | 19. その他 |
| 9. 雇用の創出・確保 | () |
| 10. 就労支援の充実 | |
| 11. 住宅取得等への補助 | |

※地方から都市部へ移住した者が再び地方の生まれ故郷に戻ることをUターン、出身地とは別の地方に移り住む、特に都市部から田舎に移り住むことをIターン、地方から大都市へ移住した者が、生まれ故郷の近くの(元の移住先よりも)規模の小さい地方大都市圏や、中規模な都市に戻り定住することをJターンという。

問 21 伊奈町のこれからのまちづくりの中で何を重点的に整備していくことが望まれますか。
(それぞれ○は1つ)

(1) 町の発展基盤の整備

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 農業基盤の整備 | 6. 既存住宅地の居住環境の改善 |
| 2. 駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備 | 7. 町民の交流の場となる地域の拠点の整備 |
| 3. 工業などの産業団地の整備 | 8. 幹線道路(町内で骨格を成す道路)の整備 |
| 4. 観光拠点の整備 | 9. 街並みなどの景観の整備 |
| 5. 新たな住宅街の整備 | 10. その他 |
| | () |

(2) 生活環境の整備

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 身近な道路の整備 | 6. 公害防止対策 |
| 2. 公共下水道及び集落排水事業の整備 | 7. 地域防災対策 |
| 3. 住宅及び住宅地の供給確保 | 8. 交通安全対策 |
| 4. ごみの減量化・再資源化の促進 | 9. その他 |
| 5. 公園・緑地の整備 | () |

(3) 福祉と健康の増進

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 健康診断や健康相談などの保健活動の充実 | 6. 障がい者（児）福祉の充実 |
| 2. 病院や医院など医療施設の整備 | 7. 低所得者福祉の充実 |
| 3. 高齢者福祉対策の充実 | 8. ボランティアの育成・充実 |
| 4. 児童福祉対策の充実 | 9. その他 |
| 5. ひとり親家庭への福祉と援助 | () |

(4) 教育・文化の向上

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 特色ある学校教育の充実 | 6. 芸術文化活動の推進 |
| 2. 生涯学習の推進と施策の充実 | 7. 人権教育の推進 |
| 3. 国際交流の推進 | 8. その他 |
| 4. 文化施設（図書館など）の整備 | () |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設の整備 | |

(5) 地域産業の振興

- | | |
|----------|----------|
| 1. 農業の振興 | 4. 観光の振興 |
| 2. 商業の振興 | 5. その他 |
| 3. 工業の振興 | () |

(6) 特に重点的に進めるべき部門

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 町の発展基盤の整備 | 6. 町民との協働によるまちづくり |
| 2. 生活環境の整備 | 7. 効率的な行財政運営の推進 |
| 3. 福祉と健康の増進 | 8. その他 |
| 4. 教育・文化の向上 | () |
| 5. 地域産業の振興 | |

まちづくりへの参加と協力についておたずねします。

問 22 あなたは現在、地域でどのようなおつきあいをしていますか。(〇は3つまで)

1. あいさつを交わす程度のつきあい
2. 趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい
3. 町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい
4. 地域での問題について相談したり協力したりするつきあい
5. 子育てや高齢者のお世話などで助け合えるつきあい
6. 学校の行事・活動などを通じてのつきあい
7. 近所の人とはあまりつきあわない
8. その他 ()
9. わからない

問 23 あなたは、町の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 広報「いな」 | 6. 公民館などの公共施設 |
| 2. 町の公式ホームページ | 7. 自治会などの回覧 |
| 3. 町の窓口や電話での問い合わせ | 8. 家族や知人 |
| 4. 議会だより | 9. 特に情報は得ていない |
| 5. 町が発行するパンフレット類 | 10. その他 () |

伊奈町では、町の将来の方向性を示す「総合振興計画」の後期基本計画の策定を予定しています。計画の策定にあたっては、町民会議で町民の方の意見をうかがうとともに、インターネットを用いたパブリック・コメントによる意見募集などにより、町民の方とともに、伊奈町の将来の方向性を考え、決めていきたいと思っています。そこで、総合振興計画の策定に参加することについて、おうかがいします。

問 24 あなたは、総合振興計画の策定に参加することについてどうお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 町民会議などにぜひ参加したい | 4. いずれの方法でも参加するつもりはない |
| 2. 町民会議などに予定があれば参加したい | 5. その他 () |
| 3. インターネットなどで参加できる内容に参加したい | |

町民会議についての、ご案内チラシ・参加申込書を同封させていただきました。

将来の伊奈町のまちづくりに向けて、町民会議への積極的なご参加をお願いいたします。

ご記入いただいた参加申込書は、このアンケート調査票の返信時に、同封をお願いします。もしくは、FAX、メール、郵送、持参いずれかの方法で、平成31年1月18日(金)までにお申込みください。(当日必着とさせていただきます)

問 25 これからの社会では、町民の皆さまと町が対等の立場で役割分担しながら、町民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていく必要があります。それぞれの項目について、これまでに参加・協力したことはありますか。また、参加・協力されたことがない方は、今後のお考えについてお答えください。（それぞれ「1」～「4」の中から○は1つ）

	すでに参加・協力している	今後は、参加・協力したい	今後も、参加・協力できない	わからない
(例) ① 地域の道路や街路樹の管理 (枝払い・草刈・側溝清掃など)	4	③	2	1
① 地域の道路や街路樹の管理 (枝払い・草刈・側溝清掃など)	4	3	2	1
② 地域の公園の管理 (公園内の草取り・清掃・植栽の管理など)	4	3	2	1
③ 環境保全活動 (ごみの減量化・リサイクルの推進・環境意識啓発活動など)	4	3	2	1
④ 地域の文化財の管理・活用 (史跡や建造物など文化財の管理・説明など)	4	3	2	1
⑤ 高齢者の生活支援 (ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)	4	3	2	1
⑥ 障がい者の生活支援 (外出時の支援・見守り・声かけなど)	4	3	2	1
⑦ 健康増進活動 (地域での健康づくり教室・運動教室や勉強会の開催など)	4	3	2	1
⑧ 地域での子育て支援 (子どもへの声かけや見守り・育児サポートなど)	4	3	2	1
⑨ 防災活動 (災害に備えた地域での自主的な防災組織の活動や防災訓練など)	4	3	2	1
⑩ 町内会・自治会・子ども会などの地域活動 (地域でのお祭りや、季節に合わせた行事の実施など)	4	3	2	1

自由回答

今後の伊奈町のまちづくりについて、あなたのご意見、ご提案やご要望などございましたら、ご自由に記入ください。

1. 今後の伊奈町のまちづくりに対するお考えについて

2. 協働（町と住民が協力してまちづくり活動に取り組むこと）に対するお考えについて

3. その他

◇アンケート調査は以上で終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、**1月18日(金)までに**ポストに投函またはご持参ください。

2. 転入者アンケート調査票

伊奈町総合振興計画後期基本計画策定のための 転入者アンケート ご協力をお願い

(伊奈町に転入いただいた皆様)

ようこそ、伊奈町にお住まいいただき、ありがとうございます。

この調査は、今後のよりよい町政の推進に活用することを目的に、平成30年12月～平成31年2月に伊奈町に転入された方々を対象にうかがうものです。ご記入いただいた調査票は統計的に処理し、調査の目的のみに使用するため、ご記入いただいた個人が特定されることはありません。

大変お忙しい中、恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成30年12月

伊奈町長 天島 清

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、調査票を受け取ったご本人がご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- お答えは、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、()内になるべく具体的な内容をお書きください。
- 選択する答えの数は、「1つに○」「あてはまるものすべてに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、**受け取ってから2週間以内を目安に**、同封の封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

伊奈町役場 企画課

〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9493 番地
TEL : 048-721-2111 (内線 2215)

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢を教えてください。(平成30年12月1日現在)(数字を記入)

() 歳

問3 あなたの現在のおつとめの状況を教えてください。(1つに○)

1. 正社員・正職員 4. 自営業及びその家族従事者 7. 家事専業
2. 派遣・嘱託・契約社員 5. 農林漁業及びその家族従事者 8. 無職
3. パート・アルバイト 6. 学生 9. その他 ()

問4 転入前に一緒に住んでいた家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし 4. 父母 7. 孫
2. 配偶者 5. 兄弟姉妹 8. その他
3. 子ども 6. 祖父母 ()

問5 転入後(現在)、一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし 4. 父母 7. 孫
2. 配偶者 5. 兄弟姉妹 8. その他
3. 子ども 6. 祖父母 ()

問6 転入前の居住地を教えてください。(1つに○)

1. 埼玉県内 3. 群馬県 5. 山梨県 7. 神奈川県
2. 東京都 4. 栃木県 6. 千葉県 8. その他 ()

【問7は、問6で「1. 埼玉県内」に○をつけた方のみ、問8・問9は全員】

問7 県内の居住地を教えてください。(1つに○)

1. 北本市 3. 上尾市 5. 蓮田市 7. さいたま市 9. 県内その他 ()
2. 桶川市 4. 白岡市 6. 久喜市 8. 川越市

問8 転入前の通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

1. 伊奈町 3. 桶川市 5. 白岡市 7. 久喜市 9. 川越市 11. 県外
2. 北本市 4. 上尾市 6. 蓮田市 8. さいたま市 10. 県内その他 12. 無職

問9 転入後(現在)の通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

1. 伊奈町 3. 桶川市 5. 白岡市 7. 久喜市 9. 川越市 11. 県外
2. 北本市 4. 上尾市 6. 蓮田市 8. さいたま市 10. 県内その他 12. 無職

転入についておうかがいします

問10 伊奈町に転入を決めた大きな理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など) | 9. 生活環境(交通や買い物の利便性、治安など) |
| 2. あなたの学校の都合(入学・進学・転校など) | 10. 健康の理由(通院・病気療養など) |
| 3. 子どもの学校の都合(入学・進学・転校など) | 11. 親や子と同居、または近くに住む必要があったため |
| 4. 結婚(事実婚を含む) | 12. 親からの独立(1~3を除く) |
| 5. 出産、または出産の予定があったため | 13. 出身地だから(出身地に近いから)(U・Jターン等) |
| 6. 家族の人数の変化(離婚・死別など、出産は除く) | 14. 住宅の都合(住宅の購入・借家の借り換えなど) |
| 7. 子育て環境(育児、教育など) | 15. 東日本大震災の影響 |
| 8. 自然環境(緑が多い、富士山が近いなど) | 16. その他() |

問11 伊奈町以外に検討した転入先はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|--------|--------|-------------|----------|-------------|
| 1. 北本市 | 4. 白岡市 | 7. さいたま市 | 10. 東京都内 | 13. 山梨県内 |
| 2. 桶川市 | 5. 蓮田市 | 8. 川越市 | 11. 群馬県内 | 14. 千葉県内 |
| 3. 上尾市 | 6. 久喜市 | 9. 県内その他() | 12. 栃木県内 | 15. その他の道府県 |

問12 転入先を決めるにあたり、伊奈町の行政サービスや施策を調べましたか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【問13は、問12で「1. はい」に○をつけた方のみ、問14以降は全員】

問13 伊奈町を選ぶ際に、どのような情報などを活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 知人・友人の紹介 | 6. 公的な組織・機関による情報提供や相談・助言(「5」を除く) |
| 2. 家族・親族の紹介 | 7. 民間の組織・機関による情報提供や相談・助言 |
| 3. インターネットの情報 | 8. 特にない |
| 4. 新聞・雑誌の情報 | 9. その他() |
| 5. 伊奈町のホームページやパンフレット | |

問14 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|----------------|---------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. どちらともいえない | 4. できれば他へ移りたい |
| 2. 当分住み続けたい | 5. すぐにでも他へ移りたい | |

問15 実際に伊奈町に転入してみて「住みやすい」と思われたのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 1. 住宅価格、家賃が適当 | 8. 近所づきあいが良い | 15. 道路など都市基盤が整備されている |
| 2. 交通の便が良い | 9. まちのイメージが良い | 16. 知り合いや友人がいる |
| 3. 職場、学校が近い | 10. 子育てしやすい | 17. 親や子どもの家が近い |
| 4. 買い物など日常生活が便利 | 11. 医療環境が充実している | 18. 特にない |
| 5. 静かな居住環境 | 12. 福祉が充実している | 19. その他() |
| 6. 緑が多い | 13. 町立学校の教育内容が良い | |
| 7. 治安が良い | 14. 教育環境が良い | |

問16 実際に伊奈町に転入してみて「住みにくい」と思われたのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------------|
| 1. 住宅価格、家賃が適当でない | 8. 近所づきあいが悪い | 15. 道路など都市基盤が整備されていない |
| 2. 交通の便が悪い | 9. まちのイメージが悪い | 16. 知り合いや友人がいない |
| 3. 職場、学校が遠い | 10. 子育てしにくい | 17. 親や子どもの家が遠い |
| 4. 買い物など日常生活が不便 | 11. 医療環境が充実していない | 18. 特にない |
| 5. 騒がしい居住環境 | 12. 福祉が充実していない | 19. その他 () |
| 6. 緑が少ない | 13. 町立学校の教育内容が悪い | |
| 7. 治安が悪い | 14. 教育環境が悪い | |

問17 住まいや周囲の環境選びで特に重視することは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 出身地であること | 10. 文化・スポーツ施設の利用のしやすさ |
| 2. 就労の場があること | 11. 福祉・医療施設の利用のしやすさ |
| 3. 親や子、友人・知人が近くにいること | 12. 気候の良さ |
| 4. 価格や広さなど住宅事情の良さ | 13. 自然環境の豊かさ |
| 5. 農業や家庭菜園ができること | 14. 街並みや景観の良さ |
| 6. 交通・通勤の利便性の良さ | 15. 治安の良さ |
| 7. 日ごろの買い物などの便利さ | 16. 行政サービスが充実していること |
| 8. 保育所や公園などの子育て環境の良さ | 17. わからない |
| 9. 学校などの教育環境の良さ | 18. その他 () |

自由回答

問18 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。

受け取ってから2週間以内を目安に、
お渡した封筒に入れてご投函ください。

ご協力ありがとうございました。

3. 転出者アンケート調査票

伊奈町総合振興計画後期基本計画策定のための 転出者アンケート ご協力をお願い

(伊奈町からご転出いただいた皆様)

これまで伊奈町にお住まいいただき、ありがとうございます。ご在住時は、町政の推進について、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

この調査は、今後のよりよい町政の推進に活用することを目的に、平成30年12月～平成31年2月に伊奈町を転出された方々を対象にうかがうものです。ご記入いただいた調査票は統計的に処理し、調査の目的のみに使用するため、ご記入いただいた個人が特定されることはありません。

大変お忙しい中、恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成30年12月

伊奈町長 天島 清

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、調査票を受け取ったご本人がご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- お答えは、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、()内になるべく具体的な内容をお書きください。
- 選択する答えの数は、「1つに○」「あてはまるものすべてに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、**受け取ってから2週間以内を目安に**、同封の封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。ご協力の程よろしくごお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

伊奈町役場 企画課

〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9493 番地
TEL : 048-721-2111 (内線 2215)

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢を教えてください。(平成30年12月1日現在)(数字を記入)

() 歳

問3 あなたの現在のおつとめの状況を教えてください。(1つに○)

1. 正社員・正職員 4. 自営業及びその家族従事者 7. 家事専業
2. 派遣・嘱託・契約社員 5. 農林漁業及びその家族従事者 8. 無職
3. パート・アルバイト 6. 学生 9. その他 ()

問4 伊奈町に住んでいた際に一緒に住んでいた家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし 4. 父母 7. 孫
2. 配偶者 5. 兄弟姉妹 8. その他
3. 子ども 6. 祖父母 ()

問5 転出後、一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし 4. 父母 7. 孫
2. 配偶者 5. 兄弟姉妹 8. その他
3. 子ども 6. 祖父母 ()

問6 転出後の居住地を教えてください。(1つに○)

1. 埼玉県内 3. 群馬県 5. 山梨県 7. 神奈川県
2. 東京都 4. 栃木県 6. 千葉県 8. その他 ()

【問7は、問6で「1. 埼玉県内」に○をつけた方のみ、問8・問9は全員】

問7 県内の居住地を教えてください。(1つに○)

1. 北本市 3. 上尾市 5. 蓮田市 7. さいたま市 9. 県内その他 ()
2. 桶川市 4. 白岡市 6. 久喜市 8. 川越市

問8 伊奈町に住んでいた際の、通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

1. 伊奈町 3. 桶川市 5. 白岡市 7. 久喜市 9. 川越市 11. 県外
2. 北本市 4. 上尾市 6. 蓮田市 8. さいたま市 10. 県内その他 12. 無職

問9 転出後の通勤・通学先の所在地を教えてください。(1つに○)

1. 伊奈町 3. 桶川市 5. 白岡市 7. 久喜市 9. 川越市 11. 県外
2. 北本市 4. 上尾市 6. 蓮田市 8. さいたま市 10. 県内その他 12. 無職

転出についておうかがいします

問10 伊奈町からの転出を決めた大きな理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 仕事の都合(就職・転勤・転職・退職など) | 9. 生活環境(交通や買い物の利便性、治安など) |
| 2. あなたの学校の都合(入学・進学・転校など) | 10. 健康の理由(通院・病気療養など) |
| 3. 子どもの学校の都合(入学・進学・転校など) | 11. 親や子と同居、または近くに住む必要があったため |
| 4. 結婚(事実婚を含む) | 12. 親からの独立(1~3を除く) |
| 5. 出産、または出産の予定があったため | 13. 出身地だから(出身地に近いから)(U・Jターン等) |
| 6. 家族の人数の変化(離婚・死別など、出産は除く) | 14. 住宅の都合(住宅の購入・借家の借り換えなど) |
| 7. 子育て環境(育児、教育など) | 15. 東日本大震災の影響 |
| 8. 自然環境(緑が多い、富士山が近いなど) | 16. その他() |

問11 転出先を決めるにあたり、転出先の行政サービスや施策を調べましたか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【問12は、問11で「1. はい」に○をつけた方のみ、問13以降は全員】

問12 転出先を選ぶ際に、どのような情報などを活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 知人・友人の紹介 | 6. 公的な組織・機関による情報提供や相談・助言(「5」を除く) |
| 2. 家族・親族の紹介 | 7. 民間の組織・機関による情報提供や相談・助言 |
| 3. インターネットの情報 | 8. 特にない |
| 4. 新聞・雑誌の情報 | 9. その他() |
| 5. 転出先のホームページやパンフレット | |

問13 実際に伊奈町に住んでみて「住みやすい」と思われたのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 1. 住宅価格、家賃が適当 | 8. 近所づきあいが良い | 15. 道路など都市基盤が整備されている |
| 2. 交通の便が良い | 9. まちのイメージが良い | 16. 知り合いや友人がいる |
| 3. 職場、学校が近い | 10. 子育てしやすい | 17. 親や子どもの家が近い |
| 4. 買い物など日常生活が便利 | 11. 医療環境が充実している | 18. 特にない |
| 5. 静かな居住環境 | 12. 福祉が充実している | 19. その他() |
| 6. 緑が多い | 13. 町立学校の教育内容が良い | |
| 7. 治安が良い | 14. 教育環境が良い | |

問14 実際に伊奈町に住んでみて「住みにくい」と思われたのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------------|
| 1. 住宅価格、家賃が適当でない | 8. 近所づきあいが悪い | 15. 道路など都市基盤が整備されていない |
| 2. 交通の便が悪い | 9. まちのイメージが悪い | 16. 知り合いや友人がいない |
| 3. 職場、学校が遠い | 10. 子育てしにくい | 17. 親や子どもの家が遠い |
| 4. 買い物など日常生活が不便 | 11. 医療環境が充実していない | 18. 特にない |
| 5. 騒がしい居住環境 | 12. 福祉が充実していない | 19. その他() |
| 6. 緑が少ない | 13. 町立学校の教育内容が悪い | |
| 7. 治安が悪い | 14. 教育環境が悪い | |

問15 住まいや周囲の環境選びで特に重視することは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 出身地であること | 10. 文化・スポーツ施設の利用のしやすさ |
| 2. 就労の場があること | 11. 福祉・医療施設の利用のしやすさ |
| 3. 親や子、友人・知人が近くにいること | 12. 気候の良さ |
| 4. 価格や広さなど住宅事情の良さ | 13. 自然環境の豊かさ |
| 5. 農業や家庭菜園ができること | 14. 街並みや景観の良さ |
| 6. 交通・通勤の利便性の良さ | 15. 治安の良さ |
| 7. 日ごろの買い物などの便利さ | 16. 行政サービスが充実していること |
| 8. 保育所や公園などの子育て環境の良さ | 17. わからない |
| 9. 学校などの教育環境の良さ | 18. その他 () |

自由回答

問16 結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。

受け取ってから2週間以内を目安に、
お渡しした封筒に入れてご投函ください。

ご協力ありがとうございました。

**伊奈町の総合振興計画後期基本計画
策定に関するアンケート調査
報告書**

発行年月：平成31年3月

発行：伊奈町役場 企画課 政策企画担当

〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町小室9493番地

電話 048-721-2111

FAX 048-721-2136